

Synology®

Synology NAS ユーザーガイド

DSM 4.3 ベース

目次

第 1 章：はじめに

第 2 章：Synology DiskStation Manager を始める前に

Synology NAS と DSM のインストール	9
Synology DiskStation Manager にログインする	9
DiskStation Manager の外観	10
メイン メニューで DSM を操作する	12
個人オプションの操作	14

第 3 章：システム設定の変更

DSM 設定の変更	16
ネットワーク設定の変更	18
地域のオプション変更	20
省エネ機能を使う	21

第 4 章：ストレージスペースの管理

ボリュームとディスクグループ	23
ボリュームまたはディスクグループの修復	25
RAID タイプの変更	25
ボリュームまたはディスクグループの増設	26
データ スクラブ	27
SSD TRIM	28
iSCSI Target と LUN	28
ハードディスクの管理	29
SSD キャッシュ	30
Hot Spare	30
外部ディスクの管理	31

第 5 章：ストレージスペースの管理 (RS10613xs+ の場合)

概要	32
RAID Group の管理	32
RAID タイプの変更	34
RAID Group の修復	34
RAID Group の拡張	34
データ スクラブ	34
ボリュームの管理	35
劣化したボリュームの補修	35
SSD TRIM	36
iSCSI LUN の管理	36
iSCSI Target の管理	37
ハードディスクの管理	37

Hot Spare	37
ストレージの概要	38
SSD キャッシュ	38
外部ディスクの管理	38

第 6 章：インターネットから Synology NAS へのアクセス

EZ-Internet ウィザードを使う	39
ルーターのポート転送規則の設定	40
Synology NAS の DDNS を登録する	41
QuickConnect で DSM サービスにアクセスする	42
VPN 接続の設定	43

第 7 章：インターネットセキュリティの強化

ファイアウォールで不正アクセスを阻止	44
サービスの送信トラフィックの制御	45
インターネット攻撃を阻止する	46
疑いのある不正ログインを自動ブロック	47

第 8 章：ファイル共有の設定

すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする	48
Synology NAS をディレクトリ サービスに付加する	49
Directory Server によるホスト LDAP サービス	50
ユーザーとグループの管理	51
共有フォルダの設定	54
共有フォルダに対する Windows ACL 権限の定義	57
共有フォルダコンテンツのインデックス付け	57

第 9 章：場所を選ばずファイルにアクセス

ローカル ネットワーク内でファイルにアクセスする	58
FTP 経由でファイルにアクセス	60
WebDAV 経由でファイルにアクセス	61
Cloud Station でファイルを同期する	62
File Station 経由のファイルアクセス	63

第 10 章：データのバックアップ

コンピュータデータのバックアップ	66
Synology NAS にデータまたは iSCSI LUN をバックアップする	68
Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期する	70
Time Backup で Synology NAS のデータをバックアップする	71
USB デバイスまたは SD カードへのデータのバックアップ	71
Amazon Glacier へのバックアップ	72

第 11 章：ウェブサイト、E メールサーバー、プリントサーバーのホスト

ホストウェブサイトに Web Station を使う	73
Mail Server のホスト	74
Mail Station をインストールしてウェブメールサービスを有効にする	75
Synology NAS をプリントサーバーとして設定	76

第 12 章 : パッケージ センターでさまざまなアプリケーションを検索

パッケージ センターが提供するもの	77
パッケージのインストールまたは購入	77

第 13 章 : Photo Station で写真、ビデオ、およびブログを共有する

Photo Station のインストール	78
個人用 Photo Station を有効にする	79
Photo Station の機能	79

第 14 章 : Audio Station で音楽を再生

Audio Station をインストール	81
Audio Station の管理	82
Audio Station の機能	82

第 15 章 : Video Station を使用したビデオの整理と TV 番組の録画

Video Station のインストール	84
はじめる前に	85
Video Station の機能	85

第 16 章 : Download Station でファイルをダウンロード

Download Station のインストール	87
Download Station の機能	88

第 17 章 : Surveillance Station で環境を守る

Surveillance Station のインストール	92
Surveillance Station の設定の管理	93
ライブビューを見る	94
タイムラインで作業をする	96

第 18 章 : Synology High Availability によるノンストップサービス

Synology High Availability について	97
Synology High Availability のインストール	98
システム要件	98
High-Availability クラスタの作成	99
その他の情報	99

第 19 章 : DNS Server でドメインネームサーバーを構築する

DNS Server のインストール	100
はじめる前に	101
DNS Server の機能	101

第 20 章 : メディアサーバーと iTunes サービスの管理

DLNA メディアサーバーのインストール	102
DLNA メディアサーバーの管理	103
iTunes Server のインストール	104
iTunes Server の管理	104

第 21 章：高度な管理タスクの実施

システム情報のチェック	105
システム ログを見る	107
システムリソースの監視	108
Bluetooth デバイスの管理	109
自動タスク	109
DSM の更新	109
イベント通知の受信	110
独立したログインでアプリケーションにアクセス	111
アプリケーション用にマルチメディア ファイルにインデックスを付ける	112
Admin パスワードをリセットする	112
Synology NAS を出荷時設定に復元	112
Synology NAS の再インストール	113
SNMP サービスを有効にする	113
ターミナルサービスを有効にする	113

第 22 章：モバイルデバイスで通信

DSM mobile で DSM 設定を管理する	114
iOS と Android、Windows アプリの使用	114
他のモバイル デバイスを使う	115

はじめに

Synology NAS をご購入いただきありがとうございます。Synology NAS はインターネット上のファイル共有センターとして機能する、多機能のネットワーク型ストレージサーバーです。さまざまな用途にご利用いただけるようにデザインされており、ウェブを使った Synology DiskStation Manager (DSM) で以下の機能を実行できるようにしています。

インターネット上での保存と共有

Windows、Mac、Linux ユーザーはインターネット内で、またはインターネットを介してファイルを簡単に共有することができます。ユニコード言語をサポートすることにより、Synology NAS で簡単に異なる言語を使ってファイル共有が可能になりました。

ウェブを使って File Station でファイル管理

Synology DiskStation Manager に属する File Station を使うと、ウェブインターフェースから Synology NAS でファイルを管理できます。Synology NAS に保存されているファイルを携帯装置からアクセスすることもできます。

FTP 経由のファイル転送

Synology NAS は、帯域幅制限と匿名ログインがある FTP サービスを提供しています。データを安全に転送するため、FTP over SSL/TLS や迷惑 IP の自動ブロック機能を利用することができます。

Cloud Station でファイルを同期する

Cloud Station は複数のクライアントコンピュータの間でファイルを同期するために、Synology NAS をファイル同期センターとして使用できるファイル共有サービスです。コンピュータにインストールされている Cloud Station アプリケーションを使用すると、業務ファイルを会社のコンピュータ上のフォルダにドラッグするだけで、自動同期された同じファイルをラップトップコンピュータで開くことができます。

ストレージの容量を iSCSI LUN として共有する

Synology NAS のボリューム容量の一部を iSCSI LUN に指定して、iSCSI 開始プログラムがローカルディスク同様にアクセスするようにできます。

コンピュータやサーバーにファイルをバックアップ

Synology NAS は、コンピュータデータを Synology NAS に、Synology NAS データや iSCSI LUN を外部のハードディスク、その他の Synology NAS、または rsync と互換性を持つサーバー、または Amazon S3 サーバー、HiDrive backup サーバーなどにバックアップするソリューションを提供しています。

サーバー上のエンターテイメントコンテンツの活用

Download Station では、BT、FTP、HTTP、eMule および NZB を介してインターネットからファイルを Synology NAS にダウンロードすることができます。メディアサーバーと iTunes に対応していますので、LAN 内のコンピュータや DMA デバイスで Synology NAS 上のマルチメディアファイルを再生することもできます¹。

USBCopy または SDCopy 機能で、Synology NAS の Copy ボタンを押すと、即座にファイルをカメラや SD カードから Synology NAS へコピーすることができます。¹

¹ ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

Video Station でビデオを整理

Video Station では、Synology NAS に USB DTV ハードウェアキーを接続して、ビデオ クリップやライブストリームを見たり、再生したり、デジタル TV 番組を録画したり、インターネットから自動的に情報を取得できるビデオ メタデータを見たり、編集したりすることができるメディア プラットフォームで、ムービー コレクション、TV 番組、ホーム ビデオを整理することができます。ビデオを iPhone や iPad にストリームして再生することもできます。

Photo Station で写真、ビデオ、およびブログを共有する

Photo Station により、複雑なアップロードを行わなくても写真やビデオをインターネットで共有できます。アルバム管理により、コンテンツが希望する人の間でのみ共有されます。訪問者は、掲載した写真にコメントを投稿できます。さらに、最新のブログシステムにより、あなた暮らしや思いを簡単にインターネットで共有することができます。

いつでも、どこでも、音楽を楽しむ

Audio Station を使うと、Synology NAS に保存した音楽を iPod に接続して、またはインターネットラジオのストリームとして聴くことができます。さらに、ウェブブラウザを使ってインターネット経由で Synology NAS から音楽をストリームできます。

ホストウェブサイト

仮想ホスト機能では、PHP および MySQL 対応の Web Station を使って最大 30 個のウェブサイトがホスト可能です。

IP カメラによるビデオの録画

Surveillance Station により、インターネット上の複数の IP カメラからのビデオの管理、視聴、および録画が可能です。Surveillance Station のウェブベースの管理インターフェースにアクセスすることにより、カメラが監視するリアルタイムの画像を表示し、継続的にビデオを録画し、動向探知モードまたはアラーム録画モードにすることも可能です。

パッケージセンターで他のアプリを探す

パッケージセンターは、さまざまなアプリケーション（パッケージにパックされています）を簡単にインストールしたり、更新したりするための直感的で便利なツールです。使用可能なアプリケーションを参照して、必要に合ったものを選択してください。ボタンを数回クリックするだけの簡単な操作です。

プリントサーバー

Synology NAS に接続された USB プリンタまたはネットワークプリンタは、LAN を介してクライアントコンピュータで共有することができます。AirPrint 対応ですので iOS デバイスから印刷することが可能であり、また Google Cloud Print サポートにより Google 製品およびサービスを使用しながら印刷することも可能です。^①

RADIUS Server による中央化認証

Remote Authentication Dial-In User Service (RADIUS) は、有線またはワイヤレスのネットワーク アクセスの認証、許可、課金やユーザーのアクセス情報の収集を一元的に行うためのネットワーク プロトコルです。ネットワーク スイッチまたはワイヤレス ルーターが RADIUS の認証に対応している場合は、RADIUS Server を設定し、Synology NAS のローカル システム アカウント、AD ドメイン アカウントまたは LDAP サービス アカウントを使ってホーム ワイヤレス ネットワークにアクセスすることができます。

^① USBCopy または SDCopy は、特定のモデルでしか使用できません。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

^② ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

オンラインリソース

ここに必要な情報が記載されていない場合は、DSM ヘルプ、または下の Synology オンラインリソースもご覧ください。

- ナレッジベース : www.synology.com/support
- フォーラム : forum.synology.com
- ダウンロードセンター : www.synology.com/support/download.php
- テクニカルサポート : www.synology.com/support/support_form.php

Synology DiskStation Manager を始める前に

この章では、Synology NAS のウェブベースの管理 UI、**Synology DiskStation Manager (DSM)** にログインする方法、自分のデスクトップをカスタマイズする方法、タスクバー や ウィジェットを管理する方法、**メインメニュー**を使って DSM 設定およびアプリケーションにアクセスする方法について説明します。詳しい手順については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

Synology NAS と DSM のインストール

Synology NAS の設定と DSM のインストールについては、お使いの Synology NAS のクイックインストールガイドをご参照ください。このガイドは、Synology [ダウンロードセンター](#)からダウンロードできます。

Synology DiskStation Manager にログインする

DSM には次の方法でウェブ ブラウザからログインできます。

Web Assistant でログインする :

- 1 コンピュータが Synology NAS と同じネットワークに接続されており、インターネットにアクセスできる状態であることを確認してください。
- 2 コンピュータでウェブ ブラウザを開き、find.synology.com にアクセスします。
- 3 Web Assistant がローカル ネットワーク内にある Synology NAS を検出します。**[接続]** をクリックすると、ログイン画面が開きます。

サーバー名または IP アドレスでログインする :

- 1 コンピュータが Synology NAS と同じネットワークに接続されていることを確認します。
- 2 コンピュータでウェブ ブラウザを開き、アドレス欄に次のいずれかを入力して、キーボードで Enter キーを押します。
 - `http://Synology_サーバー_IP:5000`
 - `http://Synology_サーバー名:5000/` (Mac の場合、`http://Synology_サーバー名.local:5000/`)

Synology_サーバー名 は、セットアップ処理で Synology NAS に設定した名前に置き換わります。セットアップで **[ワンステップ設定]** を選択した場合は、**Synology_Server_Name** は **DiskStation**、**CubeStation**、**USBStation**、または **RackStation** に置き換わります。



- 3 ユーザー名とパスワードを入力してから **[ログイン]** をクリックします。Admin 用の既定のパスワードは何も指定されていません。ログイン情報を保存しておき、次回から自動的にログインできるようにするには、ログインする前に **[この情報を保存する]** にチェックマークを付けます。

注 : DSM の実行を円滑に行うには、以下のブラウザを使用してください。

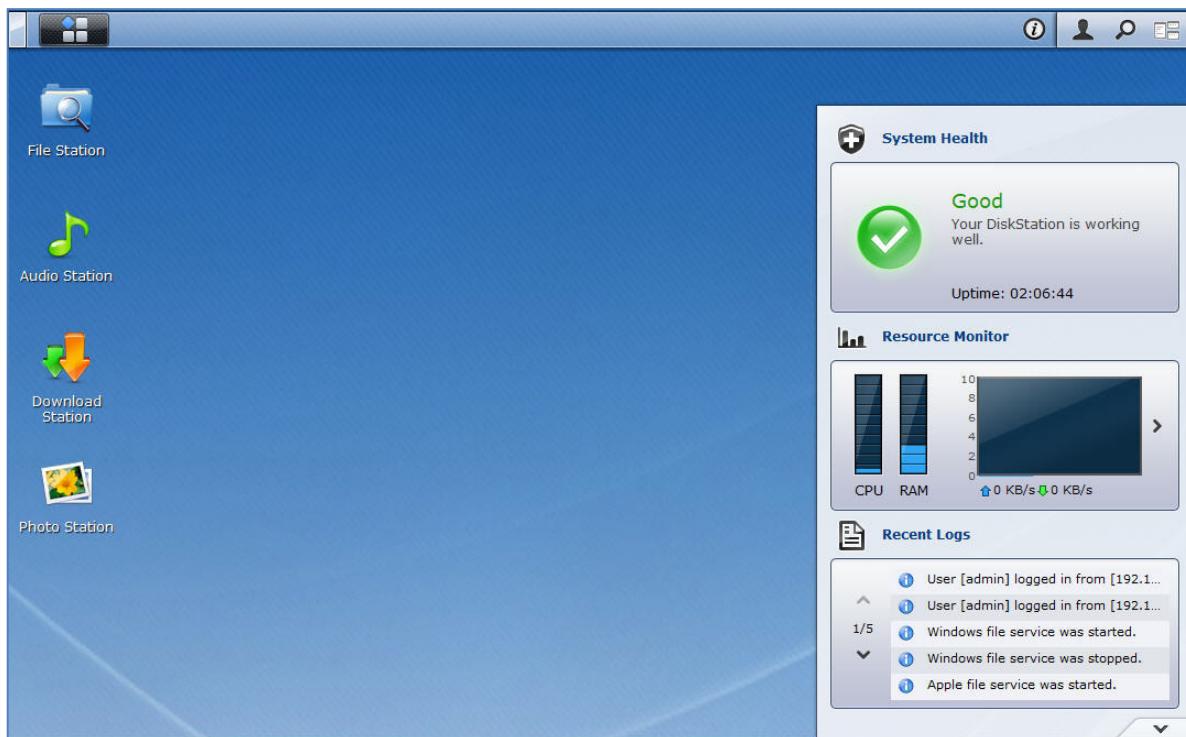
- Chrome
- Firefox
- Safari : 5.0 以上
- Internet Explorer : 8.0 以上

DiskStation Manager の外観

Synology DiskStation Manager (DSM) にログインすると、デスクトップ、タスクバー、およびウィジェットが表示されます。

デスクトップとショートカット

デスクトップはアプリケーションのウィンドウが表示される場所です。頻繁に使用するアプリケーションはデスクトップにショートカットを作成できます。



アプリケーションのデスクトップショートカットを作成する :

そのサムネイルを [メインメニュー] からデスクトップへドラッグします。

アプリケーションのデスクトップショートカットを削除する :

ショートカットを右クリックして、[ショートカットを削除] を選択します。

Synology 設計またはサードパーティのアプリケーション（パッケージセンターから取得できます）を新しいブラウザ画面で開く :

アプリケーションの [メインメニュー] サムネイルか、デスクトップショートカットを右クリックして、[新しいウィンドウで開く] を選択します。

注: デスクトップ背景色や壁紙を **デスクトップ** 機能でカスタマイズすることもできます。詳しくは、「**デスクトップ**」を参照してください。

タスクバー

デスクトップ上部のタスクバーには以下の機能があります：



1 [デスクトップを表示] ボタン：クリックするとアプリケーションを最小化してデスクトップを表示します。もう一度クリックするとデスクトップに再度ウィンドウを表示します。アプリケーションウィンドウの詳細は、「アプリケーションウィンドウを開く」を参照してください。

2 [メインメニュー] ボタン：クリックすると [**メインメニュー**] が開きます。詳しくは、「**メインメニューで DSM を操作する**」を参照してください。

3 アプリケーションを開くアイコン：

- アプリケーションのアイコンをクリックすると、デスクトップのウィンドウを表示または非表示にします。
- アイコンを右クリックして、ショートカットメニュー（**最大化**、**最小化**、**復元**、**閉じる**）、またはそのタスクバーアイコン（**タスクバーに固定**、**タスクバーから解除**）から選択してアプリケーションウィンドウを操作します。

4 [通知] ボタン（感嘆符マークのアイコン）：重要なイベントのログをチェックできます。

- **すべてクリア**：すべてのイベントが削除され、[通知] ボタンが非表示になります。
- **すべて表示**：クリックすると、別の画面にすべての通知が表示されます。
- **(数字) 件未読**：30 件以上の未読の通知がある場合は、何件の通知が未読になっているかを知らせるために、[すべて表示] に代わって [(数字) 件未読] が表示されます。クリックすると、別の画面にすべての通知が表示されます。

注：システムログの詳細は、「**システム ログを見る**」を参照してください。

5 オプションメニュー：ユーザー アカウント設定を管理できます。または DSM を終了します。

- **オプション**：DSM ユーザーの個人オプションを管理できます。「**個人オプションの操作**」をお読みください。
- **ログアウト**：現在のアカウントの処理を終了して、ログイン画面に戻ります。

6 検索アイコン：検索欄にキーワードを入力すると、関連するアプリケーションのリストを検索したり、**DSM ヘルプ** の内容を検索したりすることができます。

7 [パイロットビュー] ボタン：開いているアプリケーションをインスタント プレビューできます。また、アプリケーション画面にマウスを合わせると、簡単にナビゲートすることができます。

注：Internet Explorer では**パイロットビュー**はサポートされません。

ウィジェット

デスクトップの右下隅にあるウィジェットには、Synology NAS のシステム情報が含まれています。

ウィジェットパネルを開く/閉じる：

上/下向きの三角をクリックすると、パネルが開き/閉じます。

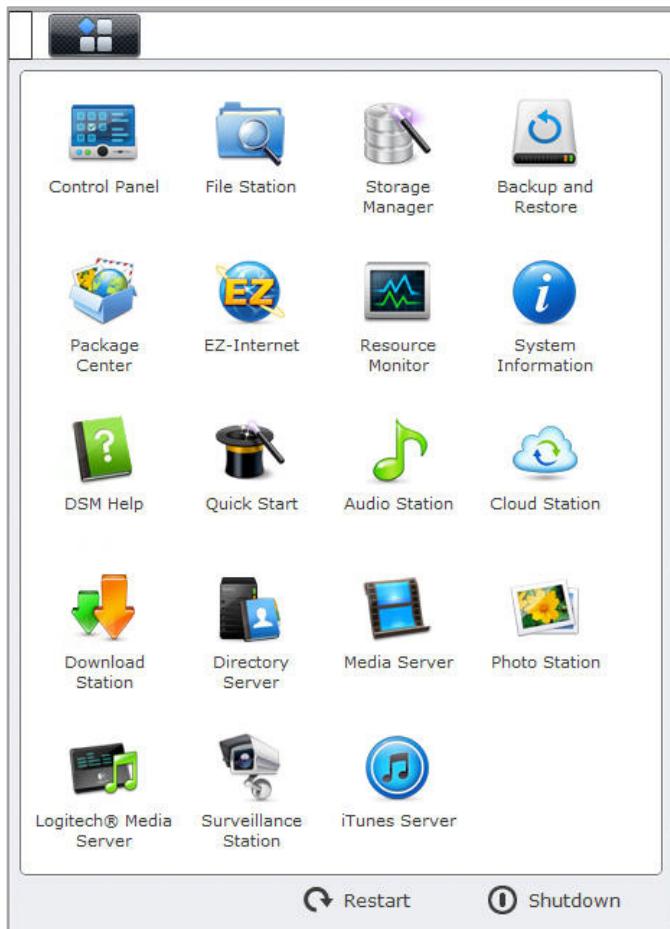
ウィジェットパネルに表示する主題を、次の 4 つの中から 1 つ選択することができます。それぞれの主題パネルの右上隅にあるアイコンをクリックすると、より詳しい情報を見ることができます。

- **現在の接続**：現在 Synology NAS リソースにアクセスしているユーザー リストが表示されます。
- **ファイル変更ログ**：Synology NAS サービスのファイル変更ログ記録が表示されます。

- **アクティブなログなし**：ログ（Samba、WebDAV、FTP、File Station）がすべてアクティブでない時に表示されます。
- **有効なログなし**：ログ（Samba、WebDAV、FTP、File Station）がいずれも有効な時に表示されます。
- **最近のログ**：Synology NAS サービスのログ記録が表示されます。
- **リソース モニタ**：CPU 使用状況、メモリ使用状況、ネットワークフローを監視します。
- **スケジュールしたバックアップ**：バックアップタスクの状態が表示されます。
- **ストレージ**：Synology NAS のボリューム使用量とディスクの状態が表示されます。
- **システムの健康状態**：Synology NAS と接続されているデバイス（存在する場合）の全体的な状態が表示されます。システムにエラーが生じたときには、これを修正するための処置を行ってください。

メインメニューで DSM を操作する

メインメニューには、Synology DiskStation Manager が提供するすべてのアプリケーションおよび設定が表示されます。



再起動とシャットダウン

[**メインメニュー**] の右下隅にある [**再起動**]、または [**シャットダウン**] をクリックすると、Synology NAS を再起動するか、または別のオペレーティングシステムと同様に終了します。

メインメニューのサムネイルの並べ替え

[**メインメニュー**] を開いて、サムネイルを希望の位置にドラッグします。

アプリケーションウィンドウを開く

コントロールパネルに加えて、メインメニューには他のすべての DSM アプリケーションのサムネイルが表示されます。DSM のマルチタスク機能により、同時に複数のアプリケーションウィンドウが表示できるようになりました。

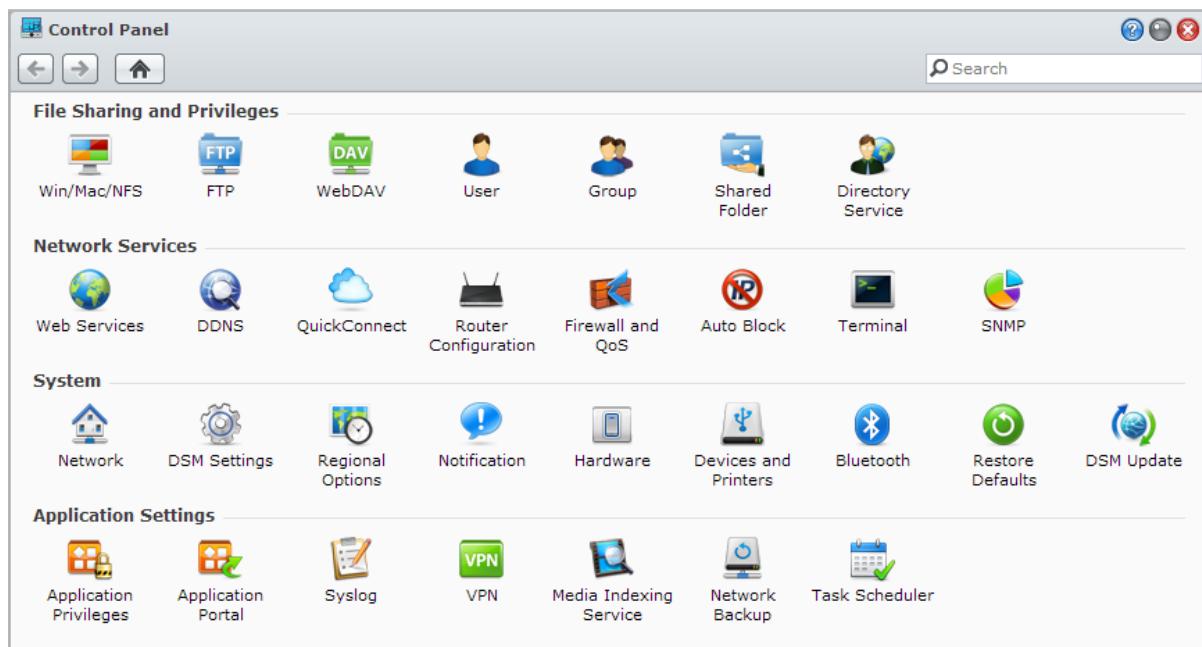
アプリケーションウィンドウを開く：

[メインメニュー] でアプリケーションのサムネイルをクリックすると、デスクトップにアプリケーションウィンドウが開き、タスクバーの [アプリケーション] アイコンが表示されます。

注：デスクトップのショートカットからアプリケーションウィンドウを開くこともできます。詳しくは、「デスクトップとショートカット」を参照してください。

コントロールパネルを使う

[メインメニュー] で [コントロールパネル] を選択すると、DSM 設定のサムネイルが表示されます。



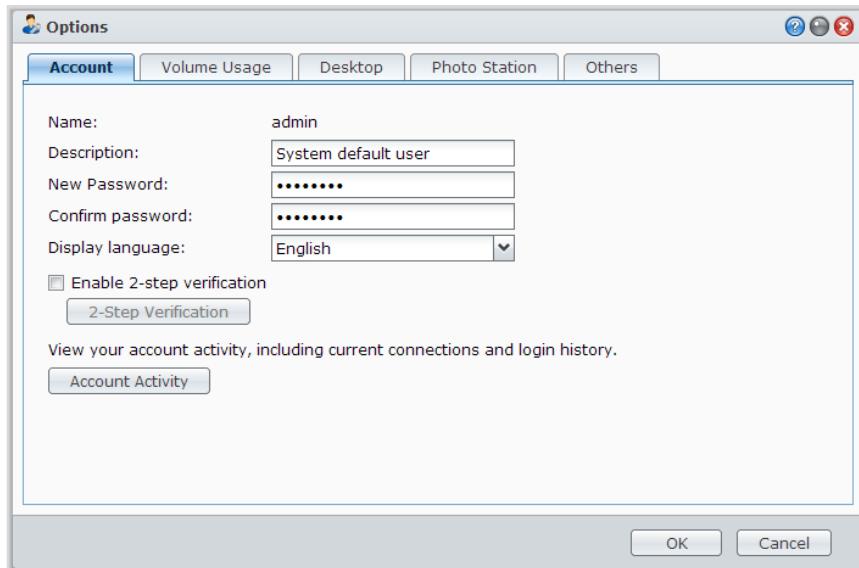
コントロールパネルの DSM 設定は以下のカテゴリーにグループ分けされています。

- ファイルの共有と権限** : Win/Mac/NFS のファイル共有を有効にし、異なるユーザー/アカウントに対するアプリケーションの利用権限を割り当てます。
- ネットワークサービス** : ネットワークサービスとインターネット接続の設定を管理および編集します。
- システム** : Synology NAS の基本設定を変更します。
- アプリケーションの設定** : Synology 設計アプリケーションを管理します。

注：コントロールパネルは、**administrators** グループに属するユーザーしか使用できません。詳しくは、「グループ作成」を参照してください。

個人オプションの操作

DSM デスクトップの右上隅にある [オプション] メニュー（アイコンが付いています）をクリックすると、ユーザー アカウント設定や DSM のログアウトを管理することができます。



アカウント

[アカウント] ではアカウント設定を編集したり、2ステップ認証を有効にしたり、DSM アカウントへの最近のログイン状況を確認したりすることができます。

制限:

- ユーザの説明には全角で 32 文字、半角で 64 文字まで入力できます。
- パスワードは半角英数字、記号、スペースを使用した 0~127 文字まで登録可能です。英字の大文字 小文字も区別されるので、気を付けてください。

2ステップ認証

2ステップ認証は、DSM アカウントの安全性をさらに高める機能です。2ステップ認証を有効にすると、DSM にログインする際、パスワード入力に加え、1回だけ有効な認証コードを入力する必要があります。認証コードは、モバイル デバイスにインストールされた認証アプリから取得できます。つまり、誰かがお客様のアカウントにアクセスしようと思ったら、お客様のユーザー名とパスワードの他にお客様のモバイル デバイスも必要となるということです。

条件:

2ステップ認証には、モバイル デバイスと TOTP (Time-based One-Time Password) プロトコルに対応する認証アプリが必要です。認証システム アプリには、Google Authenticator (Android/iPhone/BlackBerry) または Authenticator (Windows Phone) があります。

アカウントのアクティビティ

アカウントのアクティビティとは、最近 DSM アカウントにログインしたアクティビティを意味し、アカウントにアクセスした時間やアクセスした IP アドレスなどが表示されます。

ボリューム使用状況

[ボリューム使用状況] では、DSM administrators が設定したすべての Synology NAS ボリュームの割り当てを見たり、それぞれのボリュームで自分が使用している容量を確認したりすることができます。

デスクトップ

[デスクトップ] では、デスクトップの表示をカスタマイズできます。デスクトップの背景や文字の色を変えたり、画像をアップロードしてデスクトップの壁紙として使用したりすることができます。

Photo Station

このタブは、**administrators** グループに属するユーザーが Photo Station で個人用 Photo Station サービスを有効にすると表示されます。Synology NAS には **home/photo** フォルダが用意されており、共有する写真やビデオを保存できます。システムが写真やビデオのサムネールインデックスを自動的に作成し、ユーザーは Web ブラウザを通じて写真アルバムを閲覧することができます。詳しくは、「個人用 Photo Station を有効にする」を参照してください。

その他

[その他] では、その他の個人用オプションをカスタマイズすることができます。個人オプションについての詳細は、**DSM ヘルプ**を参照してください。

システム設定の変更

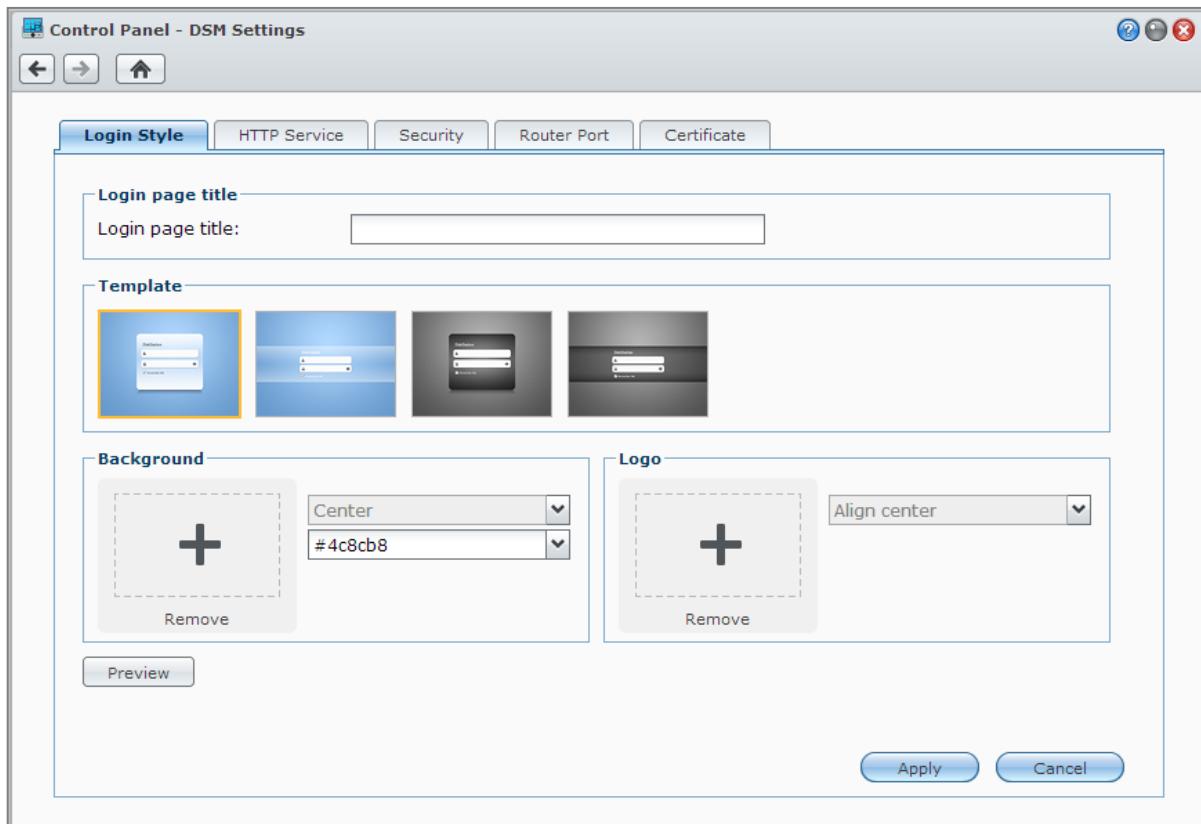
Synology DiskStation Manager (DSM) に接続し、その機能の使い方と外観のカスタマイズのしかたを覚えたたら、**administrators** グループに属しているユーザーは、その基本設定を変更することができます。

この章ではネットワーク設定、ディスプレイ言語、時間の変更、および緊急用保存機能について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

DSM 設定の変更

DSM ではログイン画面のスタイルを変更したり、HTTP サービスで使用するポートをカスタマイズしたり、ブラウズセッションの安全性を高めたり、インターネットサービスを使って共有ファイルのポートを構成したり、サーバーと管理者の身元を証明書で確認したりすることができます。

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [DSM 設定] の順に選択して、以下の DSM 設定を変更します。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



ログインスタイル

[ログインスタイル] タブでは、豊富なテンプレートの中から気に入ったものを選択したり、カスタムロゴや背景画をアップロードしたりして、DSM ログイン画面のレイアウトを変更することができます。

HTTP サービス

[HTTP サービス] タブをクリックすると、DSM にアクセスするためのポート番号を変更したり、HTTPS を設定することができます。HTTPS 接続を有効にすると、HTTPS プロトコル経由の Synology NAS への接続は SSL/TLS 暗号化メカニズムで暗号化されます。

その他の情報

HTTPS 接続へのリダイレクトについて :

オプションの [HTTP 接続を HTTPS に自動リダイレクトする] を選択すると、ポート番号 5000 からウェブ DSM にアクセスしようとしたときに、ポート番号 5001 にリダイレクトされます。

HTTPS 接続で使用するポート :

- **DSM** : セキュアチャンネルを通じて DSM にアクセスできるように、ポート番号は 5001 に設定されます。
`https://Synology_サーバー_IP:5001/`
- **Web Station** : セキュアチャンネルを通じて Web Station にアクセスできるよう、ポート番号は 443 に設定されます : `https://Synology_サーバー_IP:443/` または `https://Synology_サーバー名:443/`

セキュリティ

[セキュリティ] タブをクリックして、DSM ログイン セッションごとにセキュリティ設定を調整します。次のようなオプションがあります。

- **ログアウトタイマー** : ログアウトタイマーで指定した時間が過ぎるまでに無動作の状態が続くと、自動的にログアウトします。
- **IP チェックをスキップしてブラウザ互換性を強化する** : HTTP プロキシで Synology NAS にアクセスする場合、ランダムログアウトが発生したら IP チェックを省略することができます。ただし、IP チェックを省略すると、セキュリティレベルが低下します。
- **スクリプト攻撃からの保護を強化する** : サイト間のスクリプト攻撃からシステムを保護します。
- **iFrame で DSM が埋め込まれないようにする** : iFrame で他のウェブ ページに DSM が埋め込まれないようにして、悪意のあるウェブサイトからの特定の攻撃を阻止します。

ルーターポート

[ルーターポート] タブでは、ルーターポートを設定できます。インターネット サービス (Google Docs、Pixlr Editor) を有効にして Synology NAS でファイルを開くには、ホスト名または Synology NAS のパブリック固定 IP アドレス、パブリック ポート番号を入力して下さい。これらの設定は、セットアップ時にルーターポート（ルーターで割り当てます）とローカルポート（Synology NAS で割り当てます）に別々のポート番号が指定されている場合にのみ変更してください。

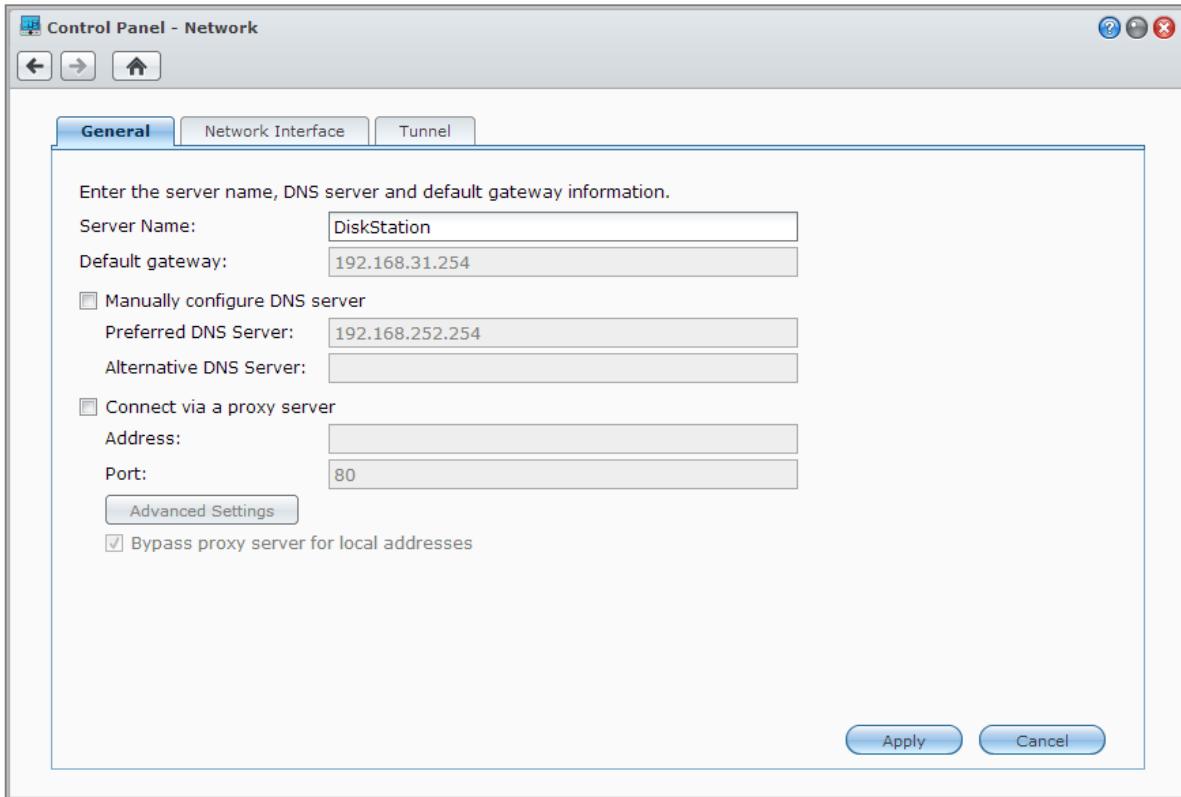
証明書

証明書はウェブ、メール、FTP など、SSL で保護された Synology NAS のサービスが使用します。証明書があることで、ユーザーはサーバーと administrator の ID を確認し、秘密情報を送信することができます。[証明書] タブには Synology NAS の証明書の状態を管理したり、表示したりするためのオプションがあります。これらを使って証明書を作成、インポート/エクスポート、更新してください。証明書セットアップ ウィザードは、自署証明書を作成したり、認証局 (CA) に登録するための証明書署名要求 (CSR) をダウンロードしたりする手順をガイドします。

証明書の管理については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ネットワーク設定の変更

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ネットワーク] の順に選択して、Synology NAS の以下のネットワーク設定を変更します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



全般

[全般] タブには、Synology NAS の名前や既定のゲートウェイを編集したり、ドメインネームサーバーやプロキシサーバーの設定を行うためのオプションがあります。

ネットワークインターフェイス

[ネットワークインターフェイス] タブには、次のネットワークインターフェイスを介して Synology NAS をネットワークに接続するためのオプションがあります。

LAN

Synology NAS が LAN に接続されている場合は、左側にある [LAN] か [LAN [番号]]（複数の LAN ポートを持つ Synology NAS の場合）をクリックすると、DHCP で自動的にネットワーク設定を取得するのか、Synology NAS の IP アドレスを手動で設定するのかを指定するなど、ネットワークインターフェイスの設定を行うことができます。

Bond

複数 LAN ポートのある Synology NAS の場合は、複数の LAN インタフェースを Link Aggregation で [Bond] [数] インタフェースに¹結合することができます。このインターフェースは、LAN インタフェースで行う場合と同じように設定できます。

用語説明

Link Aggregation : 複数 LAN ポートのある Synology NAS の場合、複数の LAN ケーブルをネットワークに同時に接続するか、異なるサブネットの 2 つの IP アドレスにそれを割り当てるよう Synology NAS を設定することができます。Link Aggregation が有効な場合は、trunking（複数接続速度用の集合 LAN インタフェースのネットワークバンド幅の結合）と network fault tolerance（いずれかの集合 LAN インタフェースが利用できない場合のネットワーク接続の維持）を使用できます。

ワイヤレス²

左側の **ワイヤレス** をクリックして、Synology NAS をワイヤレスネットワークに接続します。ワイヤレスネットワークは、ワイヤレスドングルが Synology NAS の USB ポートに接続されている場合にのみ利用可能です。

IPv6 設定

[LAN] または [ワイヤレスネットワーク] インタフェースを設定するとき、[IPv6 設定] ボタンをクリックすると IPv6 設定を変更できます。

Synology NAS は IPv4/IPv6 デュアルスタックトーマをサポートしています。つまり、IPv4 および IPv6 の両方が Synology NAS で同時に機能します。IPv6 のデフォルト設定は [自動]³ になっています。

PPPoE

Synology NAS が DSL やケーブルモdemに接続している場合は、左側の [PPPoE] をクリックして、インターネットサービスプロバイダ (ISP) が PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet) を使用するようにします。

ホットスポット⁴

ワイヤレスドングル（ハードウェアキー）⁵ が Synology NAS の USB ポートに接続されている場合は、Synology NAS でホットスポットを有効にすると、Wi-Fi ネットワークの範囲内で他のコンピュータやモバイルデバイスがワイヤレス接続を共有できるワイヤレスアクセスポイントとして使用することができます。

トンネル

トンネルは IPv6 パケットを IPv4 パケット内にカプセル化して、IPv6 ホストまたはネットワークに IPv4 ネットワークバックボーンとの互換性を持たせるものです。

[トンネル] タブをクリックして、IPv4 環境下の IPv6 経由で Synology NAS がインターネットにアクセスできるようにします。

¹ Link Aggregation は、複数の LAN ポートがある Synology NAS でのみ利用できます。

² ワイヤレスネットワークは特定のモデルにのみ対応しています。

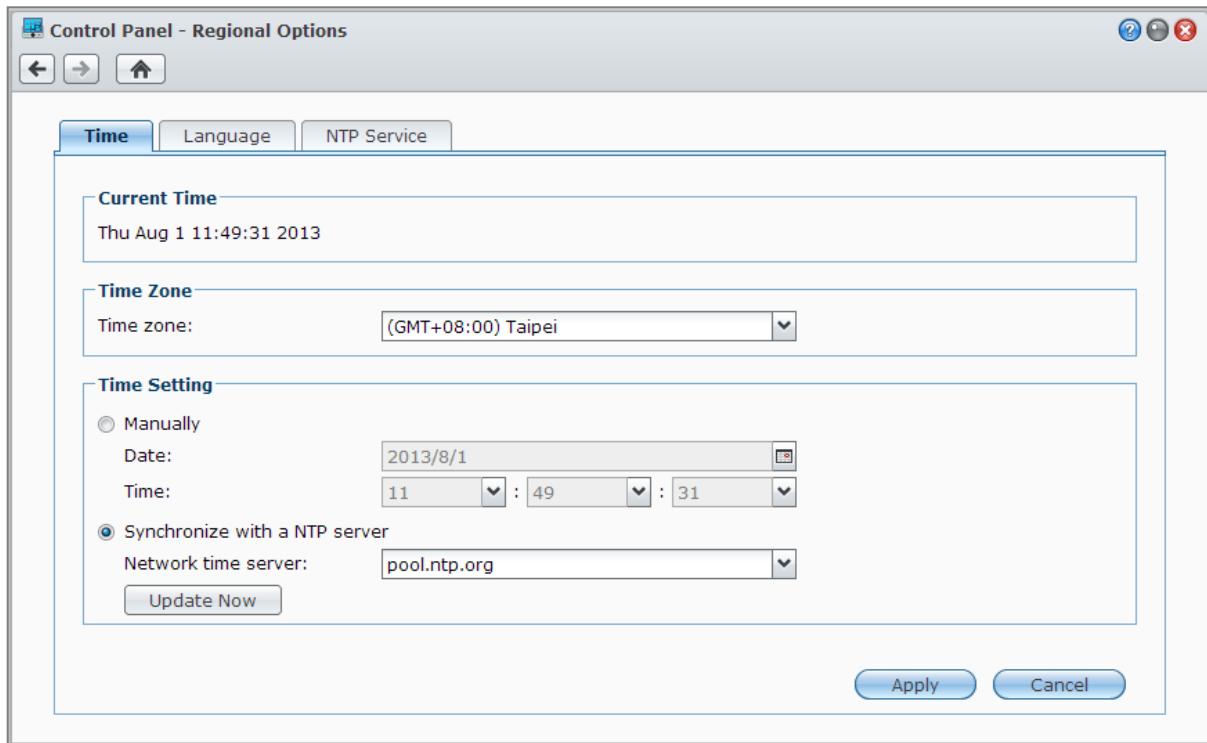
³ IPv6 サービスは、08-シリーズモデル以上 (108j と 109j を除く) をサポートしています。

⁴ ホットスポットは特定のモデルでしかサポートされていません。

⁵ 互換性のあるワイヤレスドングルの一覧は、www.synology.com をご覧ください。

地域のオプション変更

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [地域のオプション] の順に選択して、以下の地域のオプションを設定します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



時刻設定

[時間] タブをクリックして、Synology NAS のシステム時間を設定してください。現在の時刻を確認したり、サーバーの日付と時刻を手動で設定する、またはネットワークタイムサーバーを使用して自動的に設定したりできます。

言語

[言語] タブをクリックして、Synology DiskStation Manager の言語を設定し、通知を有効にして、ユニコードのファイル名変換用のコードページを指定します。

- **表示言語**：優先的な表示言語、またはブラウザのデフォルト設定と同じ言語を選択できます。
- **通知言語**：Synology NAS の電子メール通知およびインスタント メッセージング通知で使用する優先言語を設定します。
- **文字コード**：Synology NAS は、別の言語を使用しているコンピュータがファイルにアクセスできないという事態が発生しないように、ユニコードを使用します。ただし、以下のデバイスまたはアプリケーションが問題なく Synology NAS サービスを使用できるようにするには、それぞれに適切なコードページを選択する必要があります。
 - ユニコードをサポートしないコンピュータ
 - FTP サービス、UPnP サポート、音楽メタデータのインデックス化など、非ユニコードをユニコードに変換するアプリケーション

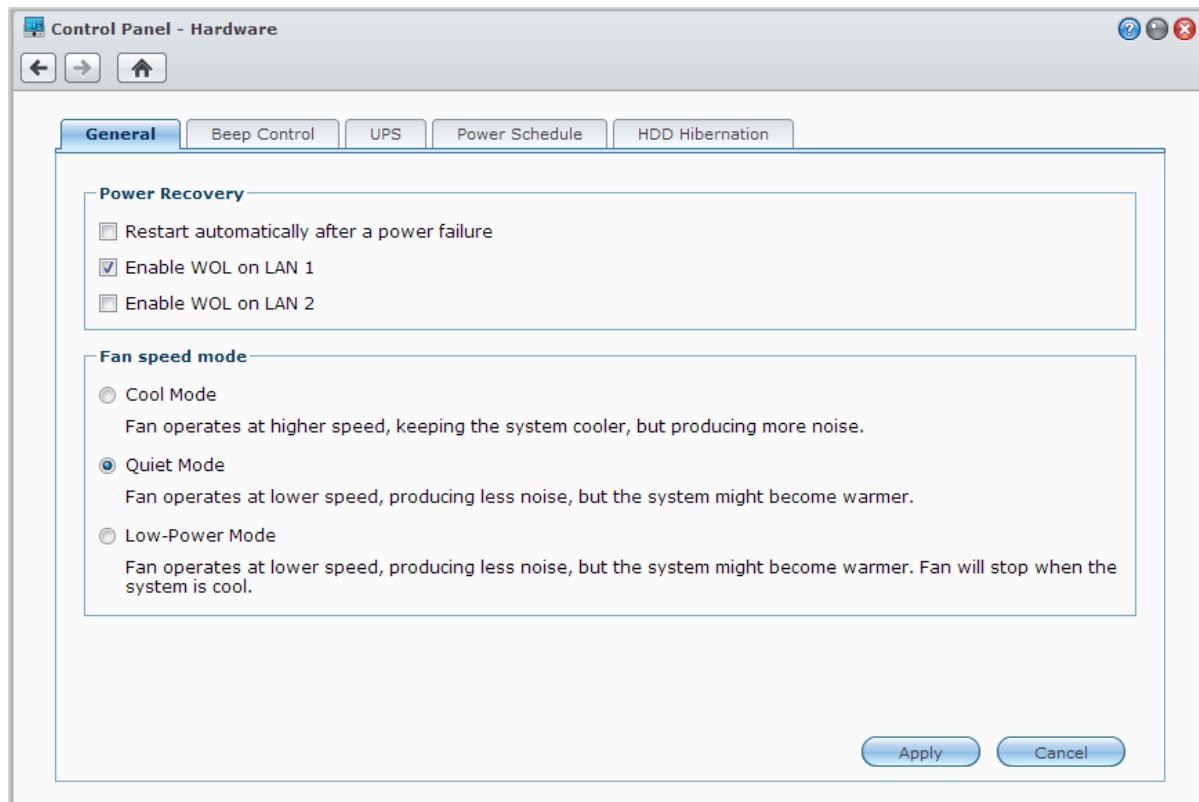
NTP 機能

Synology NAS をネットワークタイム サーバーにして、別のネットワーク機器と Synology NAS がネットワークを介して時間を同期できるようにするには、[NTP サービス] タブをクリックします。

注: Surveillance Station と Synology High Availability には NTP サービスが必要です。したがって、Surveillance Station がインストールされており、Synology NAS で起動されている場合は、パッケージを起動している間はこのサービスを無効にすることはできません。

省エネ機能を使う

[メインメニュー] > [コントロール パネル] > [ハードウェア] の順に選択し、DSM に装備されている次の省エネ機能を制御します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



全般

電源復旧、WOL（ウェイク・オン・ラン）¹、ファン速度の設定を変更するには、[全般] タブをクリックします。

- **停電後自動的に再起動する**：停電などが原因でシステムが突然シャットダウンした場合、電源復旧機能は電気復旧時に自動的にシステムを再起動します。
- **WOL（ウェイク オン ラン）を有効にする**：指定したネットワークインターフェイスで WOL（ウェイク オン ラン）を有効にします。
- **ファン速度モード**：環境と環境設定に応じてファン速度を変更します。

その他の情報

WOL（ウェイク オン ラン）について：Synology NAS で WOL（ウェイク・オン・ラン）を有効にした後は、WOL（ウェイク・オン・ラン）アプリケーションを使用して LAN またはインターネット経由で Synology NAS を起動することができます。Synology NAS の IP アドレス（または DDNS ホスト名）と Mac アドレスを入力して、この機能を起動します。

Wake-on-LAN は、[電源] ボタンを押す、または DSM のメインメニューで [シャットダウン] を選択して Synology NAS をシャットダウンし、電源ケーブルを利用可能なコンセントに差し込むと機能します。

注：WOL（ウェイク オン ラン）は、Synology Assistant（Synology ダウンロードセンターからダウンロードできます）でサポートされる Synology NAS でも機能します。詳しくは、Synology Assistant のヘルプを参照してください。

警告音の設定

[ビープ音の設定] タブをクリックすると、特定の状況で Synology NAS に警告音を出させるかどうかを設定できます。

UPS

[UPS] タブでは、UPS 関連設定を変更できます。UPS（無停電電源装置）は、停電になってもしばらくの間であれば Synology NAS を稼働し続けられるバックアップ用電源装置です。この機能は、電源が切れてシャットオフしてしまう前に Synology NAS がデータを保存し、ボリュームをアンマウントするのに十分な時間を与えることで、データの消失を防止します。Synology NAS はローカル デバイス、または SNMP UPS デバイスに接続できます。

電源管理

[電源管理] タブをクリックして、特定の時間に自動的にスタートアップまたはシャットダウンするよう設定します。

HDD ハイバネーション

[HDD ハイバネーション] タブをクリックして、Synology NAS のすべての内部ディスク、および外部ディスクのハイバネーションを管理します。

ディスクが HDD ハイバネーションモードになると、回転を停止して無効状態になります。これは省エネのほかにも、ディスクの寿命を長くするという効果があります。

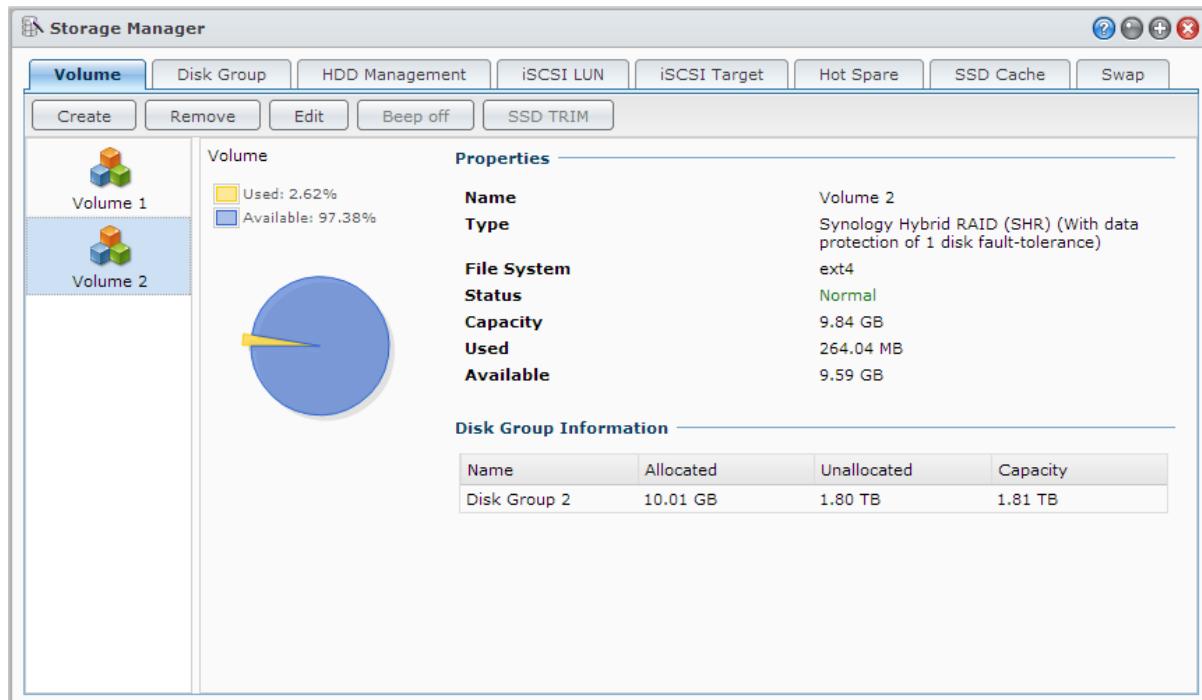
¹ WOL（ウェイク オン ラン）は特定のモデルにのみ対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

ストレージスペースの管理

Synology NAS の各種機能を利用するには、1つ以上のストレージスペースを設定する必要があります。この章では、ストレージマネージャを使ってボリューム、ディスクグループ、iSCSI Target、iSCSI LUN などストレージスペースを管理したり、ハードドライブの状態を見たりする方法を説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ボリュームとディスクグループ

ボリュームとは、Synology NAS 上の基本的な保存領域のことです。Synology NAS にデータを保存する前に、1つ以上のボリュームを作成する必要があります。DSM のストレージマネージャを使用すると、異なる RAID タイプや割り当てる容量をカスタマイズしたりして、ボリュームを作成することができます。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



ボリュームの作成

ボリュームを作成するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [ボリューム] を選択し、[作成] をクリックします。この操作を行うと、それぞれのニーズに応じてボリューム作成を助けるセットアップ ウィザードが起動します。

クイックボリュームまたはカスタムボリューム

新しくボリュームを作成するには、次のオプションがあります。

方法	機能
クイック	Synology Hybrid RAID (SHR) ボリュームを作成できます。 構成するハードディスクに基づいて、ボリュームの容量と性能を自動的に最適化します。 時間を節約したい方、またはストレージ管理を簡略化したい方にお勧めします。
カスタム	異なるタイプの RAID を導入できます。 ディスクグループに 1 個のボリュームまたは複数のボリュームを導入できます。 各ボリュームに特定の容量を割り当てることができます（RAID に複数のボリュームを作成する場合のみ） Synology NAS 上で詳細にストレージ管理を行いたい方にお勧めします。

RAID 上の単一ボリュームまたは複数ボリューム

カスタムボリュームを作成するには、次のオプションがあります。

オプション	機能
RAID の単一ボリューム	選択したディスクで使用可能な容量をすべて単一のボリュームに割り当てます。 速度と性能が向上します。 異なるタイプの RAID を導入できます。
RAID の複数ボリューム	ディスク グループに複数のボリュームを作成できます。 各ボリュームにそれぞれ異なる容量を割り当てられます。 柔軟なストレージ管理を行えます。 異なるタイプの RAID を導入できます。

RAID タイプ

インストールしたハードディスクのモデルや数によって、カスタムボリュームかディスクグループを作成する際には、次の RAID タイプを導入できます。

RAID タイプ	HDD の数	許容可能な障害 HDD の数	説明	容量
SHR ¹	1	0	Synology Hybrid RAID ボリュームは、異なるサイズのハードドライブを組み合わせる場合、ストレージ容量と性能を向上させます。2 台または 3 台のハードディスクで構成される SHR ボリュームでは、1 ディスク フォールト レンスが可能になります。一方、4 台以上のハードディスクで構成される SHR ボリュームの場合、1 ディスクまたは 2 ディスク フォールト レンスが可能になります。	1 x (HDD サイズ)
	2 - 3	1		システムによる最適化
	≥ 4	1 - 2		
Basic	1	0	Basic ボリュームは、独立した装置として 1 つのハードドライブで作成します。Basic ボリュームを作成する場合、1 度に選択できるハードドライブは 1 台だけです。	1 x (HDD サイズ)
JBOD	≥ 2	0	JBOD はハードドライブの集合体です。	HDD サイズの合計

¹ Basic 以外の RAID タイプは、特定のモデルのみ対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

RAID タイプ	HDD の数	許容可能な障害 HDD の数	説明	容量
RAID 0	≥ 2	0	複数のハードディスクを組み合わせてボリュームを構築する RAID 0 は、データのブロック分割、複数のハードドライブをまたいでデータブロックの分散するストライピングを提供します。ただし、安全対策はありません。	(HDD の数) × (HDD の最小サイズ)
RAID 1	2 - 4	(HDD の数) - 1	システムはそれぞれのハードドライブに同じデータを一度に書き込みます。そのため、少なくとも 1 つのディスクが正常であればデータの整合性が維持されます。	HDD の最小サイズ
RAID 5	≥ 3	1	RAID 5 ではバックアップオプションが用意されています。データを復元できるように、パリティモードを使用して、1 台のディスク装置のサイズに匹敵する記憶領域に冗長データを保存します。	(HDD の数 - 1) × (HDD の最小サイズ)
RAID 5+Spare	≥ 4	2	RAID 5+Spare ボリュームを構成するには、4 台以上のドライブが必要です。その内 1 台を Hot Spare ドライブにして、ドライブに不具合が発生した場合に自動的にボリュームを再構成できるようにします。	(HDD の数 - 2) × (HDD の最小サイズ)
RAID 6	≥ 4	2	RAID 6 は、特別なデータ保護を提供します。将来データを復元できるように、パリティモードを使って 2 台のディスク装置のサイズに匹敵する記憶領域に冗長データを記憶します。	(HDD の数 - 2) × (HDD の最小サイズ)
RAID 10	≥ 4 (偶数)	各 RAID 1 グループ内に 1 つの HDD	RAID 10 は、 RAID 0 のパフォーマンスと RAID 1 レベルのデータ保護機能を備えています。 RAID 10 は、2 台のハードドライブを 1 つの RAID 1 グループに結合し、すべてのグループを RAID 0 と結合します。	(HDD の数 / 2) × (HDD の最小サイズ)

ディスクグループの作成

既に説明したとおり、ディスクグループを作成するとストレージスペースを管理する上で柔軟性が増します。ディスクグループはボリューム作成セットアップ ウィザードで作成できます。または [メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [ディスクグループ] を選択し、[作成] をクリックします。

ボリュームまたはディスクグループの修復

修復機能は RAID 1、RAID 10、RAID 5、RAID 5+Spare、RAID 6、および SHR のボリューム、またはディスクグループで使用できます。RAID タイプによっては、ボリュームまたはディスクグループの中の 1 台のハードドライブに不具合が発生すると、劣化モードになります。クラッシュしたディスクを交換してボリュームまたはディスクグループを修復して、ボリュームまたはディスクグループのデータの保護を維持することができます。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

RAID タイプの変更

既存のボリュームまたはディスクグループの RAID タイプは、既存のデータを消失させることなく変更できます。ですから、ストレージ容量を手軽に、経済的に管理することができます。例えば、Synology NAS に RAID 1 ボリュームを作成し、後からハードディスクを追加して RAID 5 タイプに変更するといったことが可能です。

ここでは、RAID タイプの変更についての基本情報を紹介します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

サポートされる RAID の種類

RAID タイプは次のように変更できます。

RAID タイプ	変更できるタイプ
Basic	RAID 1、RAID 5、RAID 5+Spare
RAID 1	RAID 5、RAID 5+Spare
RAID 5	RAID 5+Spare、RAID 6
ミラーディスクを RAID 1 に追加	RAID 1

ハードディスクの動作条件

ボリュームやディスク グループの RAID タイプを変更するためには、Synology NAS に十分な数のハードディスクが必要です。RAID タイプ毎に必要となるハードディスクの数については、次の表を参照してください。

RAID タイプ	ハードディスクの最低数
RAID 1	2、4
RAID 5	3
RAID 5+Spare	4
RAID 6	4

ボリュームまたはディスクグループの増設

ボリュームまたはディスクグループのストレージ容量は、ハードディスクの数を増やしたり、容量の大きいハードディスクを追加することで徐々に拡大できます。この機能を使用すると、予算に応じてボリュームやディスクグループの容量を拡大していくことが可能になるため、大切なデータを確実に保持することができます。

ここでは、ボリュームやディスクグループの拡大についての基本情報を紹介します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

ボリュームサイズを変更してボリュームを拡張する

RAID に複数のボリュームを作成する場合、それぞれのボリュームには指定したディスクグループの容量を割り当てることができます。ボリュームに割り当てた容量を変更するには、ボリュームを選択して [編集] をクリックしてください。

ハードディスクを交換してボリュームまたはディスクグループを拡張する

SHR、RAID 1、RAID 5、RAID 5+Spare、RAID 6 については、ハードディスクを大きい容量のものに交換することでボリュームやディスクグループの容量を拡張できます。この方法で容量を拡張する場合は、ハードディスクを 1 台ずつ交換してください。ハードディスクを 1 台交換する毎に、次のハードディスクに取り掛かる前にボリュームまたはディスクグループを修復する必要があります。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

最初に交換すべきハードディスクを確認するには、次の表を参照してください。

RAID タイプ	ハードディスクの最小サイズ
RAID 5 および RAID 6	RAID 5 または RAID 6 ボリュームまたはディスク グループのハードディスクを取り換える場合、まず最も小さいハードディスクから交換してください。RAID 5 ボリュームのストレージ容量は、(ハードディスクの数 - 1) × (最小サイズのハードディスク) となります。一方、RAID 6 の場合は、(ハードディスクの数 - 2) × (最小サイズのハードディスク) となります。要するに、ハードディスクのスペースを最大限活用するためには、常に最小のハードディスクから取り換える必要があります。
SHR (Synology Hybrid RAID)	構成するすべてのハードディスクがすべて同じ容量のときは、2台以上のハードディスクを取り換える必要があります。そうしなければ、ボリュームが増設されません。 構成ハードディスクの容量が異なる場合は、新しく交換するハードディスクは既存のハードディスクの中で最も大きいものと同等か、それよりも大きくなればなりません。また、ハードディスク最大限に活用するために、まず小容量の構成ハードディスクから取り換えてください。

ディスクを追加してボリュームまたはディスクグループを拡張する

SHR、JBOD、RAID 5、RAID 5+Spare、RAID 6 については、Synology NAS に予備のハードディスクベイがある場合は、ハードディスクを追加することによってボリュームやディスクグループを拡張することができます。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

交換用ハードディスクの最小サイズについては、次の表をご参照ください。

RAID タイプ	ハードディスクの最小サイズ
SHR	追加するハードディスクの容量は、ボリュームまたはディスク グループのハードディスクの中で最も大きいものと同等か、それ以上でなければなりません。例えば、2 TB、1.5 TB、1 TB の3つのハードディスクで構成されるボリュームの場合、新しいハードディスクは最低でも 2 TB のものを準備してください。
RAID 5、RAID 5+Spare、RAID 6	追加するハードディスクの容量は、ボリュームまたはディスク グループのハードディスクの中で最も小さいものと同等か、それ以上でなければなりません。例えば、2 TB、1.5 TB、1 TB の3つのハードディスクで構成されるボリュームの場合、新しいハードディスクは最低でも 1 TB のものを準備してください。

データスクラップ

データスクラップとは、ボリュームやディスク グループを検査して、データの不整合が検出された場合はそれを修正してくれるデータ維持機能です。この機能は、SHR（3台以上のディスクで構成）、RAID 5、RAID 6 が導入されたボリュームかディスク グループで使用できます。

データの整合性を保持し、ディスクの不具合により重要なデータが消失するのを防止するためにも、定期的にデータスクラップを行ってください。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

SSD TRIM

ボリュームが SSD (Solid State Drives) だけで構成されている場合は、SSD TRIM を有効にするようお勧めします。この機能は、SSD 上に構築したボリュームの読み取り速度と書き込み速度を高め、効率を高めると同時に SSD の寿命も長くします。

SSD TRIM を設定する前に、[DSM ヘルプ](#)で詳しい手順と制限を確認してください。

注:

- SSD TRIM 機能は一部の Synology NAS モデルと RAID タイプでしかご利用いただけません。.
- 一部の SSD モデルは RAID 5 と RAID 6 ボリュームでは SSD TRIM を実行できません。互換リストについては、www.synology.com をご覧ください。

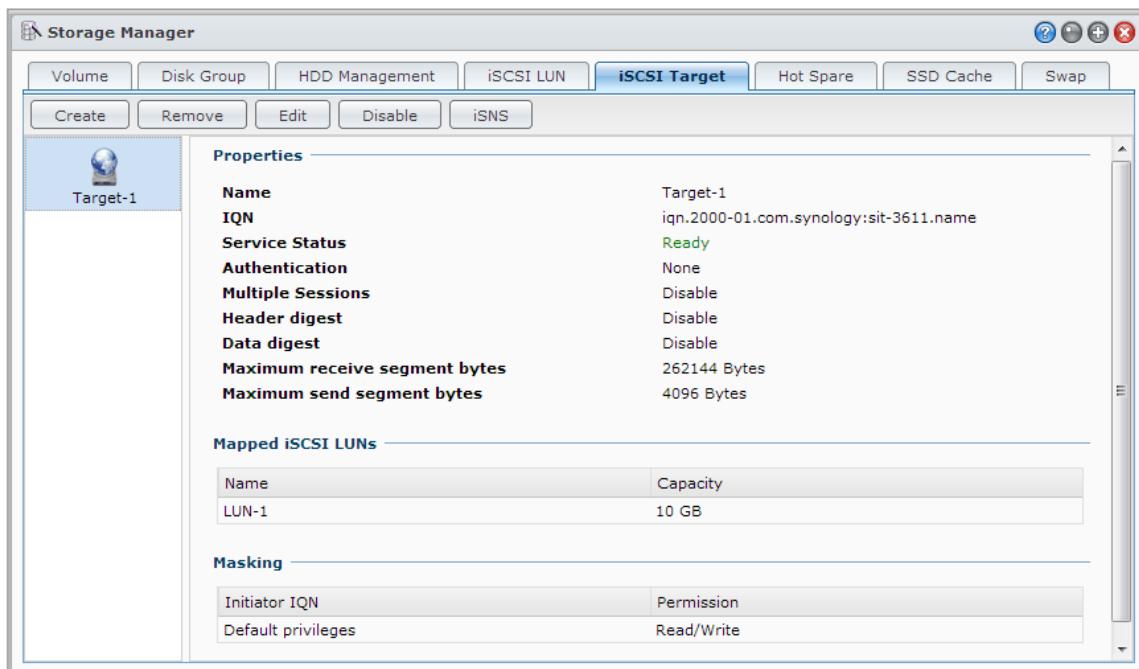
iSCSI Target と LUN

iSCSI (Internet Small Computer System Interface) とは、Storage Area Networking (SAN) サービスの一種であり、統合したブロックレベルのデータストレージにアクセスできます。iSCSI の主な用途は、インターネットでデータを転送しやすくすることであり、離れた場所からストレージを管理することができます。

ここでは、iSCSI Target と LUN についての基本情報を紹介します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

iSCSI Target の管理

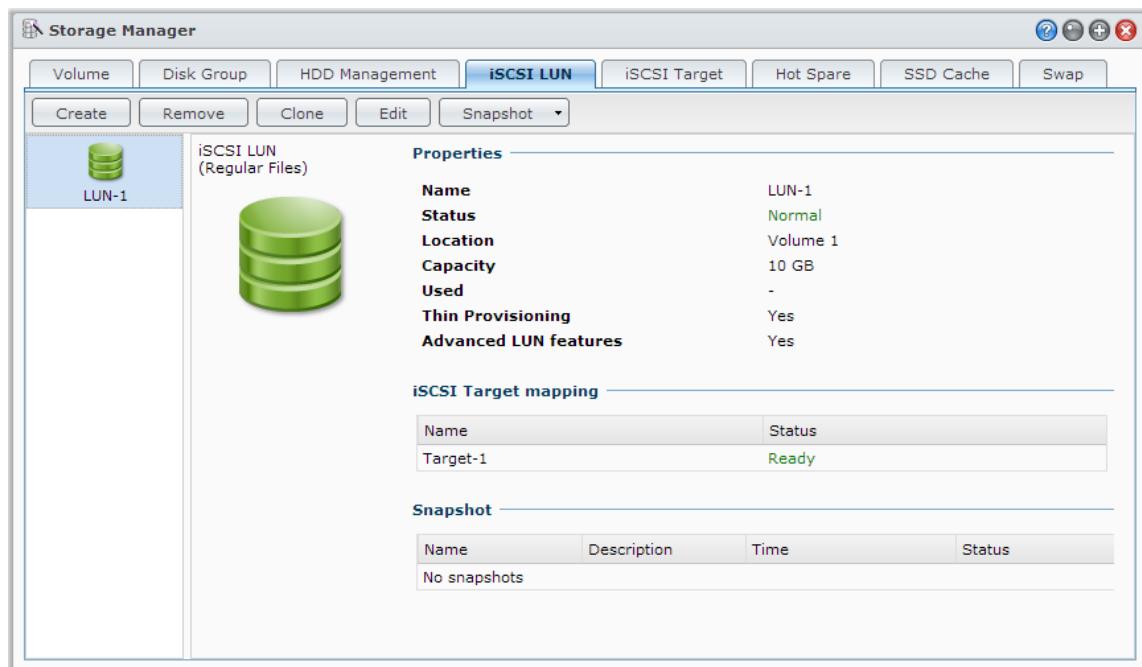
[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] の順に進みます。[iSCSI Target] タブをクリックして、Synology NAS の iSCSI Target を管理してください。iSCSI Target の最大数は、モデルにより異なります。詳しくは、「iSCSI LUN の管理」を参照してください。



iSCSI LUN の管理

iSCSI LUN（論理ユニット番号）とは、iSCSI Target のアドレス可能な部分を意味します。iSCSI LUN は読み取りや書き込みなどのストレージ操作を行うために、複数の iSCSI Target にマッピングできます。

[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] の順に進み、[iSCSI LUN] タブをクリックします。Synology NAS で iSCSI LUN を管理してください。iSCSI LUN の最大数は、モデルにより異なります。製品の仕様については、www.synology.com をご覧ください。



iSCSI LUN のクローン

LUN クローン¹を活用すると、ほぼ瞬時に LUN の複製を作成できます。システムを超えた操作を行うとき、生産性を高めると共に、より容易に導入できるということを意味しています。LUN クローンは複製作成時にわずかなスペースしか使用しません。

[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] の順に選択します。[クローン] ボタンをクリックして、iSCSI LUN の書き込み可能なコピーを作成するか、iSCSI LUN のスナップショットを作成します。

iSCSI LUN のスナップショットの作成

LUN スナップショット¹を活用すると、システムの性能に影響を与えることなく、point-in-time テクノロジーを使って 1 つの LUN につき最高で 256 個のスナップショットを作成することができます。貴重なストレージスペースを効率的に使用できるだけでなく、保護レベルも向上します。また重要なデータを簡単に復元できるという利点もあります。

[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] の順に選択します。[スナップショット] ボタンをクリックすると、iSCSI LUN スナップショットが撮影されます。

ハードディスクの管理

[HDD の管理] タブでは、ハードディスクの性能や健康状態を管理、分析するオプションを使って、Synology NAS にインストールされているハードディスクの状態を監視することができます。これを実行するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [HDD 管理] の順にクリックしてください。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

¹ LUN クローンとスナップショットは特定モデルでしかご利用いただけません。

書き込みキャッシング サポートを有効にする

書き込みキャッシングサポートを有効にすると、Synology NAS の性能が向上します。この機能は特定のハードディスク モデルでしかサポートされていません。書き込みキャッシングサポートを使用している間は、データを保護するために UPS デバイスをご使用になることを強くお勧めします。また使用後は毎回システムをシャットダウンするようお薦めします。書き込みキャッシングを無効にすると、突然の停電によりデータが消失するリスクを低減することができますが、システムの性能が劣化します。

S.M.A.R.T. テストを実行する

S.M.A.R.T. テストは、ハードディスクの状態を調査、報告してディスク不良の可能性を警告します。エラーが検出されたら、直ちにディスクを交換するようお薦めします。タスクを作成すると、S.M.A.R.T. テストを自動的に実行するように予約できます。

ディスク情報のチェック

[ディスク情報] セクションには、ハードディスクのモデル名、シリアル番号、ファームウェアのバージョン、合計サイズなどが表示されます。

SSD キャッシュ

SSD キャッシュ¹ ドライブは RAID 0 構成にインストールしてマウントし、ボリュームの iSCSI LUN（通常ファイル）、または Synology サーバー上の iSCSI LUN（ブロックレベル）を含め、ボリュームの読み取り速度を向上させることができます。ドライブのマウント、SSD の互換性の確認、関連情報の表示を行うには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [SSD キャッシュ] を選択します。

SSD のインストールについては、Synology サーバーの クイック インストール ガイドを参照してください。
SSD 管理についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)をご覧になるか、[Synology SSD キャッシュ白書](#)をご参考ください。

Hot Spare

「Hot Spare² ディスク」とは、劣化したボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN で故障したディスクを自動的に交換して補修するための予備のハードディスクのことです。Hot Spare ディスクは、ボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN が次の条件を満たす場合、全体的に割り当てて、Synology NAS 内のボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN を保護することができます。

- ボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN の RAID タイプが、データ保護を備えていること（例：RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10）。
- Hot Spare ディスクのサイズが、必ずボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN で最小のディスクのサイズと同じ、またはそれ以上のサイズであること。

Hot Spare の管理

[ストレージマネージャ] > [Hot Spare] > [管理] の順に選択し、Hot Spare ディスクを管理してください。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

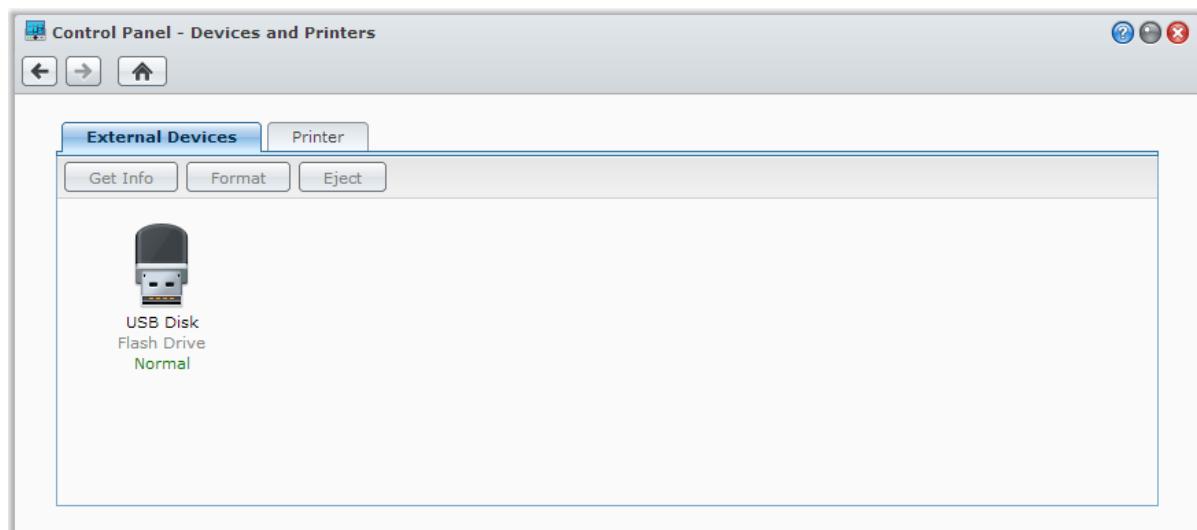
¹ SSD キャッシュは特定のモデルでしかサポートされていません。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

² Hot Spare 機能は特定モデルでしかご使用いただけません。

外部ディスクの管理

外付け USB または eSATA ディスクを Synology NAS の USB ポートか eSATA ポートに取り付けると、バックアップまたはファイル共有ができます。¹

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンタ] > [外部デバイス] の順に選択し、接続した外部ディスクを管理したり、プリンタを設定したりしてください。[外部デバイス] タブには、デバイス情報を確認したり、フォーマットを変更したり、デバイスを取り出したりするためのオプションがあります。[プリンタ] タブには、USB やネットワークプリンタを設定するためのオプションがあります。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。



¹ eSATA は特定のモデルのみに対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

ストレージスペースの管理 (RS10613xs+ の場合)

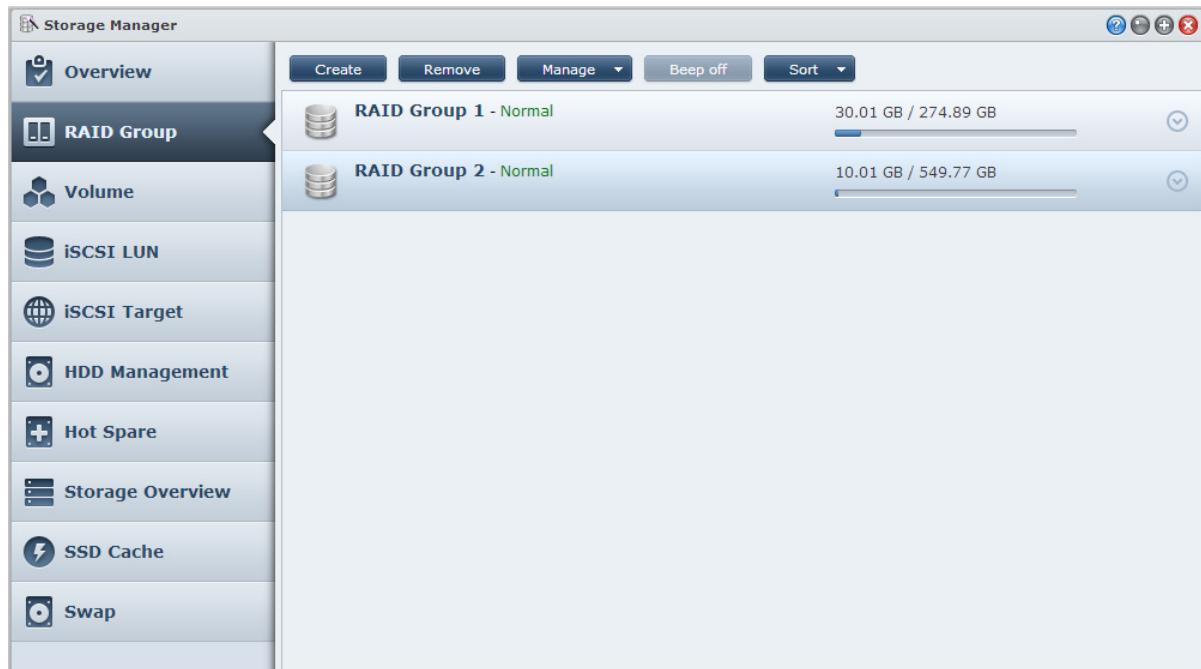
Synology NAS で機能やサービスをご利用になる前に、RAID グループを作成し、ストレージスペースを管理してください。この章では、RAID Group、ボリューム、iSCSI LUN および iSCSI Target の作成と管理、および外部ディスクへのアクセス、ハードディスクまたはキャッシュの管理について説明します。詳しくは、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

概要

概要には、ストレージスペースの状態、ハードディスクの使用状況、ボリュームの最大使用量、iSCSI LUN の使用量を含む、ストレージスペースの全体的な状態が表示されます。[概要] タブは、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [概要] を選択すると表示されます。詳しくは、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

RAID Group の管理

Synology NAS では、複数のハードディスクを「RAID グループ」と呼ばれる 1 つのストレージ単位にまとめることができます。ボリュームまたは iSCSI LUN（ブロックレベル）は、RAID Group の最上層に作成できます。RAID グループを作成する前に、Synology NAS に十分な数のハードディスクが搭載されていることを確認してください（ハードディスクの装着については、Synology NAS のクイックインストールガイドをお読みください）。



RAID Group の作成

RAID Group を構築するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [RAID Group] を選択し、[作成] をクリックします。RAID グループの構築手順は、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

RAID Group の種類

Synology NAS は、次のタイプの RAID Group に対応しています。

- **1 つのボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) の RAID Group**
 - 使用可能な容量をすべて 1 つのボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) に割り当てます。
 - 性能は高まりますが、管理上の柔軟性に欠けます。
 - ボリューム上に複数の iSCSI LUN (通常ファイル) を作成できます。
 - 最大で 1 つの RAID アレイに対応します。
- **複数のボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) の RAID Group**
 - RAID Group 上で複数のボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) を作成できます。
 - 管理上の柔軟性が高まります。
 - ボリューム上に複数の iSCSI LUN (通常ファイル) を作成できます。
 - 1 つの RAID Group に複数の RAID アレイを作成できます (RAID 5 または RAID 6 に構成する場合)。

RAID タイプ

使用可能なハードディスクの数によって、異なる RAID タイプの RAID Group を作成できます。RAID タイプ毎に、性能、データ保護、ストレージ機能のレベルが異なります。Synology NAS は次のタイプの RAID に対応しています。

RAID タイプ	HDD の数	許容可能な障害 HDD の数	説明	容量
Basic	1	0	1 台のハードディスクでストレージスペースを作成します。	1 x (HDD サイズ)
JBOD	2-12	0	複数のハードディスクを組み合わせて、1 つの大型ストレージスペースにします。	HDD サイズの合計
RAID 0	2-12	0	RAID 0 はデータをブロックに分けて、複数のハードドライブにまたがってデータ ブロックを書き込むストライピングを行いますが、安全性に欠けます。	(HDD の数) x (HDD の最小サイズ)
RAID 1	2 - 4	(HDD の数) - 1	ミラー化したデータのコピーを各ハードドライブに書き込みますので、1 台のハードディスクが正常に機能している限りデータの冗長性と保護が保証されます。	HDD の最小サイズ
RAID 5	3-12/RAID アレイ	各 RAID アレイに 1 HDD	データとパリティ情報の両方をすべてのディスクにわたってストライピングし、データの冗長性を保証します。1 台のハードディスクが故障しても、システムは他のハードディスク上にあるパリティ情報をを使って再構築することができます 複数のボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) を持つ 1 つの RAID Group を作成するために、複数の RAID アレイを組み合わせることができます	組み合わせた RAID アレイの合計容量。 RAID アレイの容量 = (HDD # - 1) x (最小 HDD の容量)。
RAID 6	4-12/RAID アレイ	各 RAID アレイに 2 HDD	RAID 6 は、特別なデータ保護を提供します。将来データを復元できるように、パリティモードを使って 2 台のディスク装置のサイズに匹敵する記憶領域に冗長データを記憶します。 複数のボリュームまたは iSCSI LUN (ブロックレベル) を持つ 1 つの RAID Group を作成するために、複数の RAID アレイを組み合わせることができます	組み合わせた RAID アレイの合計容量。 RAID アレイの容量 = (HDD # - 2) x (最小 HDD の容量)
RAID 10	4-12/RAID アレイ (偶数)	各 RAID 1 グループ内に 1 つの HDD	RAID 0 の性能と、RAID 1 レベルのデータ保護を可能にします。RAID 10 は、2 台のハードドライブを 1 つの RAID 1 グループに結合し、すべてのグループを RAID 0 と結合します。	(HDD の数 / 2) x (HDD の最小サイズ)

RAID タイプの変更

既存の RAID Group の RAID タイプは、既存のデータを消失させることなく変更できます。ですから、ストレージ容量を手軽に、経済的に管理することができます。RAID グループの RAID タイプを変更するには、Synology NAS にハードディスクがインストールされている必要があります。次の表は、RAID 変更に対応するタイプを表示しています。RAID タイプの変更については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

RAID タイプ	変更できるタイプ
Basic	RAID 1 から RAID 5 へ
RAID 1	RAID 5
RAID 5	RAID 6
RAID 1	ミラー ディスク追加

RAID Group の修復

グループに属する 1 台のハードディスクが故障した場合、RAID Group の状態は **[劣化]** に変わります。RAID Group が次のいずれかのタイプの RAID であれば、故障したハードディスクを交換し、RAID Group を修復してください。RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10 のいずれかです。

RAID Group の修復については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

RAID Group の拡張

RAID Group のストレージ容量は、ハードディスクの数を増やしたり、容量の大きいハードディスクを追加することで徐々に拡大できます。この機能を使用すると、予算に応じて RAID Group の容量を拡大していくことが可能になるため、大切なデータを確実に保持することができます。

ここでは、RAID Group の増設についての基本的な説明をします。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

大きい容量のハードディスクを装着して RAID Group を拡張する

RAID Group のストレージ容量は、既存のハードディスクを大容量のものと交換することによって拡張できます。この機能は、次の RAID 1、RAID 5、RAID 6 で使用できます。1 つのボリューム、または iSCSI LUN 用の RAID Group 上の関連ボリューム、または iSCSI LUN は自動的に拡張されます。

別のハードディスクを装着して RAID Group を拡張する

RAID Group の容量は、別のハードディスクを追加することにより拡張できます。この機能は、JBOD、RAID 5、RAID 6 でご使用いただけます。

合計容量が 64TB 以下の RAID Group の場合、システムが自動的にその容量を拡張します。合計容量が 64TB 以上の RAID Group の場合は、**[管理] > [拡張]** をクリックして RAID Group の容量を拡張します。

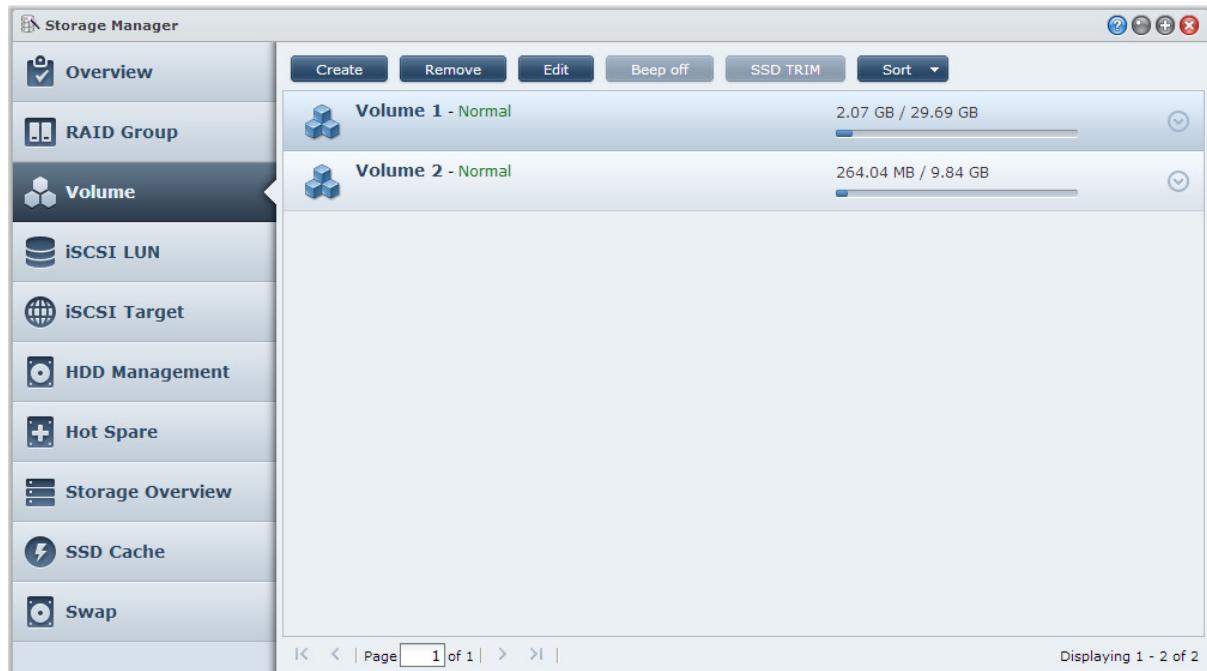
データ スクラップ

データ スクラップとは、RAID Group を検査して、データの不整合が検出された場合はそれを修正してくれるデータ維持機能です。この機能は、RAID 5 または RAID 6 を導入した RAID Group で使用できます。データの整合性を維持し、万一ディスクが故障した場合にも重要なデータを維持できるように、定期的にデータ スクラップを実行することをお勧めします。

データ スクラップを行う手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ボリュームの管理

ボリュームとは、共有フォルダ、iSCSI LUN（通常ファイル）を作成したり、データを保存したり、パッケージをインストールするために使用される基本的なストレージスペースのことです。Synology NAS でボリュームを作成する前に、1つ以上の RAID Group を作成しておいてください。



ボリュームの作成

ボリュームを作成するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [ボリューム] を選択し、[作成] をクリックします。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

ボリュームのタイプ

RAID Group のタイプによって、次のタイプのボリュームを作成できます。

- **1つのボリュームまたは iSCSI LUN（ブロックレベル）で構成される RAID Group 上のボリューム**
 - RAID Group 上の全ストレージ領域を 1つのボリュームに割り当てます。性能は高まりますが、管理上の柔軟性に欠けます。
 - ボリューム上に複数の iSCSI LUN（通常ファイル）を作成できます。
- **複数のボリュームまたは iSCSI LUN（ブロックレベル）で構成される RAID Group 上のボリューム**
 - RAID Group に指定した割合の容量を割り当ててボリュームを作成します。管理上の柔軟性が高められ、必要に応じてボリュームのサイズを拡張したり、ボリュームを追加したりすることができます。
 - ボリューム上に複数の iSCSI LUN（通常ファイル）を作成できます。

ボリュームの編集

ボリュームの説明を変更したり、割り当てたメモリ量を変更したりするには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [ボリューム] を選択し、ボリュームを選択した後で [編集] をクリックします。

劣化したボリュームの補修

ボリュームが [劣化] 状態になった場合は、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [RAID Group] を選択し、RAID Group の状態の下に表示される説明に従ってください。詳しくは、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

SSD TRIM

ボリュームが SSD (Solid State Drives) だけで構成されている場合は、SSD TRIM を有効にするようお勧めします。この機能は、SSD 上に構築したボリュームの読み取り速度と書き込み速度を高め、効率を高めると同時に SSD の寿命も長くします。

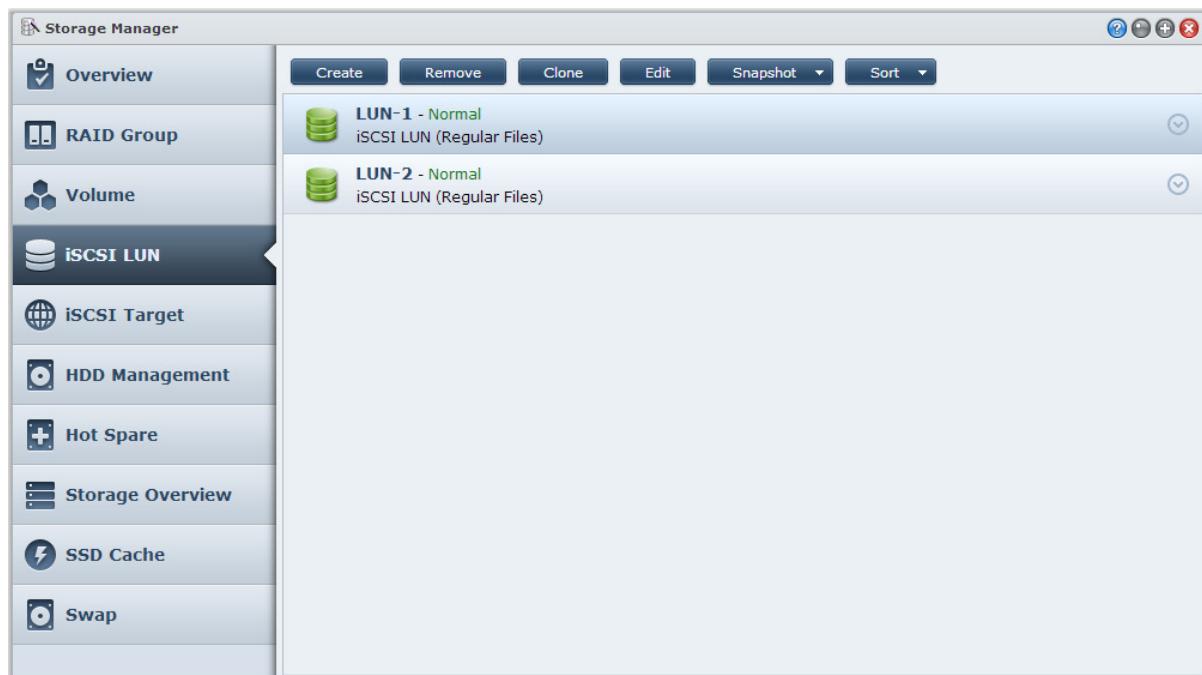
SSD TRIM を設定する前に、[DSM ヘルプ](#)で詳しい手順と制限を確認してください。

注:

- SSD TRIM 機能は一部の Synology NAS モデルと RAID タイプでしかご利用いただけません。.
- 一部の SSD モデルは RAID 5 と RAID 6 ボリュームでは SSD TRIM を実行できません。互換リストについては、www.synology.com をご覧ください。

iSCSI LUN の管理

iSCSI はデータストレージの設備を結ぶ、インターネットプロトコルベースのストレージネットワーキング規格です。iSCSI は LAN、WAN、インターネット上でのデータ転送を可能にします。iSCSI Target と iSCSI LUN をマッピングすると、クライアントサーバーはまるでローカルディスクにアクセスするかのように、ストレージサーバー上のスペースにアクセスできます。



iSCSI LUN のタイプ

Synology NAS は、現在次のタイプの iSCSI LUN に対応しています。

- iSCSI LUN (通常ファイル)** : このタイプの iSCSI LUN は、ボリュームの一部を割り当てるこによって作成されます。必要に応じて、いつでも拡張できます。このタイプの iSCSI LUN は、Thin Provisioning によりダイナミックな容量管理を行います。
- iSCSI LUN (ブロックレベル)** : このタイプの iSCSI LUN は RAID Group 上で作成され、最適化されたアクセス速度でダイナミックに容量を管理することができます。このタイプの iSCSI LUN は、RAID Group でまだ割り当てられていないスペースを使って、いつでも拡張することができます。

iSCSI LUN の作成、編集、削除

iSCSI LUN を管理するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [iSCSI LUN] を選択します。iSCSI LUN の作成、変更、削除については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

iSCSI Target の管理

iSCSI Target と iSCSI LUN をマッピングすると、クライアントサーバーはまるでローカルディスクにアクセスするかのように、ストレージサーバー上のスペースにアクセスできます。実際には、ディスクに転送されるすべてのデータはネットワーク経由でストレージサーバーに転送されます。

iSCSI Target の作成、編集、削除

iSCSI Target を管理するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [iSCSI Target] を選択します。iNS サーバーの情報を作成、編集、削除、登録する手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ハードディスクの管理

ストレージマネージャの「HDD の管理」セクションでは、Synology NAS にインストールされているハードディスクの状態を監視し、ハードディスクの性能と健康状態を管理、分析するオプションを設定できます。このセクションを見るには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [HDD 管理] の順にクリックしてください。

書き込みキャッシュ サポートを有効にする

モデルによっては、書き込みキャッシュ サポートを有効にすることによって、Synology NAS の性能を高めることができます。書き込みキャッシュを無効にすると、突然の停電によりデータが消失するリスクを低減することができますが、システムの性能が劣化します。書き込みキャッシュのサポート設定を変更するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [HDD 管理] の順にクリックしてください。

書き込みキャッシュ サポートを有効にする場合は、データを確実に保護するために UPS をご使用になることをお勧めします。また使用後は毎回システムをシャットダウンしてください。

S.M.A.R.T. テスト

S.M.A.R.T. テストは、ハードディスクの状態を調査・報告して、ディスク不良の可能性を警告します。

S.M.A.R.T. テストを実行するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [HDD 管理] を選択します。

S.M.A.R.T. テストについての詳細は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

Hot Spare

Hot Spare ディスクとは、劣化した RAID Group で故障したディスクを自動的に交換して補修するための予備のハードディスクのことです。Hot Spare ディスクは特定の RAID グループに割り当てる必要はありませんが、Synology NAS 内のどの RAID グループも補修できるようにグローバルに割り当てられています。Hot Spare ディスクを割り当てる前に、次の必要条件を確認してください。

- ボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN の RAID タイプが、データ保護を備えていること（例：RAID 1、RAID 5、RAID 6、RAID 10）。
- Hot Spare ディスクのサイズが、必ずボリューム/ディスク グループ/iSCSI LUN で最小のディスクのサイズと同じ、またはそれ以上のサイズであること。

Hot Spare の管理

Hot Spare ディスクを割り当て、削除、管理するには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [Hot Spare] を選択してください。Hot Spare の管理については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ストレージの概要

ストレージの概要には、インストールしたハードディスクの状態、ケーブル接続、ハードウェア状態ライトが表示されます。ストレージの概要を見るには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [ストレージの概要] を選択します。このセクションの詳しい説明は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

SSD キャッシュ

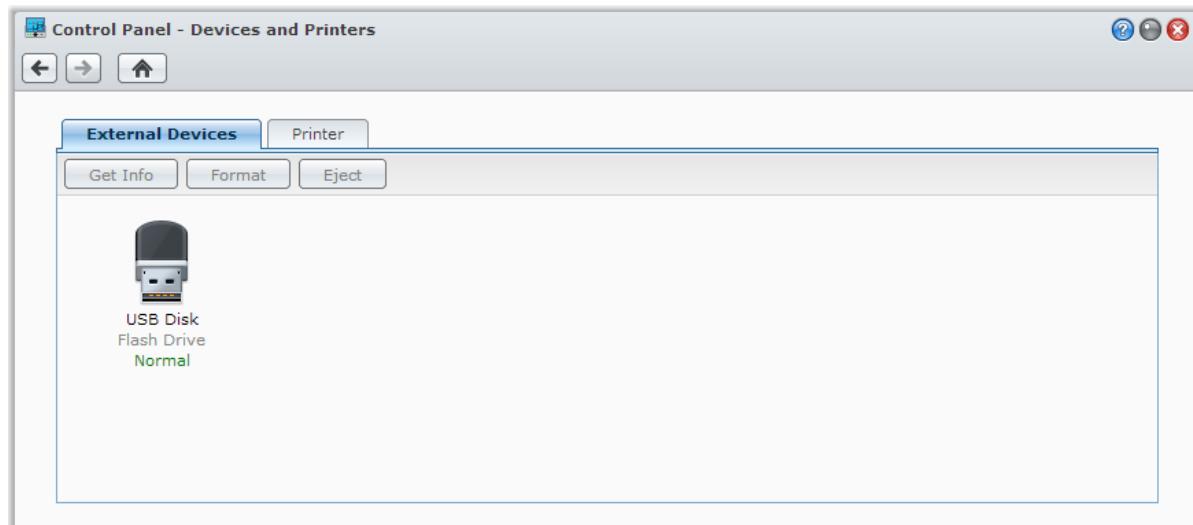
SSD キャッシュ ドライブは RAID 0 構成にインストール、マウントし、ボリュームの iSCSI LUN（通常ファイル）、または Synology サーバー上の iSCSI LUN（ブロックレベル）を含め、ボリュームの読み取り速度を向上させることができます。ドライブのマウント、SSD の互換性の確認、関連情報の表示を行うには、[メインメニュー] > [ストレージマネージャ] > [SSD キャッシュ] を選択します。

SSD のインストールについては、Synology サーバーのクイック インストール ガイドを参照してください。また、SSD の管理については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

外部ディスクの管理

外付け USB または eSATA ディスクを Synology RackStation の USB ポートか eSATA ポートに取り付けると、¹バックアップまたはファイル共有ができます。

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンタ] > [外部デバイス] の順に選択し、接続した外部ディスクを管理したり、プリンタを設定したりしてください。[外部デバイス] タブには、デバイス情報を確認したり、フォーマットを変更したり、デバイスを取り出したりするためのオプションがあります。[プリンタ] タブには、USB やネットワークプリンタを設定するためのオプションがあります。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



¹ eSATA は特定のモデルのみに対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

インターネットから Synology NAS へのアクセス

Synology NAS をインターネットに接続すると、いつでも場所を選ばずにそのサービスを利用できるようになります。

この章では、Synology EZ-Internet ウィザードの使い方、高度なポート転送機能、Synology NAS をインターネットに接続するための DDNS ホストネームの登録等について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

EZ-Internet ウィザードを使う

EZ-Internet ウィザードでは、インターネット経由でアクセスするための設定を行います。複雑なファイアーフォールの設定、PPPoE の設定、DDNS 登録、ルーターポート転送設定などを行う必要はありません。[\[メインメニュー\] > \[EZ-Internet\]](#) の順に進み、ウィザードに従って設定を完了します。

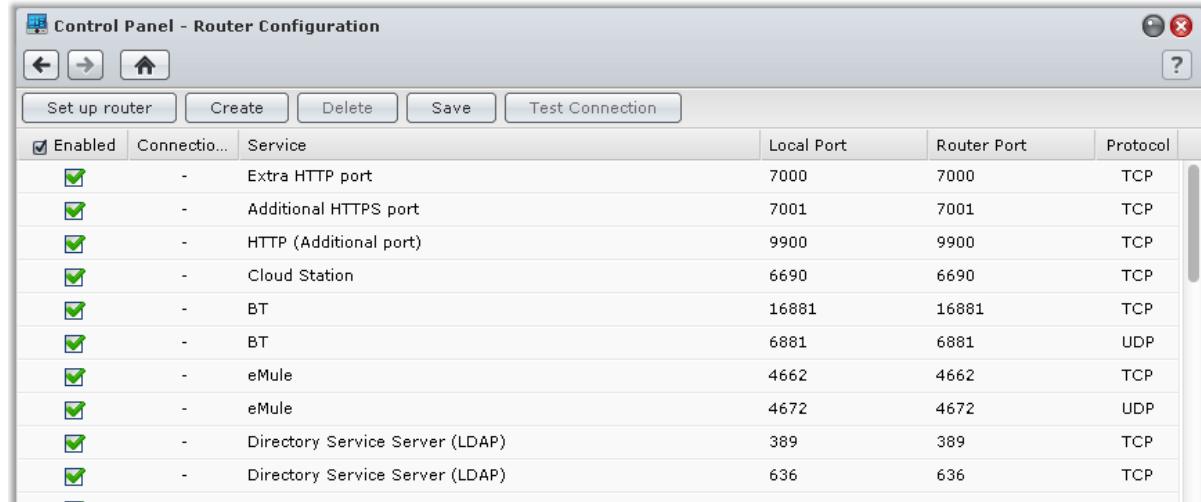


ルーターのポート転送規則の設定

Synology NAS がローカル ネットワーク上に存在する場合は、ルーターにポート転送規則を設定して Synology NAS をインターネット経由でアクセスできるようにできます。

注: 開始する前には、Synology NAS に固定 IP アドレスが手動で割り当てられているか確認してください。詳しくは、「ネットワーク インターフェイス」を参照してください。

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [ルーターの設定] の順に進み、ルーターとポート転送規則を設定します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



The screenshot shows the 'Router Configuration' page in the DSM Control Panel. At the top, there are buttons for 'Set up router', 'Create', 'Delete', 'Save', and 'Test Connection'. Below these are tabs for 'Enabled', 'Connection...', and 'Service'. A table lists various services with their local and router ports and protocols. Most entries have a checkmark in the 'Enabled' column.

Enabled	Service	Local Port	Router Port	Protocol
<input checked="" type="checkbox"/>	- Extra HTTP port	7000	7000	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- Additional HTTPS port	7001	7001	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- HTTP (Additional port)	9900	9900	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- Cloud Station	6690	6690	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- BT	16881	16881	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- BT	6881	6881	UDP
<input checked="" type="checkbox"/>	- eMule	4662	4662	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- eMule	4672	4672	UDP
<input checked="" type="checkbox"/>	- Directory Service Server (LDAP)	389	389	TCP
<input checked="" type="checkbox"/>	- Directory Service Server (LDAP)	636	636	TCP

注: ポート転送規則を設定して、固定 IP アドレスを割り当てるには、ルーターへの管理者権限が必要です。

ルーターの設定

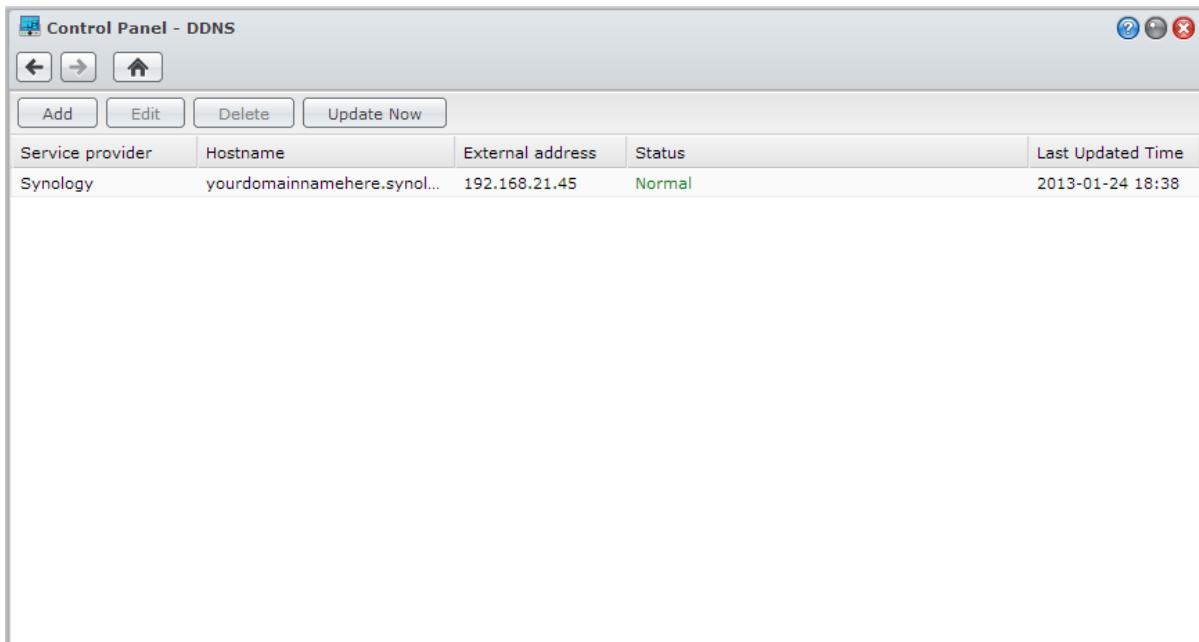
DSM でポート転送規則を追加する前に、Synology NAS とルーターの接続を行う必要があります。作業を開始する前に、[ルーターの設定] ボタンをクリックしてください。

ポート転送規則の追加

ポート転送規則を追加して、特定のルーターポートからパッケージを受信する Synology NAS のポートを指定します。[作成] をクリックしてポート転送規則を作成してください。

Synology NAS の DDNS を登録する

DDNS (Dynamic Domain Name Service) は、ホスト名をその IP アドレスにマップすることで、インターネットを使って簡単に Synology NAS に接続できるようにします。例えば、DDNS はドメイン名（例：www.john.synology.me）を使って Synology NAS へのアクセスを許可します。IP アドレス（例：172.16.254.1）を覚えておく必要はありません。



サービス必要条件

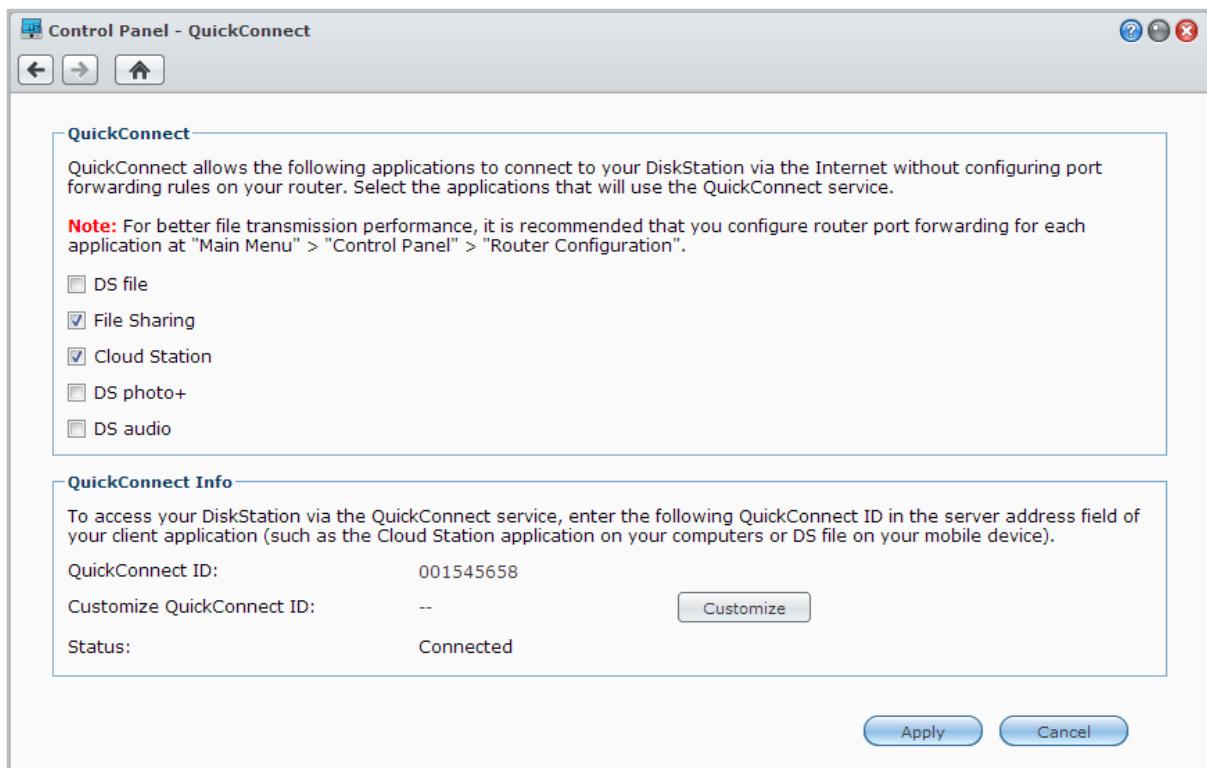
- DDNS サービス プロバイダのサーバーが正常に作動していること。
- Synology NAS がインターネットに接続可能であること。
- DDNS は、プロキシサーバーを必要としないネットワーク環境においてのみ使用できます。
- 1 つの DDNS プロバイダにつき、1 個のホスト名しか入力できません。

Synology NAS の DDNS ホスト名を登録

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [DDNS] の順に選択します。Synology NAS の IP アドレスの既存のホスト名を指定するか、Synology または他の DDNS プロバイダが提供する IP アドレスを登録することができます。ホスト名の登録については、それぞれのプロバイダにお尋ねください。

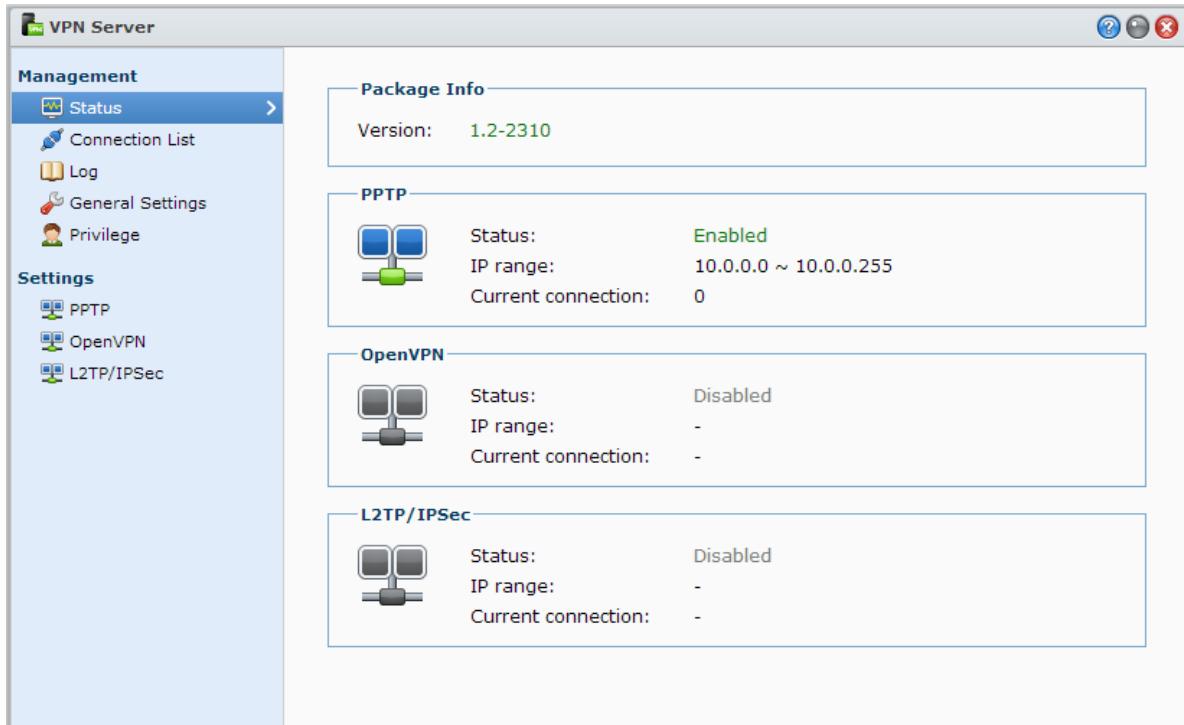
QuickConnect で DSM サービスにアクセスする

QuickConnect はポート転送規則を設定しなくても、クライアントアプリケーション（DS file、Cloud Station、DS audio など）がインターネットを介して Synology NAS に接続できるようにするためのソリューションです。[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [QuickConnect] の順に選択し、QuickConnect サービスを管理します。QuickConnect についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



VPN 接続の設定

VPN Server は Synology NAS を PPTP、OpenVPN、L2TP/IPSec VPN（virtual private network）サーバーに変えて、DSM ローカル ユーザーがインターネットを介して Synology NAS の LAN で共有されるリソースにアクセスできるようにするアドオン パッケージです。



VPN Server として Synology NAS を設定する

VPN Server を Synology NAS にインストールするには、[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択します。VPN Server についての詳細は、パッケージを起動して、右上隅にある [DSM ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

Synology NAS を VPN Server に接続する

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [VPN] を選択し、Synology NAS を VPN クライアントとして設定して VPN サーバーに接続すると、VPN にアクセスできるようになります。各 VPN サーバー用に接続プロファイルを作成するか、または編集すると、そのプロファイルを使ってワンクリックでサーバーに接続できるようになります。

注: Synology NAS を同時に VPN サーバーとクライアントとして設定することはできません。

インターネットセキュリティの強化

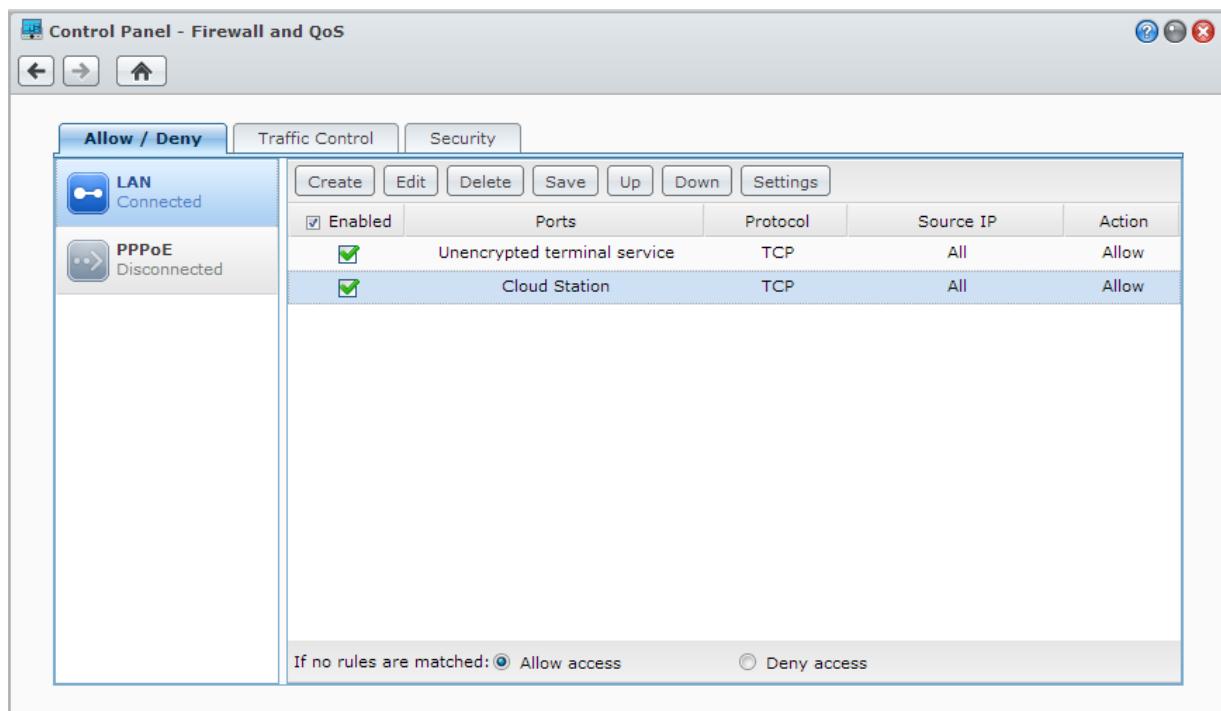
Synology NAS でインターネットが利用できるようになったら、インターネットハッカーからの攻撃を阻止するためのセーフガードが必要となります。

この章では、ファイアウォールの設定、送信トラフィックの制御、DoS を有効にする方法、自動ブロックを有効にする方法などについて説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ファイアウォールで不正アクセスを阻止

組み込み式ファイアウォールは、不正ログインを防ぎ、アクセス可能なサービスを制御します。さらに、特定の IP アドレスからのネットワークポートへのアクセスを許可/拒否することができます。

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ファイアウォールと QoS] > [許可/拒否] の順に進み、[作成] をクリックしてファイアウォール規則を作成します。



ファイアウォール規則をポートに適用する

[ポート] セクションでは、次のオプションを使ってすべてのポート、または選択したポートにファイアウォール規則を適用します。

- **すべて**：このオプションを選択すると、Synology NAS のすべてのポートに規則を適用します。
- **組み込みアプリケーションの一覧から選択**：規則に含めるシステムサービスを選択します。
- **カスタマイズ**：ポートのタイプとプロトコルを指定して、カスタムポート番号を入力します。

コンマ区切り、またはポート範囲を指定して最大 15 個のポートを入力できます。

ファイアウォール規則をソースの IP アドレスに適用する

[ソース IP] セクションでは、次のオプションを使ってソース IP アドレスからのアクセスを許可するか、拒否するかを選択します。

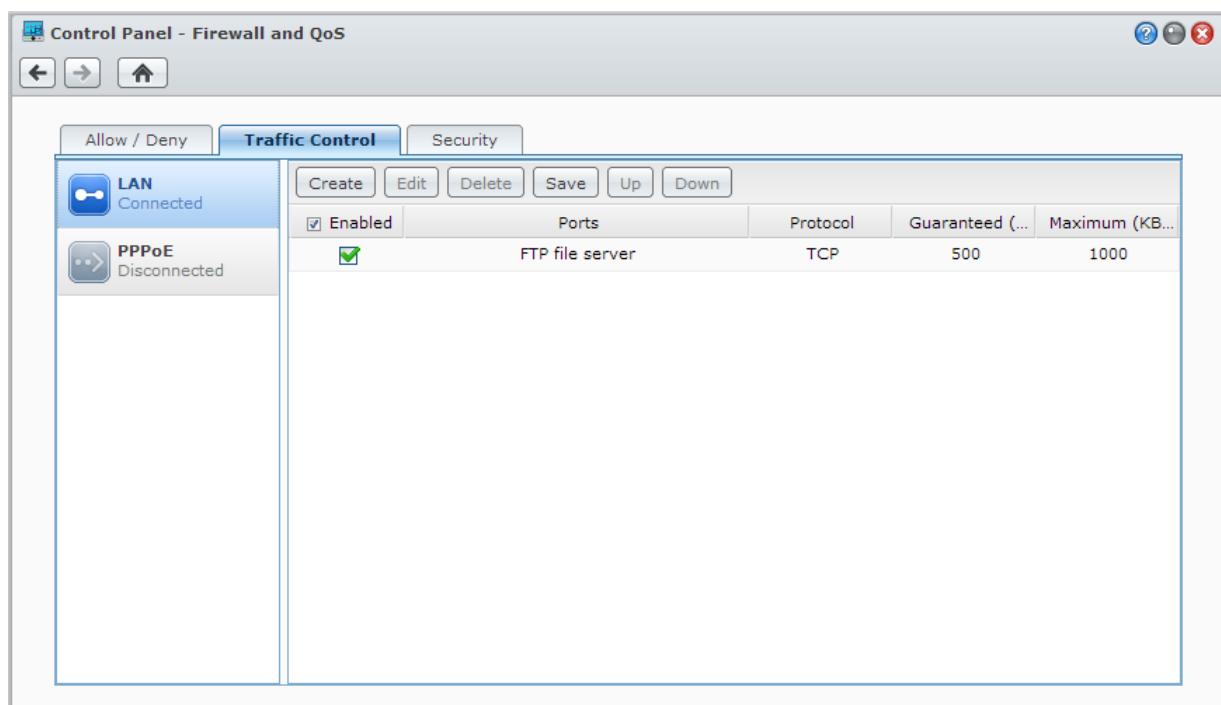
- **すべて**：このオプションを選択すると、すべての IP アドレスに規則を適用します。
- **単一ホスト**：このオプションを選択すると、ひとつの IP アドレスに規則を適用します。
- **サブネット**：このオプションを選択すると、ひとつのサブネットに規則を適用します。

注：

- Link Aggregation で複数 LAN ポートを結合すると、最初のネットワークの規則がファイアウォールに適用されます。2つ目のネットワークインターフェースの規則は保存されます。Link Aggregation の詳細については、「LAN」を参照してください。¹
- システムに同じサブネットに接続している複数のネットワークポートがあると、ファイアウォール規則が正しく機能しない場合があります。

サービスの送信トラフィックの制御

トラフィック コントロールは、Synology NAS 上で実行するサービスの送信トラフィックを制御します。[メインメニュー] > [コントロール パネル] > [ファイアウォールと QoS] > [トラフィック コントロール] の順に進み、[作成] をクリックしてトラフィック制御規則を作成します。



¹ Link Aggregation は特定のモデルでしか使用できません。

トラフィック制御規則をポートに適用する

[ポート] セクションでは、次のオプションを使ってすべてのポート、または選択したポートにファイアウォール規則を適用します。

- **すべて**：このオプションを選択すると、Synology NAS のすべてのポートに規則を適用します。
- **組み込みアプリケーションの一覧から選択**：規則に含めるシステムサービスを選択します。
- **カスタマイズ**：ポートのタイプとプロトコルを指定して、カスタムポート番号を入力します。
コンマ区切り、またはポート範囲を指定して最大 15 個のポートを入力できます。

帯域の設定

サービスを選択すると、送信トラフィックを制限するために、**[保証帯域]** と **[最大帯域]** を設定する必要があります。

▪ 保証帯域

保証帯域は、システム全体の帯域が十分にあるとき、このサービスが保証する送信トラフィックです。

▪ 最大帯域

最大帯域は、システム全体の帯域が十分にあり、**システムの余剰帯域**があるとき、このサービスが借りられる送信トラフィックです。システム管理者は先に**システム出力帯域**を計算し、各サービスの**保証帯域**の合計が**システム出力帯域**を超えないようにしなければ、正しく作動しない場合があります。

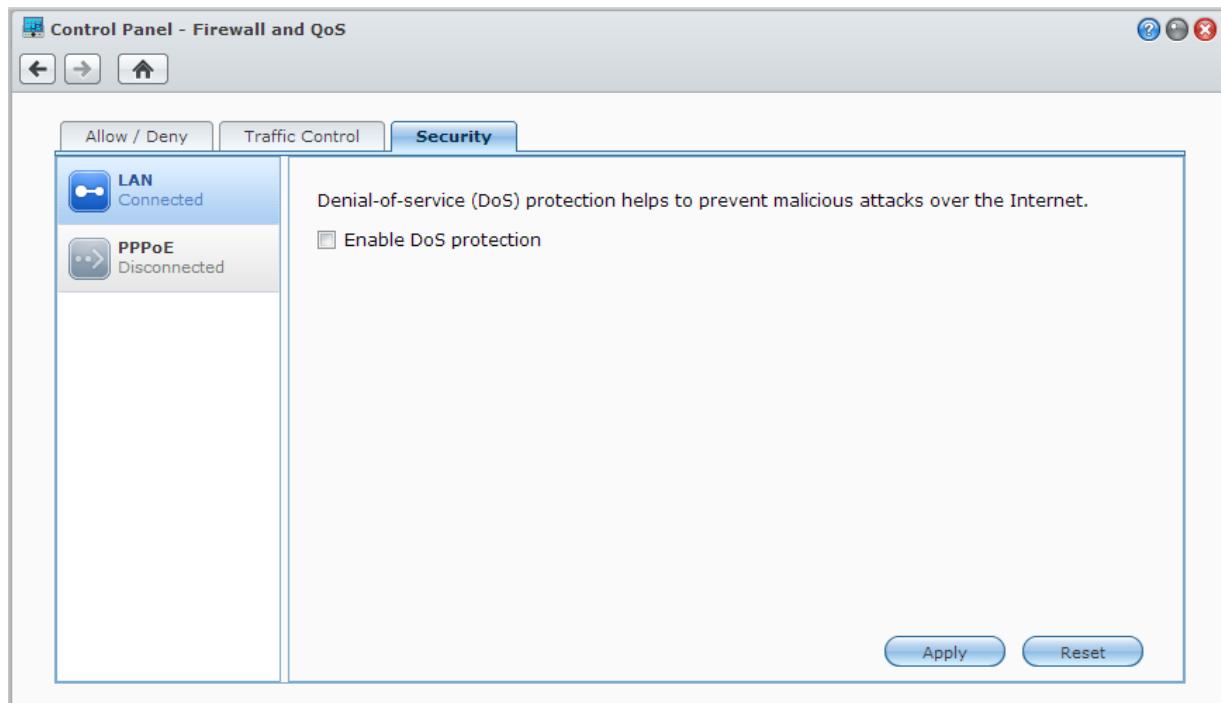
設定公式

システム出力帯域 = 各サービスの**保証帯域**の合計 + **システムの余剰帯域**

各サービスの**保証帯域** ≤ 各サービスの**最大帯域**

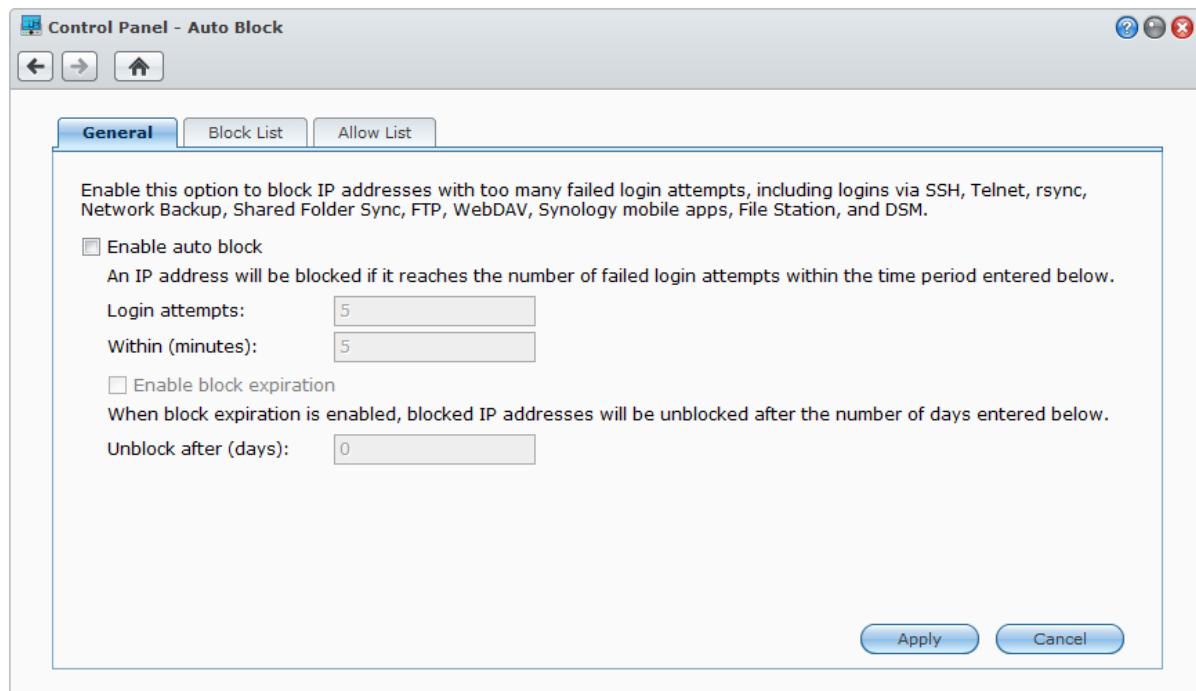
インターネット攻撃を阻止する

DoS（サービス拒否攻撃）保護は、インターネット上の悪意のある攻撃を防御します。**[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ファイアウォールと QoS] > [セキュリティ]** の順に選択して、DoS 保護を有効にして、ネットワークセキュリティを高めてください。



疑いのある不正ログインを自動ブロック

自動ブロックを使用すると、不正なログインを阻止できます。このサービスを有効にした後、ログインの失敗回数が多い IP アドレスがブロックされます。[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [自動ブロック] の順に選択して、ブロックリストを作成、管理した後、リストを有効にします。



ファイル共有の設定

Synology NAS をローカル ネットワークまたはインターネットでファイル共有センターとして設定すると、ユーザーがいつでも、どこからでもアクセスできるようになります。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

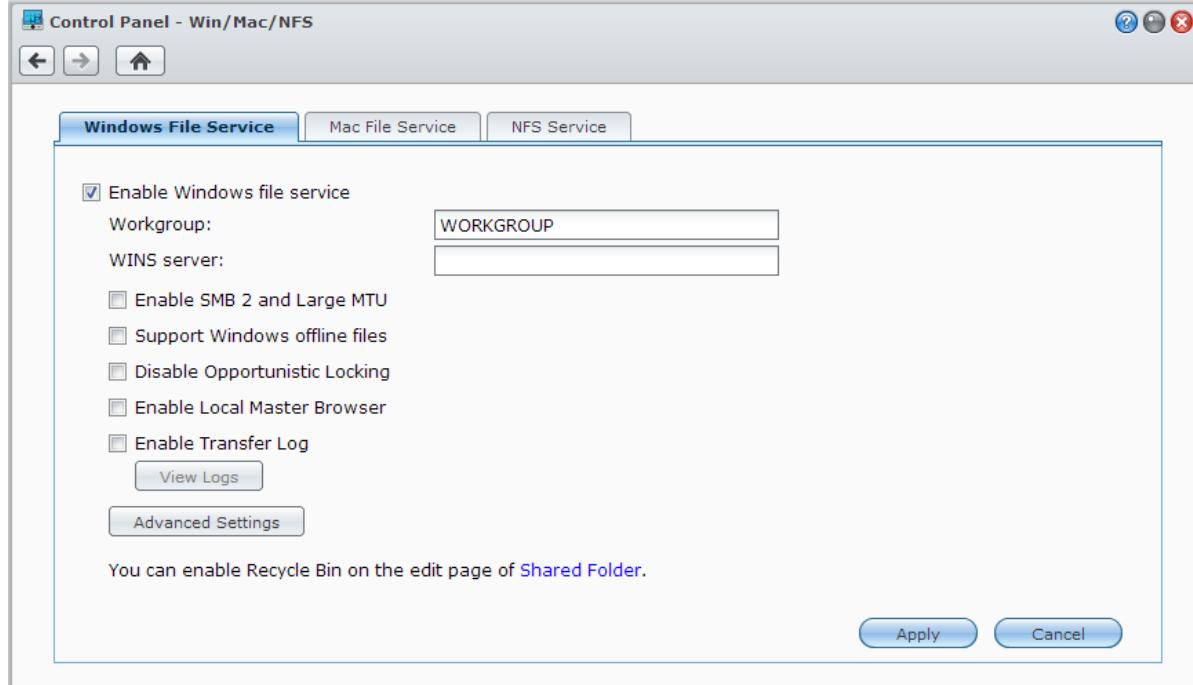
この章では、すべてのプラットフォームでファイル共有プロトコルを有効にする、ユーザーとグループを作成して管理する、共有フォルダを設定して特定のユーザー/グループに対する共有フォルダ、アプリケーションまたはサブフォルダにアクセスを許可/拒否する方法について説明します。

すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする

ここでは、Synology NAS がすべてのプラットフォームに対してファイル共有プロトコルをサポートする方法について説明します。

Synology NAS がサポートするファイル共有プロトコル：

- **Windows の場合** : SMB/CIFS（マイ ネットワーク）、FTP、WebDAV
- **Mac の場合** : SMB、FTP、AFP、WebDAV
- **Linux の場合** : SMB、FTP、NFS、WebDAV



Windows ファイルサービスの管理

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [Win/Mac/NFS] の順に選択した後、[Windows ファイルサービス] タブをクリックして、Synology NAS で Windows ファイルサービスとして設定します。

Mac ファイルサービスの管理

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [Win/Mac/NFS] の順に選択して、[Mac のファイルサービス] タブをクリックして、Synology NAS を Mac ファイルサーバー (AFP サーバー) として設定します。

[Bonjour プリンタのブロードキャストを有効にする] を選択すると、Mac クライアントが Synology NAS に接続されてるプリンタを検索できるようになります。

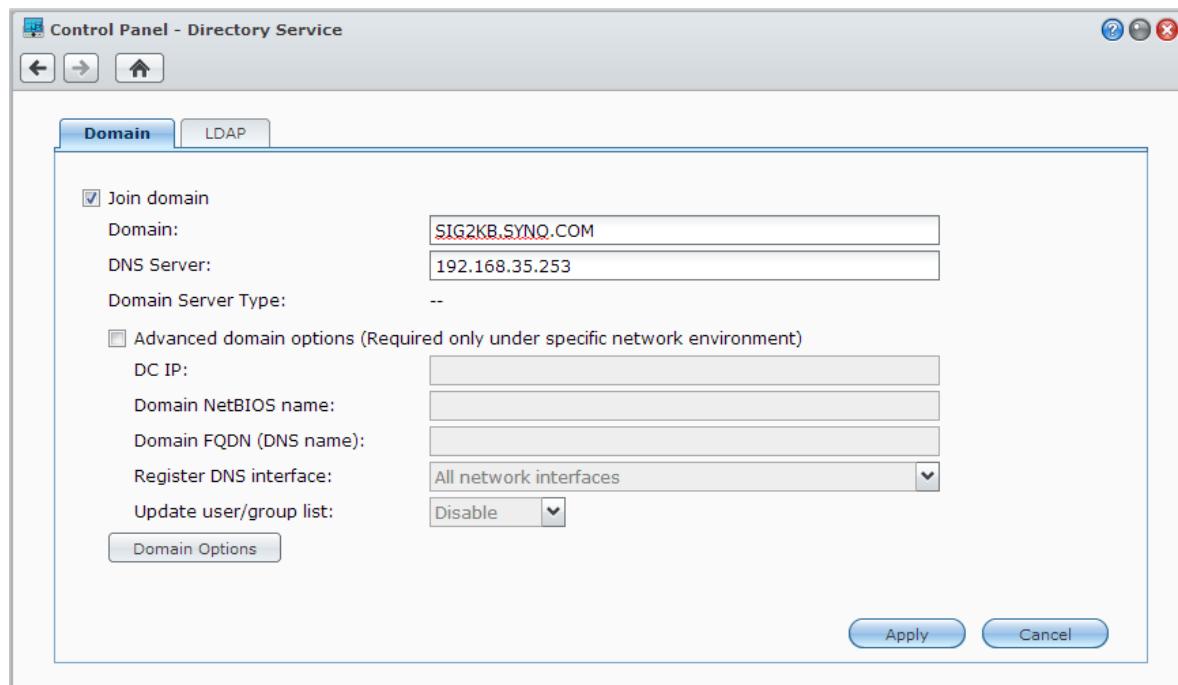
Linux クライアントの NFS サービスを有効にする

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [Win/Mac/NFS] の順に選択して、[NFS サービス] タブをクリックすると、Linux クライアントを Synology NAS のデータにアクセスできるようになります。

Linux クライアントが共有フォルダにアクセスするための NFS アクセス権限を設定する場合は、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」をご覧ください。

Synology NAS をディレクトリ サービスに付加する

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ディレクトリ サービス] を選択すると、Synology NAS を Windows ドメインまたは LDAP クライアントとして、ディレクトリ サービスに追加することができます。Synology NAS をディレクトリ サービスに追加すると、ドメイン/LDAP ユーザーの共有フォルダや DSM アプリケーションへのアクセス権を管理して、ホーム サービスを有効にすることができます。



Windows ドメインに付加

[ドメイン] タブをクリックしてドメイン名と DNS サーバー（任意）を入力すると、Synology NAS を Windows ADS ドメインに付加することができます。表示されるウィンドウで、ドメインサーバー管理者用のユーザー名とパスワードを入力してください。

Synology NAS のドメイン参加が完了すると、ドメインユーザーは、ドメインアカウントとパスワードで Synology NAS にログインできます。

注:

- ドメインユーザー名に「%」や「\$」が含まれていると自分のホームホルダーにアクセスできない場合があります。その場合は、ドメイン管理者に新しいユーザー名を要請してください。
- [ドメイン管理者] と [エンタープライズ管理者] のドメイングループは、ローカルグループ **administrators** に自動的に追加されます。つまり、これらグループのドメインユーザーには、DSM/CIFS/FTP/AFP/WebDAV アプリケーションの実行を含む Synology NAS への管理者権限があります。
- また、Synology NAS の共有フォルダへアクセスする権限をドメインユーザーに設定することもできます。詳しくは、「ドメインユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。

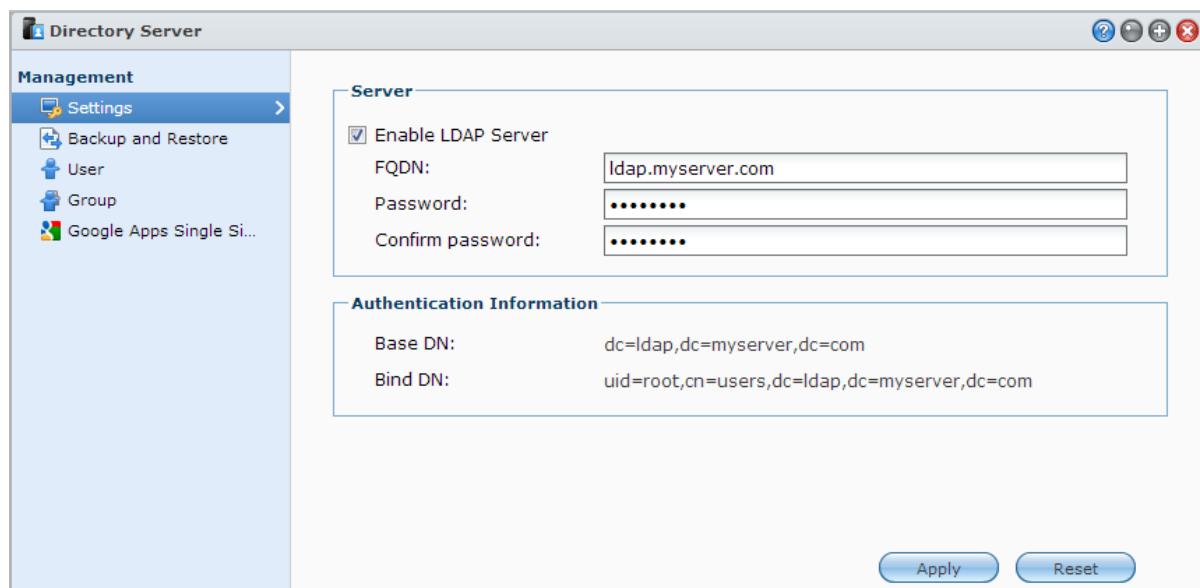
LDAP サーバーとのバインディング

LDAP は Synology NAS を LDAP クライアントとして既存のディレクトリサービスに追加し、LDAP サーバー（または「directory server」）からユーザー情報やグループ情報を取得できるようにします。プロファイルオプションには、標準（Synology Directory Servers または Mac Open Directory）、IBM Lotus Domino サーバー、自分のプロファイル設定をカスタマイズするなどがあり、異なるタイプの LDAP サーバーに接続できます。DSM ローカルユーザー や グループで行う場合と同じように、LDAP ユーザーまたはグループの DSM アプリケーションや共有フォルダへのアクセス権を管理することができます。

Directory Server によるホスト LDAP サービス

Directory Server は LDAP バージョン 3 (RFC2251) を基にしたアドオン パッケージです。これは Synology NAS をアカウント管理センターにして、接続しているすべてのクライアントのアカウント管理を中央化し、それらに認証サービスを適用します。

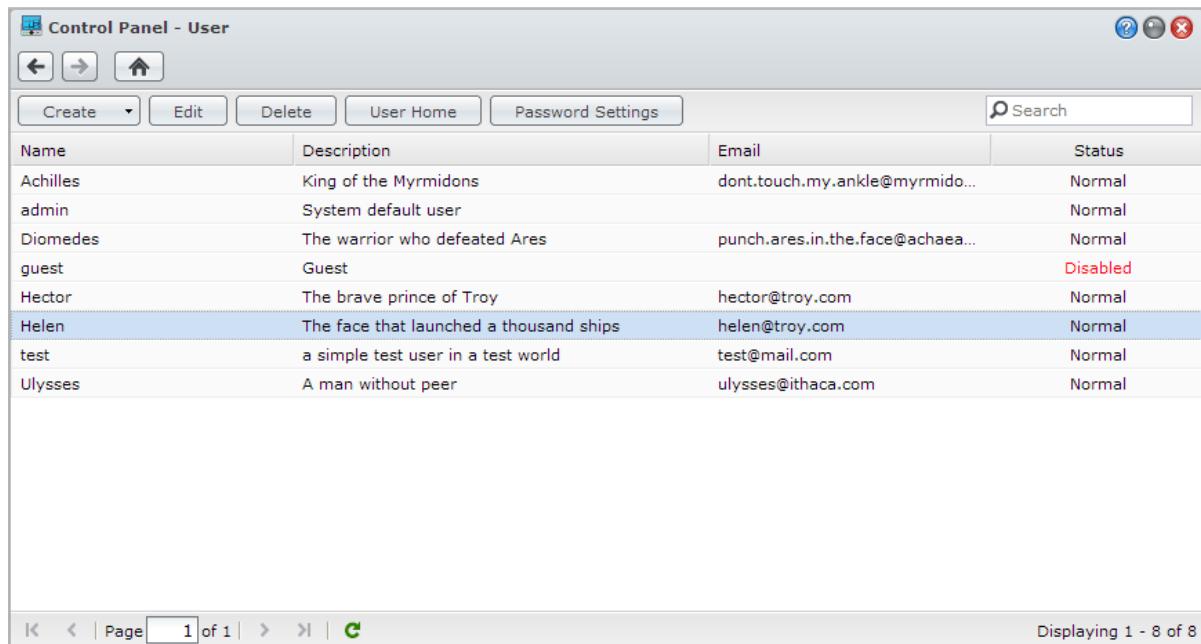
また、**Google Apps シングル サインオン**を有効にすると、Directory Server が Google Apps ドメインの ID プロバイダーになります。これにより、Directory Server に保存された自分のアカウントとパスワードで Google Apps サービス（Gmail や Google Calendar）にログインすることが可能になり、別のアカウントとパスワードセットを覚える必要がありません。



Directory Server を Synology NAS にインストールするには、[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択します。Directory Server についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。LDAP クライアントで Directory Server にアクセスする方法については、Synology の[ダウンロードセンター](#)からダウンロードできる [Directory Server ユーザーガイド](#)を参照してください。

ユーザーとグループの管理

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ユーザー] または [グループ] の順に選択して、ユーザーとグループを作成し、別の共有フォルダへのアクセスを許可/拒否します。



The screenshot shows the 'User' section of the Synology Control Panel. At the top, there are buttons for 'Create', 'Edit', 'Delete', 'User Home', 'Password Settings', and a 'Search' bar. Below is a table with columns: Name, Description, Email, and Status. The table lists eight users:

Name	Description	Email	Status
Achilles	King of the Myrmidons	dont.touch.my.ankle@myrmidon...	Normal
admin	System default user		Normal
Diomedes	The warrior who defeated Ares	punch.ares.in.the.face@achaea...	Normal
guest	Guest		Disabled
Hector	The brave prince of Troy	hector@troy.com	Normal
Helen	The face that launched a thousand ships	helen@troy.com	Normal
test	a simple test user in a test world	test@mail.com	Normal
Ulysses	A man without peer	ulysses@ithaca.com	Normal

At the bottom, there are navigation buttons for 'Page' (1 of 1) and a status message 'Displaying 1 - 8 of 8'.

ユーザーの作成

[作成] をクリックしてユーザー アカウントを作成します。ユーザーは、ユーザー アカウントが作成された後でログインして、本人のアカウント情報を編集することができます。アカウントの有効期限を設定したり、ユーザーによるアカウントのパスワード変更を無効にしたりできます。

ユーザーリストをインポートしてユーザー アカウントを作成する

また、ユーザーリストをインポートして、複数のユーザー アカウントを作成することもできます。各ラインに以下のタブ区切りされた情報を含めるテキストファイルを作成します：

- ユーザー名
- パスワード
- 説明
- 電子メール
- ボリューム 1 の割当 (MB)
- ボリューム 2 の割当 (MB) (以下同様)

注:

- [ユーザー名] を除くすべての項目はオプションです。
 - 以下にテキストファイルの例を紹介します。
- | | | | | |
|--------|------|-----|----------------|-------|
| eddy | 1234 | 父親 | eddy@abc.com | 80000 |
| rosy | 5678 | 母親 | rosy@abc.com | 80000 |
| chaddy | 8901 | 兄弟 | chaddy@abc.com | 20000 |
| eric | 2345 | いとこ | eric@abc.com | 20000 |

UTF-8 エンコードでテキストファイルを保存します。[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ユーザー] を選択した後、[作成] > [ユーザーのインポート] を選択します。

セルフサービス パスワード リセットを許可する

ユーザーが忘れてしまったパスワードを E メールでリセットできるようにするには、[パスワードの設定] をクリックして [管理者以外のユーザーに忘れたパスワードを電子メールでリセットさせる] にチェックマークを付けます。このオプションを有効にすると、DSM ログインページに [パスワードを忘れた場合] というリンクが表示されます。パスワードを忘れた場合は、このリンクをクリックしてユーザー名を入力してください。システムからそのユーザーに対して、忘れたパスワードをリセットするためのリンクが記載されたメッセージが送信されます。

詳しい手順と注意については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

パスワード強度ルールを適用する

DSM ユーザーのパスワードが不正ログイン行為に確実に耐えられるように、パスワードの強度サービスを有効にすることができます。[パスワードの設定] をクリックして、パスワードの有効度を設定します。

注:

- パスワード強度ルールは、パスワード強度サービスが有効にした後に作成または変更したパスワードの対象のみ機能します。既存のパスワードはルールによる影響を受けません。
- ルールは、ユーザーリストをインポートして作成したユーザーのパスワードには適用されません。

ユーザーのホームフォルダを作成

各 DSM ユーザー（guest を除く）は個人用のフォルダ、home フォルダを持つことができます。そのユーザーおよびシステム管理者だけがアクセスできます。[ユーザーホーム] をクリックして、ユーザーホームサービスを有効にします。

Administrators グループに属しているユーザーの場合、DSM ユーザーの home フォルダは次の場所にあります。
homes/[ユーザー名]

注:

- ユーザーホームサービスを無効にすると、homes フォルダは削除されませんが、administrators グループに属するユーザーしかアクセスできなくなります。ユーザーは、ユーザーホームサービスを再度有効にすると自分のホームフォルダにアクセスできるようになります。
- homes フォルダを削除する場合は、ユーザーホームサービスを無効にしてから行ってください。

ドメイン/LDAP ユーザーのホームフォルダを作成

Synology NAS を Windows ドメインまたは LDAP クライアントとしてディレクトリ サービスに追加するには、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ディレクトリ サービス] > [ドメインユーザー] または [LDAP ユーザー] の順に選択し、ドメイン/LDAP ユーザーのホーム フォルダを作成します。[ホームユーザー] をクリック

して、[ドメインユーザーのホームサービスを有効にする] または [LDAP ユーザー向けにホームサービスを有効にする] にチェックマークを付けます。

ローカルユーザーと同様、ドメイン/LDAP ユーザーはすべて、CIFS、AFP、FTP、WebDAV、File Station 経由で自分のフォルダにアクセスできます。Administrators グループに属しているユーザーは、homes デフォルト共有フォルダにあるすべての個人用フォルダにアクセスすることができます。Administrators グループに属するユーザーの場合は、ドメイン/LDAP ユーザーのホーム フォルダは「@DH-ドメイン名」（ドメインユーザー）または「@LH-FQDN 名」（LDAP ユーザー）という名前のフォルダにあります。ユーザーのホームフォルダの名前には、ユーザーアカウントの後ろに個別の番号が付けられます。

注:

- homes 共有フォルダを削除する場合は、ユーザーホームサービスを無効にしてから行ってください。
- ドメイン/LDAP ユーザーのホームサービスを有効にすると、ローカルユーザーのホームサービスも有効にします（有効にならない場合）。
- ローカルユーザーのホームサービスを無効にするとドメインユーザーのホームサービスも無効になります。

グループ作成

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [グループ] の順に進み、グループを作成、編集し、グループにユーザーを追加し、そしてグループの属性を編集します。このようにすると、1 個ずつユーザーを編集する必要がありません。

デフォルトで作成されるグループ :

- Administrators : administrators グループに属しているユーザーには、admin と同じ管理権限があります。
- Users : すべてのユーザーは users グループに属しています。

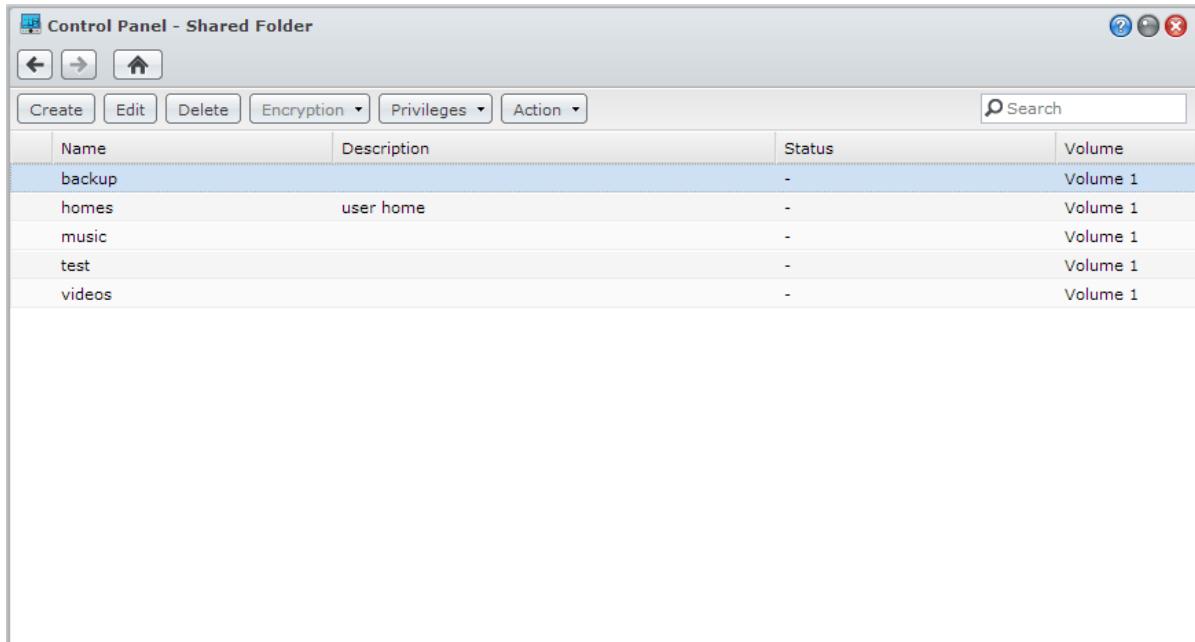
注: 共有フォルダやアプリケーションへのグループのアクセス権限を変更する方法については、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」と「ユーザーにアプリケーションへのアクセスを許可する」を参照してください。

ユーザーにアプリケーションへのアクセスを許可する

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [アプリケーションの権限] の順に選択し、ユーザーがアクセス可能なアプリケーションを指定します。

共有フォルダの設定

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [共有フォルダ] の順に進み、Synology NAS のルートフォルダである共有フォルダを管理します。共有フォルダにデータを保存したり、ユーザーまたはグループでアクセス権限を共有したりできます。



システム作成の組み込み式共有フォルダ

システム生成の共有フォルダは、フォルダに必要なサービスまたはアプリケーションが有効になると作成されます。

名前	説明
public	Synology NAS の最初のシステム設定が終了すると、 public フォルダが自動的に作成されます。 ¹
web	web フォルダにはあなたの Web サイトのコンテンツが保存されます。これは、Web Station を有効にすると、自動生成されます。Web Station の詳細は、「ホストウェブサイトに Web Station を使う」を参照してください。
photo	photo フォルダには、Photo Station で共有する写真やビデオが格納されます。これは、Photo Station または DLNA/UPnP メディアサーバーを有効にすると自動生成されます。Photo Station やメディアサーバーに関する詳細は、「第 13 章：Photo Station で写真、ビデオ、およびブログを共有する」と「DLNA メディアサーバーの管理」を参照してください。
music	music フォルダには、Audio Station で共有する音楽が保存されます。これは、Audio Station を有効にすると自動生成されます。Audio Station の詳細は、「第 14 章：Audio Station で音楽を再生」を参照してください。
video	video フォルダには、DLNA/UPnP DMA 経由で表示するビデオが格納されます。これは、メディアサーバーを有効にすると自動生成されます。メディアサーバーの詳細は、「DLNA メディアサーバーの管理」を参照してください。
surveillance	surveillance フォルダには Surveillance Station の記録が保存されます。このフォルダは、Surveillance Station が有効な場合は自動的に作成されます。これは読み込み専用であり、システム管理者しかアクセスできません。Surveillance Station の詳細は、「第 17 章：Surveillance Station で環境を守る」を参照してください。

¹ この説明は、1ベイモデルを対象としています。

名前	説明
home	home フォルダは、各ユーザーが自分しかアクセスできないデータを格納する個人用のスペースを提供します。このフォルダは、ユーザー ホームを有効にすると自動生成されます。ユーザー ホームの詳細については、「ユーザーのホームフォルダを作成」を参照してください。
homes	homes フォルダには、すべてのユーザーのホームフォルダが格納されます。このフォルダは、ユーザー ホームを有効にすると自動生成されます。システム管理者だけがアクセスでき、すべてのユーザーの home フォルダを管理します。ユーザー ホームの詳細については、「ユーザーのホームフォルダを作成」を参照してください。
NetBackup	NetBackup フォルダは、ネットワークバックアップサービスを有効にすると自動生成されます。ネットワークバックアップの詳細は、「ネットワーク バックアップ」を参照してください。
usbshare	usbshare [番号] フォルダは、USB ディスクを Synology NAS デバイスの USB ポートに接続すると自動生成されます。外部 USB ディスクの詳細は、「外部ディスクの管理」を参照してください。
esatashare	esatashare フォルダは、eSATA ディスクを Synology NAS デバイスの eSATA ポートに接続すると自動生成されます。外部 eSATA ディスクの詳細は、「外部ディスクの管理」を参照してください。

共有フォルダの作成

Administrators グループに属するユーザーは、[作成] をクリックして共有フォルダを作成したり、フォルダへのアクセス権を割り当てるすることができます。

共有フォルダの削除

Administrators グループに属するユーザーは、[削除] をクリックするとユーザー自身で作成した共有フォルダを削除することができます。

重要: 共有フォルダを削除すると、フォルダ内のデータもすべて削除されます。データが必要な場合は、バックアップしてから実行してください。

ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [共有フォルダ] の順に選択し、[特権] をクリックした後 [特権の設定] を選択すると、ユーザーまたはグループの共有フォルダへのアクセスを許可/拒否することができます。

注:

- サブフォルダにアクセス権限を設定するには、File Station を使用します。詳しくは、「ファイル/サブフォルダのプロパティの編集」を参照してください。
- 権限が衝突する場合の優先順位は以下のとおりです : [アクセスなし] > [読み取り/書き込み] > [読み取り専用] です。
- 新しい共有フォルダを作成する場合、**administrators** グループに属するユーザーのアクセス権限が [アクセスなし] に設定されると、**administrators** グループに属するユーザーは、フォルダを見ることしかできません。[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [共有フォルダ] の順に選択してください。

Linux クライアントの共有フォルダへのアクセスを許可する

共有フォルダリストから共有フォルダを選択し、[特権] をクリックします。次に [NFS 特権] を選択して NFS 特権を割り当てます。

用語説明

非同期: NFS サーバーはファイルへの変更が完了する前に要求に応答します。

ドメインユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する

Synology NAS が Windows ドメインまたは LDAP クライアントとしてディレクトリ サービスに追加されている場合は、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ディレクトリサービス] > [LDAP ユーザー], [LDAP グループ], [ドメインユーザー]、または [ドメイングループ] を選択すると、ドメイン/LDAP ユーザーまたはグループの共有フォルダ権限を設定したり、変更したりすることができます。

注 : 権限に競合が生じた場合は、権限の優先度は次のようにになります。アクセスなし (NA) > 読込み/書き込み (RW) > 読込み専用 (RO)。

共有フォルダの暗号化

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [共有フォルダ] の順に選択し、[編集] をクリックして共有フォルダを暗号化してください。¹ フォルダを暗号化した後は、[暗号化] ドロップダウンメニューを使ってフォルダを編集します。

AES 256 ビット暗号化は、すべての不正アクセスをブロックできます。暗号化キーがないと、Synology NAS からハードドライブを取り外して他のデバイスに取り付けた場合に他のユーザーが暗号化データにアクセスできません。

注 : [スタートアップで自動的にマウントする] を選択すると、次回 Synology NAS に起動したときに暗号化されたフォルダが自動的にマウントされます。デフォルトでは、安全のため暗号化共有フォルダはスタートアップ時にマウントされないように設定されています。Synology NAS にある [リセット] ボタンを押してデフォルトのパスワードをリセットすると、暗号化された共有アイテムがアンマウントされ、自動マウントするオプションが選択できなくなります。

¹ 共有フォルダの暗号化は特定のモデルにのみ対応しています。

共有フォルダに対する Windows ACL 権限の定義

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [共有フォルダ] の順に選択し、共有フォルダの ACL 権限を定義します。Windows Access Control リスト (ACL) は、Windows 環境における特定のアクセス権を決定する権限または許可を一覧にしたもので、管理者はこの一覧を使って、個別のファイルやディレクトリのアクセスコントロールルールを定義し、個別のユーザーまたはグループに異なるアクセス権を与えます。

Windows ACL を使うと、異なる権限をシステムのローカルユーザーとドメインユーザーに割り当てることができます。特権は、FTP、File Station、NFS、AFP、WebDAV などのファイルに関連するアプリケーションに適用されます。



共有フォルダコンテンツのインデックス付け

[ファイルインデックス処理] タブを選択してファイルのインデックス処理を有効にします。共有フォルダのコンテンツにインデックスを付けると、ファイルやフォルダをさらに速く検索することができます。

注: File Station でファイルを検索する方法については、「ファイルまたはフォルダの検索」をご覧ください。

場所を選ばずファイルにアクセス

ユーザーまたはグループの共有フォルダに適切なアクセス権限を設定しておくと、Synology NAS でどこからでもファイルを共有することができます。

この章では、インターネットまたはローカル ネットワークを経由して Synology NAS の共有フォルダにアクセスする方法について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ローカル ネットワーク内でファイルにアクセスする

ここでは、ユーザーが Windows、Mac、Linux コンピュータを使ってローカル ネットワーク上の Synology NAS の共有フォルダにアクセスする方法について説明します。

注: アクセスする前に、関連するファイル共有プロトコルが Synology NAS で有効になっていることを確認してください。詳しくは、「すべてのプラットフォームのファイル共有プロトコルを有効にする」を参照してください。

Windows で共有フォルダにアクセス

Windows で共有フォルダにアクセスするには、以下の方法で行います。

方法 1 : Synology Assistant を使って共有フォルダをネットワーク ドライブとしてマップする。

Synology Assistant (Synology ダウンロード センターからダウンロードできます) を起動して、サーバーリストからサーバーを選択します。[マウント] をクリックして、画面の指示に従って設定を行います。

終了すると、ユーザーは Windows エクスプローラからマッピングされた共有フォルダに直接アクセスすることができます。

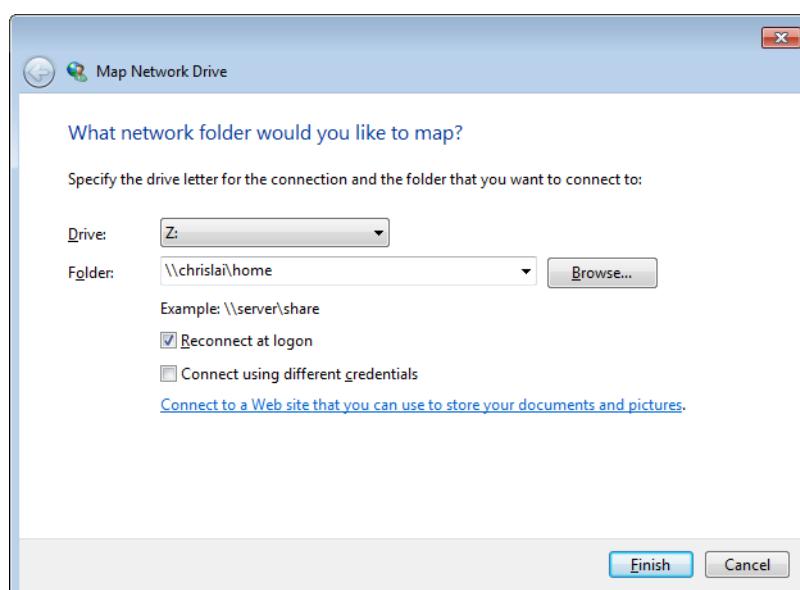
方法 2 : Windows エクスプローラを使う。

Windows Explorer ウィンドウを開き、ツール > マップネットワーク ドライブの順に選択して、マップネットワーク ドライブ ウィンドウを開きます。ドライブ ドロップダウンメニューからドライブ番号を選択します。

以下のいずれかを行って共有フォルダを指定します。

- \\Synology_Server_Name\Shared_Folder_Name をフォルダ フィールドに入力します。
- [参照] をクリックして共有フォルダを指定してから [OK] をクリックします。

Synology DiskStation Manager 用のユーザー名とパスワードを入力してから [OK] をクリックします。終了すると、ユーザーは Windows エクスプローラからマッピングされた共有フォルダに直接アクセスすることができます。

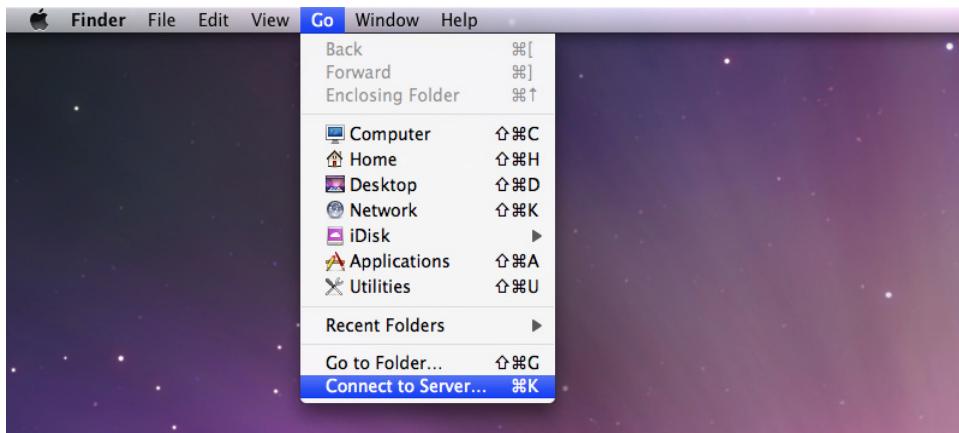


Mac で共有フォルダにアクセス

メニューバーから**実行 > サーバに接続**の順に選択します。Synology NAS の IP アドレスまたはサーバー名 (.local に付属) を **smb://** または **afp://** の後に付けて **[サーバーアドレス]** 欄に入力して、**[接続]** をクリックします。（例：**smb://EricaWang.local** または **afp://192.168.0.2**）

注：より性能を高めるには、SMB 経由で共有フォルダに接続してください。

アクセスする共有フォルダを選択します。この後は、ユーザーは Finder ウィンドウで共有フォルダに直接アクセスすることができます。



Linux で共有フォルダにアクセス

Synology DiskStation Manager で、**[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [共有フォルダ]** の順に進みます。アクセスする共有フォルダを選択し、**[NFS 権限]** をクリックすると、ウィンドウの下部にマウントパスの検索結果が表示されます。

Linux コンピュータで、マウントパスを入力して共有フォルダにマウントします。

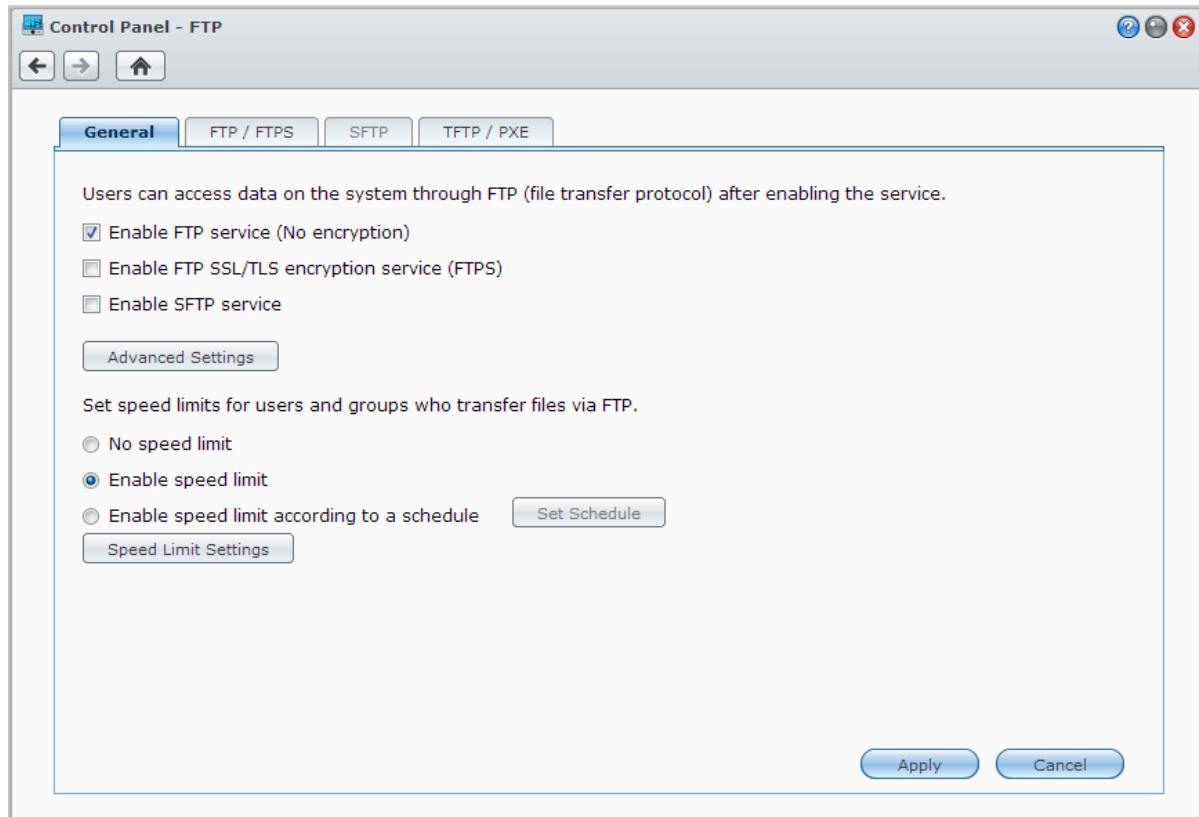
注：NFS 権限に関する詳細は、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。

FTP 経由でファイルにアクセス

Synology NAS がインターネット経由でアクセス可能な場合は、FTP アプリケーションを使って共有フォルダにアクセスすることができます。

注: Synology NAS をインターネット経由でアクセス可能にする方法については、「第 6 章：インターネットから Synology NAS へのアクセス」を参照してください。

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [FTP] の順に選択し、ユーザーが FTP 経由で Synology NAS のデータをアップロード/ダウンロードできるようにします。



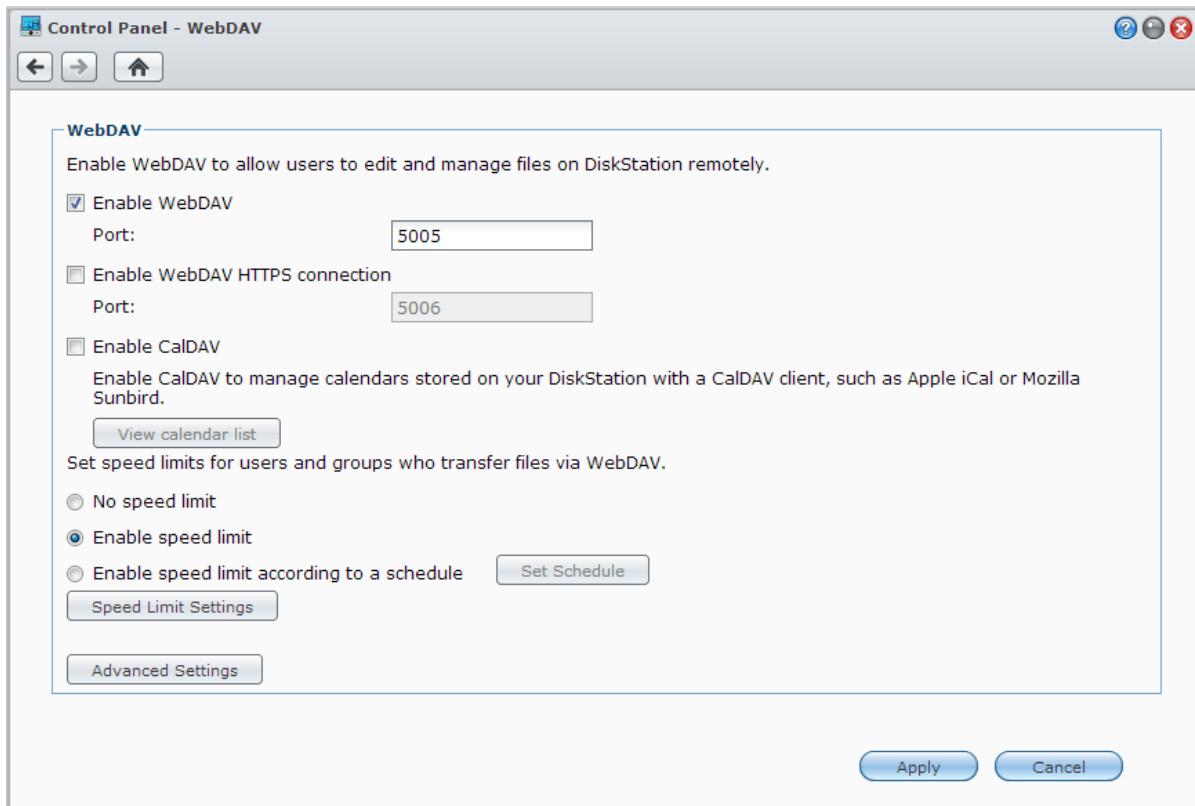
FTP アプリケーションを使って Synology NAS に接続

コンピュータで FTP アプリケーションを開き、以下の情報を入力して Synology NAS に接続します。

- Synology NAS の IP アドレスまたはドメイン名
- ユーザーアカウントとパスワード
- ポート番号（デフォルトは 21）

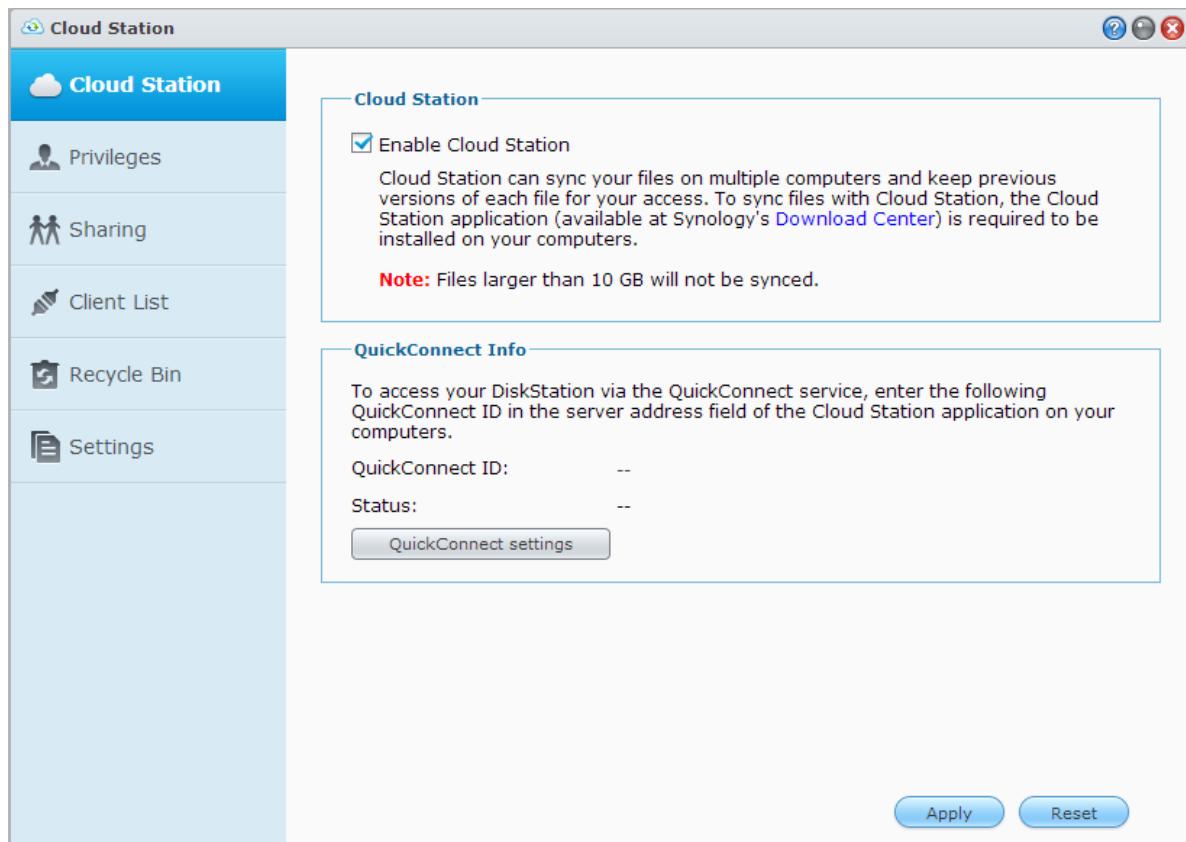
WebDAV 経由でファイルにアクセス

WebDAV または CalDAV（[メインメニュー] > [コントロール パネル] > [WebDAV] を選択）を有効にすると、Synology NAS に保管されているファイルやカレンダーをリモートで管理したり、編集したりすることが可能です。



Cloud Station でファイルを同期する

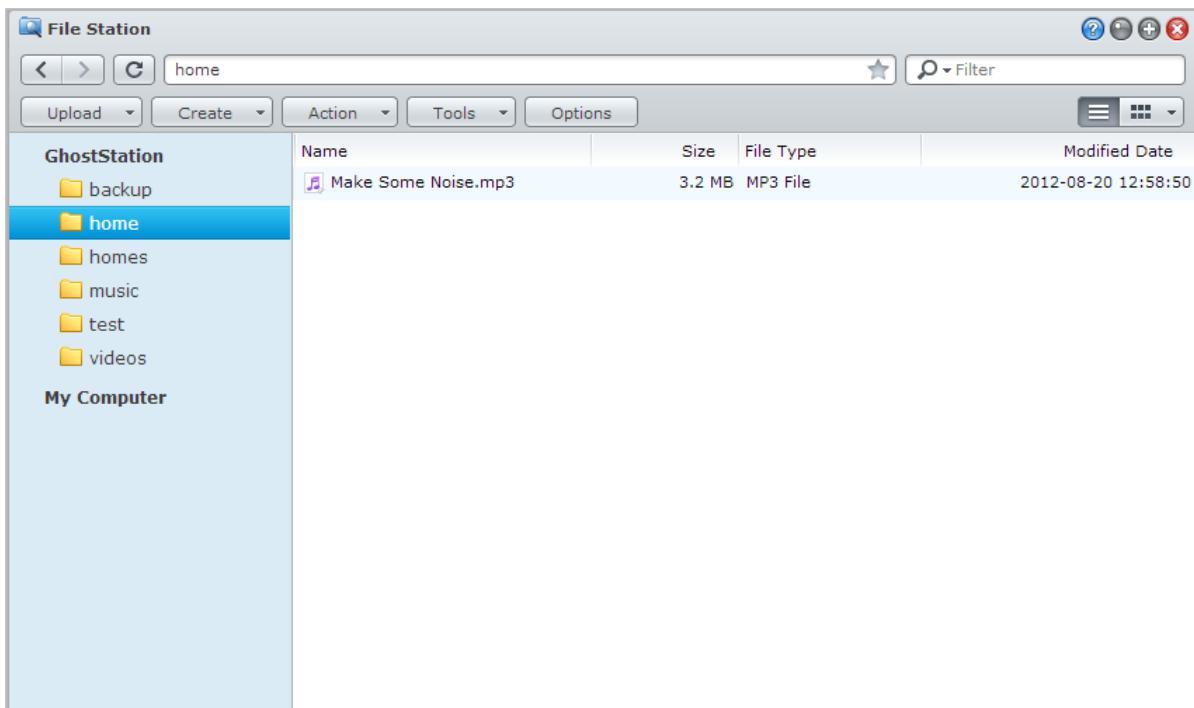
Cloud Station は複数のクライアントコンピュータの間でファイルを同期するために、Synology NAS をファイル同期センターとして使用できるファイル共有サービスです。[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、Cloud Station パッケージをインストールして実行します。



注: クライアントアプリケーション（コンピュータ クライアント用 Cloud Station で、Synology の[ダウンロードセンター](#)から入手可能）は、Synology NAS とファイルを共有する前にクライアントコンピュータにインストールしておく必要があります。

File Station 経由のファイルアクセス

File Station は、DSM ユーザーが自分のウェブブラウザを使ってインターネット経由で Synology NAS フォルダにアクセスできるようにする DSM のファイル管理ツールです。2つ以上の File Station を開き、すべての Synology NAS データを File Station 間でドラッグ アンド ドロップして管理します。



File Station の外観

[メインメニュー] > [File Station] の順に選択し、[File Station] ウィンドウを開きます。

- 左側パネル**：共有フォルダとそのサブフォルダを上部分に表示し、下部分にローカルコンピュータのフォルダを表示します。
- メインセクション**：現在選択されているフォルダのコンテンツを表示します。
- ヘルプボタン（右上隅）**：[ヘルプ] ボタン（クエスチョンマーク付き）をクリックして、DSM ヘルプを開きます。ここには、File Station の使い方について役立つ情報が豊富に提供されています。
- 検索欄（ヘルプボタンの隣）**：現在のフォルダからファイルやフォルダを絞り込むためのキーワードを入力します。
- 詳細検索（拡大鏡ボタン）**：検索結果を絞り込むために検索します。

File Station オプションの管理

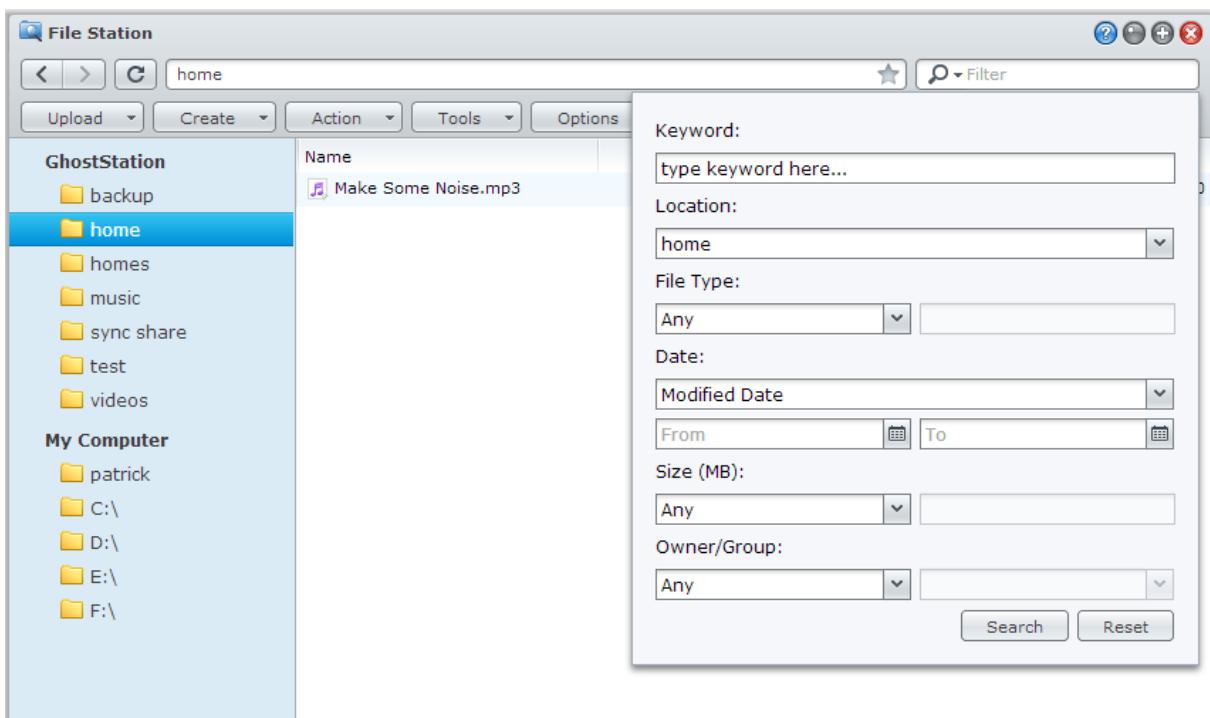
[オプション] をクリックして全般設定を行ったり、File Station ログを有効にしたり、リモートフォルダや仮想ドライブをマウントしたり、ファイルリンクを共有できるユーザーを定義したり、DSM ファイル転送機能で使用する帯域を制御するために制限速度を設定したりすることができます。

注：

- リモートフォルダまたは仮想ドライブについての詳細は、「リモートフォルダまたは仮想ドライブのマウント」を参照してください。
- 共有リンクの詳細については、「ファイル共有リンク」を参照してください。

ファイルまたはフォルダの検索

File Station の右上にある [フィルタ] 欄にキーワードを入力して、現在のフォルダからファイルやフォルダを絞り込むことができます。また、[詳細検索] パネルを使って検索結果を絞り込むこともできます。



注: 簡単に検索結果を得るには、共有フォルダのコンテンツにインデックスを付けておくことをお勧めします。詳しくは、「共有フォルダコンテンツのインデックス付け」を参照してください。

File Station の動作設定

[操作] メニューを使うと、右クリックやドラッグ・アンド・ドロップ操作で簡単にファイルやフォルダをダウンロード、アップロード、コピー、移動、名前変更、削除、解凍、圧縮することができます。

ファイル/サブフォルダのプロパティの編集

[プロパティ] ウィンドウでは、ファイルおよびサブフォルダ（共有フォルダのフォルダとサブフォルダ）のアクセス権限の編集、ダウンロードリンクのコピー、開いたファイルを新しいブラウザウィンドウで開くなどの設定を行います。アクセス権限を設定したいファイルおよびフォルダを選択してください。ファイルまたはフォルダを右クリックするか、[操作] メニューを選択した後、[プロパティ] を選択します。

注:

- 共有フォルダに対するアクセス権限を設定するには、「ユーザー/グループに共有フォルダへのアクセスを許可する」を参照してください。
- ここでは、「photo」共有フォルダのファイルやサブフォルダへのアクセス権限を編集することはできません。Photo Station ユーザーにフォトアルバムへのアクセス権を設定するには、Photo Station を起動して [設定] ページを開きます。[ヘルプ] タブをクリックすると、詳しい情報を見ることができます。
- File Station では、コンピュータでファイルおよびフォルダをアップロードすることだけが可能ですが。その他の File Station の操作およびプロパティ設定は、Synology NAS のファイルおよびフォルダに対してのみ行うことができます。

ファイル共有リンク

Synology NAS 上のファイルまたはフォルダは、簡単に共有できます。ファイルかフォルダを右クリックして、[ファイル共有リンク] を選択するだけです。これでリンクと QR コードが生成されます。これらは友達や他のユーザーに送信できます。これを受け取った人は DSM アカウントの有無に関わらず、リンクに従って選択したファイルやフォルダをダウンロードできます。

リモートフォルダまたは仮想ドライブのマウント

File Station では、リモートフォルダをマウントしてネットワーク コンピュータや他の Synology NAS で共有されているコンテンツにアクセスしたり、ディスクイメージ内のコンテンツにアクセスするために仮想ドライブをマウントしたりすることができます。このような理由で、File Station ではネットワーク リソースやディスクイメージの内容を簡単に見ることができます。リモートフォルダまたは仮想ドライブについての詳細は、右上隅にある [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックして、[File Station] > [リモートフォルダをマウント] または [仮想ドライブをマウント] を選択します。

音楽情報の編集

File Station の音楽情報エディタでは、音楽ファイルの情報を表示および編集することができます。音楽ファイルを右クリックして [音楽情報の編集] を選択してください。

文書、写真、ビデオの表示

File Station では、文書、ビデオ、写真を表示できます。詳細は、右上の [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックし、[File Station] > [ファイルの読み込みと移動] > [文書、写真、ビデオの表示] を選択します。

写真を編集

File Station では、Web ベースのエディタである Pixlr Editor や Pixlr Express を使用して写真を編集することができます。詳細は、右上の [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックし、[File Station] > [ファイルの読み込みと移動] > [写真を編集] を選択します。

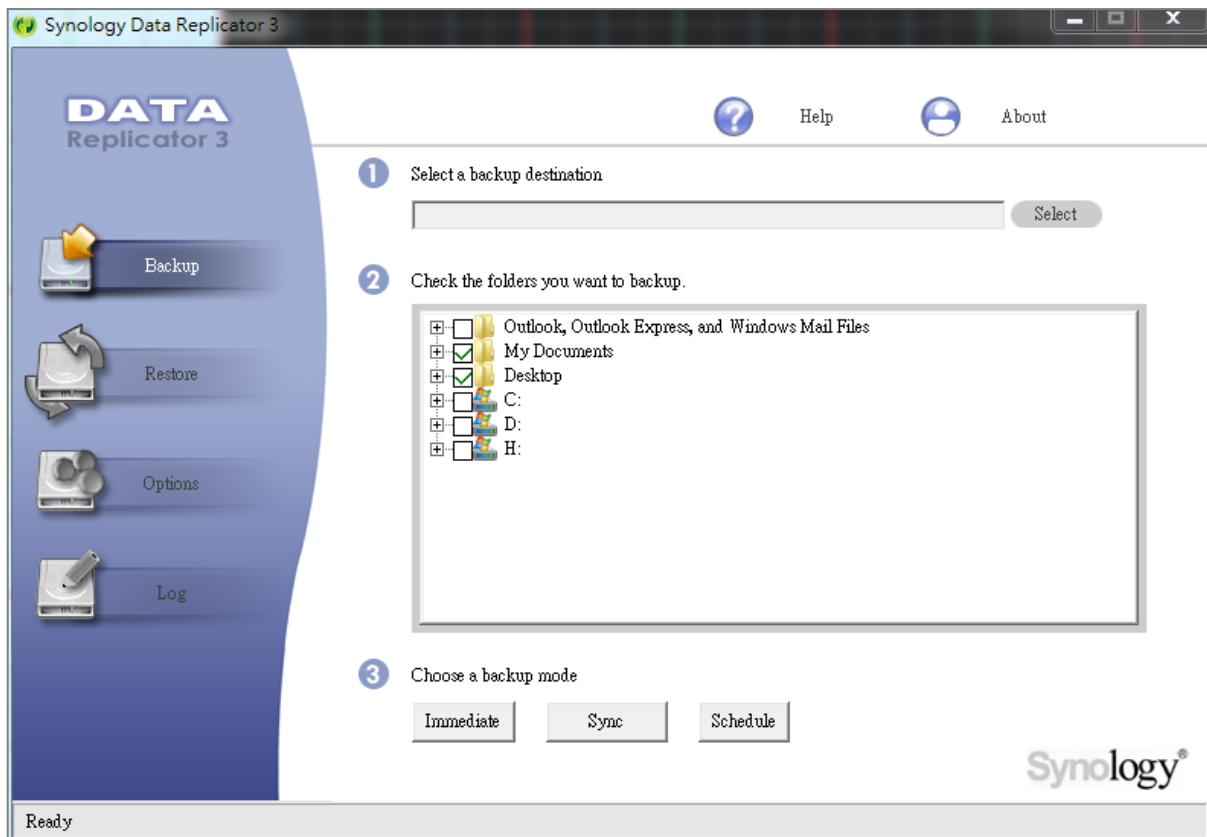
データのバックアップ

Synology はコンピュータと Synology NAS に包括的なバックアップソリューションを提供します。これらを活用して、コンピュータ上のデータを Synology NAS にバックアップしてください。**Administrators** グループに属しているユーザーは、ローカルバックアップやネットワークバックアップで Synology NAS のデータをバックアップしたり、Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期することもできます。クリエイティブな [Copy] ボタンは、ワンタッチ設計で外部ストレージデバイスのバックアップを簡単にしました。Amazon S3 バックアップサービス、革新的な Time Backup パッケージをサポートすることで、他のサーバーバックアップも選択できるようになりました。

この章では、DSM のバックアップソリューションでデータを保護する方法を説明します。詳しい手順については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

コンピュータデータのバックアップ

Synology 専用の Data Replicator 3 を使うと、Windows コンピュータから Synology NAS にデータをバックアップできます。Mac または Linux をご利用の場合は、Synology NAS をバックアップ先に指定できます。



Windows 用 Data Replicator の使用

Synology Data Replicator のインストール パッケージは、Synology ダウンロード センターから入手できます。
<http://www.synology.com/support/download.php>

Data Replicator では何ができますか？

- Windows コンピュータのフォルダを指定して監視したり、監視しているフォルダのコンテンツに変更が合った場合にリアルタイムでバックアップを実行したりします。
- バックアップバージョンと復元ポイントを調整できます。
- 環境設定に従って、バックアップデータを Synology NAS から Windows コンピュータに復元します。

重要：

- コンピュータと Synology NAS は必ず同じエンコードを使用してください。詳しくは、「言語」を参照してください。
- Synology Data Replicator 3 は、次世代型の Synology Data Replicator です。バックアップした Synology NAS のデータは、Data Replicator 3 をインストールした後でしか復元できません。ユーザーが Synology Data Replicator を使用して Synology NAS のデータをバックアップした場合は、Synology Data Replicator 3 を使用する前にまず Synology NAS のデータを PC に復元してください。

Data Replicator の必要条件：

- **HDD 空き容量**：5MB
- **オペレーティングシステム**：Windows 2000 以上
- **最適な解像度**：1024 x 768 以上
- **ネットワーク環境**：TCP/IP での Microsoft ネットワーキングが有効化されており、Synology NAS がネットワークに接続されていること

Data Replicator をインストールする：

ダウンロード センターからダウンロードしたファイルを解凍します。setup.exe ファイルをダブルクリックして、画面の指示に従ってください。

Data Replicator を使う：

Data Replicator の詳しい使い方については、[ヘルプ] ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。

Mac の Time Machine を使う

Synology NAS は、Apple Time Machine のバックアップに対応しています。Mac をお使いの方は、データを Synology NAS の共有フォルダにバックアップできます。[メインメニュー] > [コントロール パネル] > [Win/Mac/NFS] の順に選択して、[Mac ファイルサービスを有効にする] にチェックマークを付けます。次に [Time Machine] ドロップダウンメニューから共有フォルダを選択してください。共有フォルダが Time Machine のバックアップ先に設定されます。

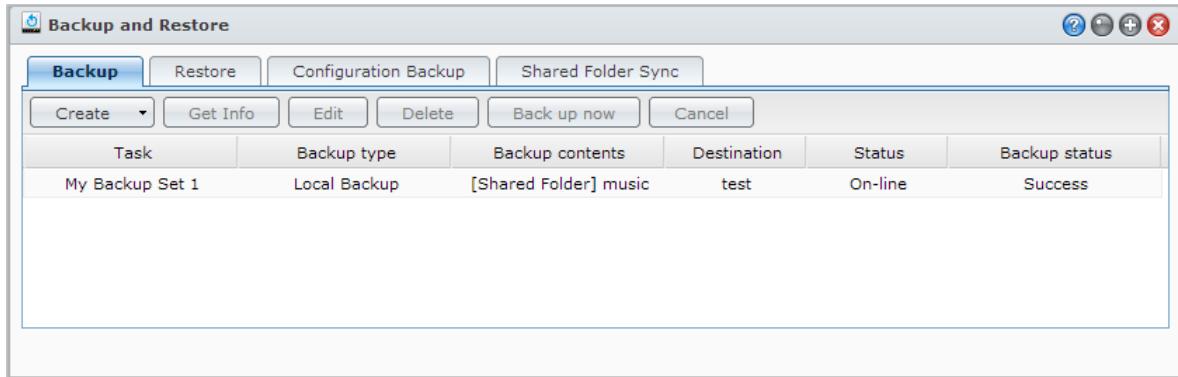
注： Time Machine の使い方については、Mac コンピュータのヘルプを参照してください。

Linux の rsync の使用

Rsync を使って Linux のデータを Synology NAS にバックアップできます。

Synology NAS にデータまたは iSCSI LUN をバックアップする

コンピュータデータを Synology NAS にバックアップできるだけでなく、**administrators** グループに属するユーザーはデータや iSCSI LUN を Synology NAS にバックアップすることができます。



Synology NAS のデータをバックアップする方法

データまたは iSCSI LUN を Synology NAS にバックアップするには、ローカルバックアップとネットワークバックアップが選択できます。また、Synology NAS は、Amazon S3 バックアップに対応しているため、データを Amazon S3 サーバーにバックアップすることもできます。[メインメニュー] > [バックアップと復元] > [作成] の順に選択し、それぞれのバックアップ方法の利点を生かしてください。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ローカルバックアップ

ローカルバックアップは Synology NAS からシステム共有フォルダまたは USB または eSATA インタフェースの外部ディスクにデータをバックアップします。バックアップは、バックアップ先の共有フォルダにある「LocalBackup」サブフォルダに保存されます。

注 : 外部ディスクを初めて使う場合は、ローカルバックアップを行う前に外部ディスクをフォーマットする必要があります。

ネットワーク バックアップ

ネットワークバックアップは Synology NAS のデータを別の Synology NAS か rsync 互換サーバーにバックアップします。ネットワークバックアップには：**非暗号化**と**暗号化**の 2 つのモードがあります。暗号化モードはセキュリティに優れ、暗号化モードは性能が高いのが特長です。バックアップを効率的に行うには、重要なファイルのみに暗号化モードを実行してください。

注 : ネットワーク バックアップサービスを有効にして Synology NAS をバックアップ先として設定するための情報については、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ネットワークバックアップ] を選択し、右上隅にある [**ヘルプ**] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

Amazon S3 バックアップ

Amazon S3 バックアップは、Synology NAS のデータを Amazon S3 サーバーにバックアップします。Amazon S3 バックアップを実施した後は、Amazon S3 サーバーの **Bucket** にひとつのバックアップファイルが保管されます。これは、**SourceServerName_MAC** アドレスで始まり、ファイルの完全パスが最後に付加される個別の **Set KEY** の値で識別します。

Amazon S3 バックアップは、Amazon S3 RRS (Reduced Redundancy Storage) へのバックアップもサポートしています。

注:

- Amazon S3 バックアップには、暗号化/非暗号化モードがあります。
- Amazon S3 バックアップサービスを使用すると、料金が課せられる場合があります。
- Synology NAS データのバックアップに関する詳細は、[メインメニュー] > [バックアップと復元] の順に選択し、右上隅の [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてください。

Synology NAS でバックアップを行う

[メインメニュー] > [バックアップと復元] の順に選択し、Synology NAS のバックアップタスクを実施します。

開始する前に、以下のことを行ってください。

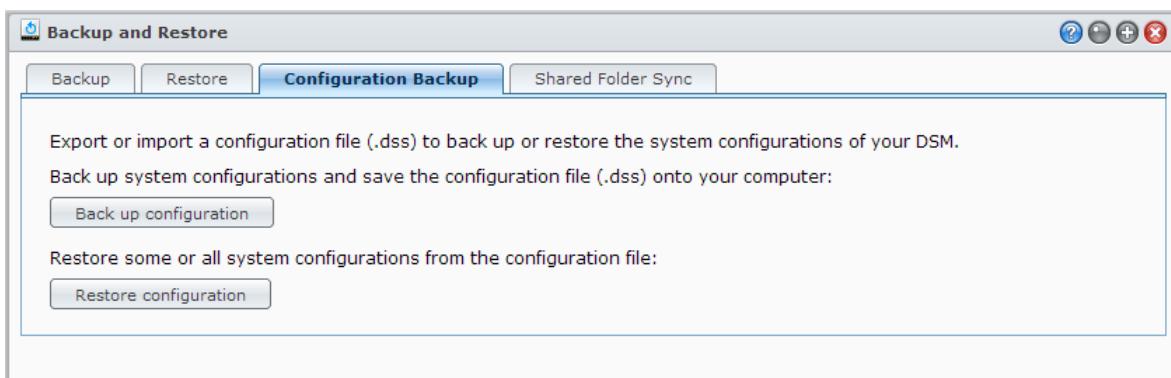
- ネットワークバックアップを別の Synology NAS で行う場合：ターゲットの Synology NAS の DSM にログインして、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ネットワークバックアップ] > [ネットワークバックアップ] を選択します。[ネットワークバックアップサービスを有効にする] にチェックマークが付いていること、および [カスタマイズした rsync 設定を使用する] オプションが選択解除されていることを確認して、ターゲットの Synology NAS にバックアップできるようにします。
- 外部ディスクにローカルバックアップを行う場合：[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [外部デバイス] の順に選択し、[フォーマット] をクリックして外部ディスクをフォーマットします。

データまたは LUN バックアップまたは復元を行う：

詳しい手順については、右上隅にある [ヘルプ] ボタンをクリックし、[バックアップと復元] > [バックアップ] の順に選択します。

システム設定のバックアップと復元

[メインメニュー] > [バックアップと復元] > [設定のバックアップ] の順に選択し、Synology NAS のシステム設定をバックアップ/復元します。システム設定を設定ファイル (.dss) にバックアップし、後から設定を復元することができます。



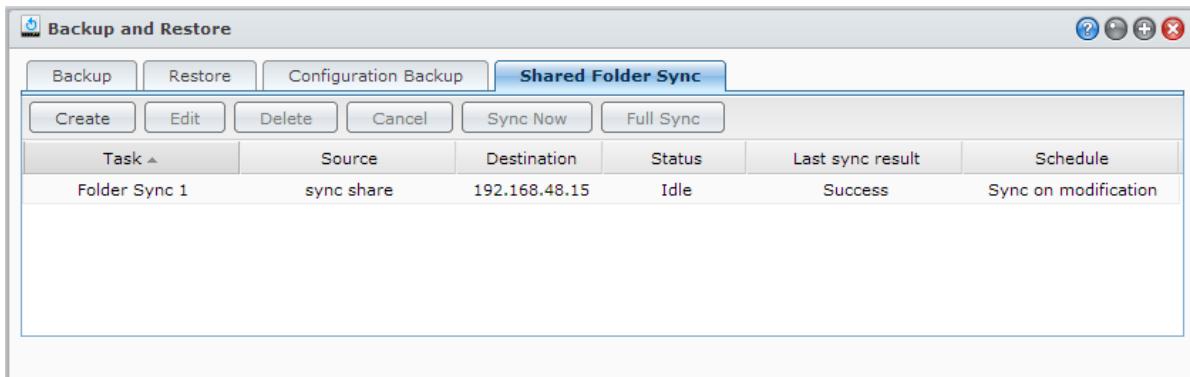
その他の情報

バックアップされる設定には次のようなものがあります。

- ユーザー、グループ、共有フォルダ
- ワークグループ、ドメイン、LDAP
- ファイル共有機能 (Windows ファイル サービス、Mac ファイル サービス、NFS サービス、FTP、WebDAV など)
- Web サービス
- ネットワーク バックアップ サービス (ネットワーク バックアップ (または Rsync) 機能、共有フォルダの同期機能、Time Backup 機能など)
- その他のサービス (ユーザー ホームとパスワードの強度など)

Synology NAS 間の共有フォルダコンテンツを同期する

共有フォルダの同期は、ネットワーク上の同期元の Synology NAS (または「クライアント」) から同期先の Synology NAS (または「サーバー」) へ共有フォルダのコンテンツを同期させることができます。共有フォルダの同期のバックアップタスクを確認したり、管理したりするには、[メインメニュー] > [バックアップと復元] > [共有フォルダの同期] の順に選択します。共有フォルダの同期を有効にする方法については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

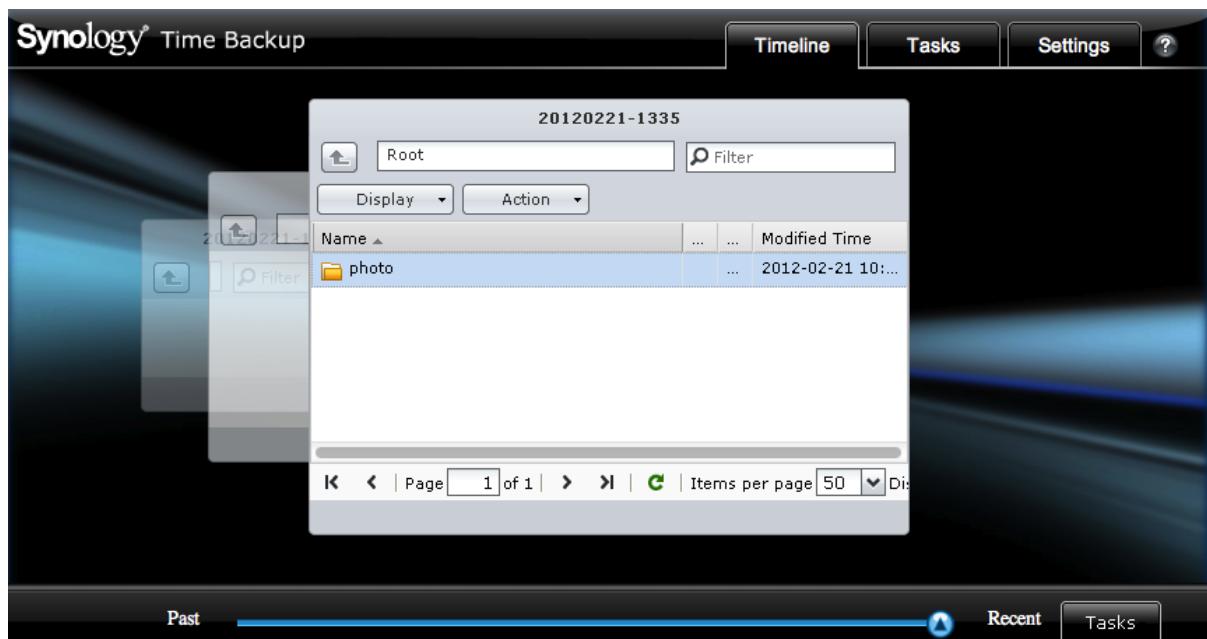


Time Backup で Synology NAS のデータをバックアップする

Synology Time Backup は、Synology NAS の共有フォルダを素早くかつ柔軟にバックアップおよび復元する方法です。別のボリュームや外部のハードディスクにデータをバックアップすることができます。複数のタスクを設定して、それぞれのタスクにバージョンを作ることもできます。

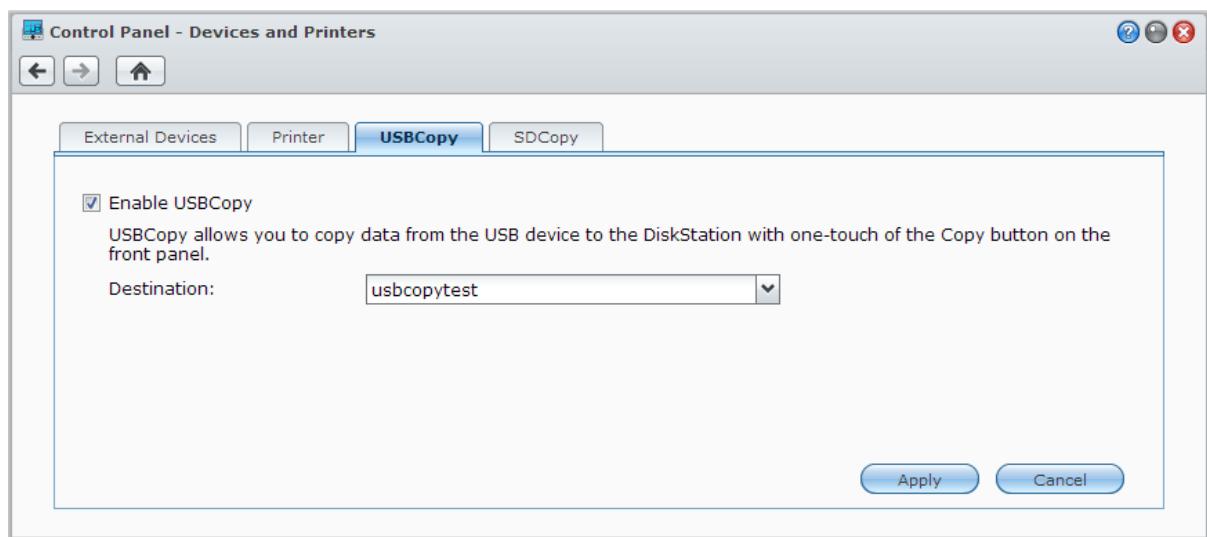
Time Backup にはスナップショット機能も付いています。バージョンを作成するとき、システムはスナップショットを撮り、指定した時点でのデータの状態を取り込みます。その後、システムは数秒でバージョンを作成します。新しく作成したバージョンにアクセスして、即座にバックアップしたファイルを編集することができます。

Time Backup をインストールするには、[メインメニュー] > [パッケージセンター] の順に選択してください。



USB デバイスまたは SD カードへのデータのバックアップ

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [外部デバイス] を選択し、USBCopy または SDCopy が使用する共有フォルダを指定した後で、Synology NAS のフロントパネルにある コピー ボタンを使用して、USB デバイスまたは SD カードから共有フォルダにデータをコピーします。¹

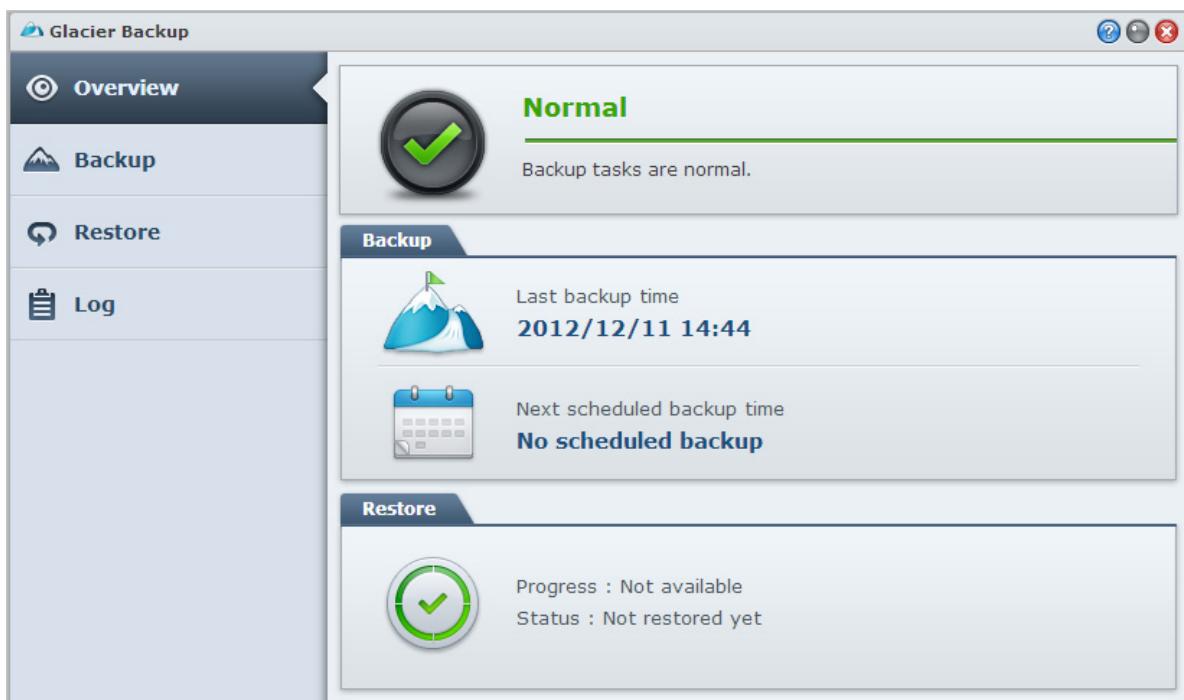


¹ USBCopy または SDCopy は、特定のモデルでしか使用できません。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

Amazon Glacier へのバックアップ

Synology Glacier Backup は、Synology NAS のデータをクラウドストレージ サービスである Amazon Glacier にバックアップするためのバックアップ管理ツールです。Amazon Glacier は低成本ながら、安全で強固なデータストレージを提供します。Amazon Glacier アカウントにファイルをバックアップすることにより、Glacier Backup が Synology NAS のスペースを節約してくれます。また、不測の事態によるデータ消失防止策として、偶発危機計画を提供します。

Glacier Backup をインストールするには、[メインメニュー] > [パッケージセンター] の順に選択してください。Glacier バックアップについての詳しい手順は、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

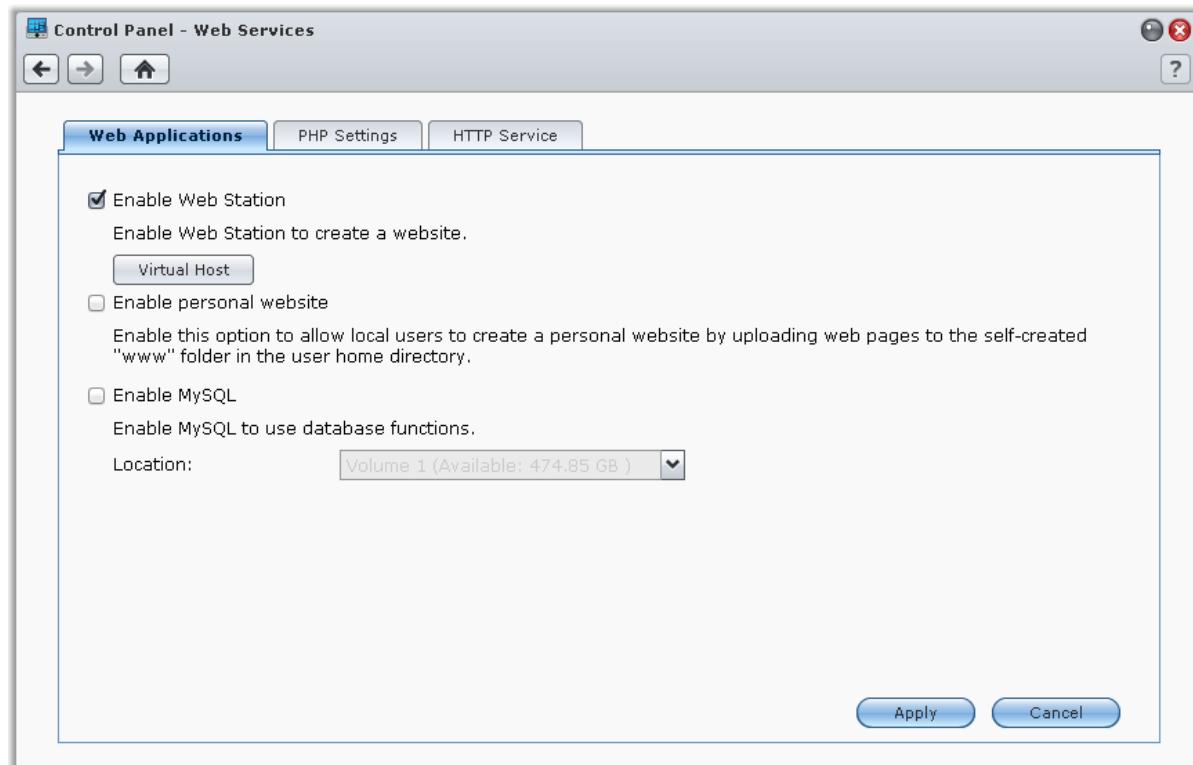


ウェブサイト、Eメールサーバー、プリントサーバーのホスト

Synology NAS は、中小規模ビジネス (SMB) を対象に、ひとつの Synology NAS で追加料金が発生せずにウェブ、Eメール、およびプリントサーバーを設定する能力を提供するようデザインされています。この章では、これらの機能についての基本情報を提供します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ホストウェブサイトに Web Station を使う

PHP および MySQL サポートとして統合されている Web Station でウェブサイトを設定するには、[\[メインメニュー\] > \[コントロールパネル\] > \[Web サービス\]](#) を選択します。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



Web Station を有効にする

Web Station の機能を使うと、Synology NAS のウェブページでウェブサイトを作成できます。内蔵 PHP と MySQL をサポートしていますので、ダイナミックでデータベース主導型のウェブサイトを設計できます。パッケージセンターからは、コンテンツ管理、顧客関係管理、e コマースシステムをはじめ、多数のサードパーティパッケージも提供しています。これらを手軽にインストールすることができます。デフォルトの共有フォルダ「web」には、ウェブサイトのウェブページファイルが保管されています。

仮想ホストを有効にしてウェブサイトをホストする

仮想ホスト機能を使って、1台のサーバーで複数のウェブサイトをホストすることができます。各ウェブサイトには、異なるポート番号または異なるホスト名を使うことができます。

パーソナルウェブサイトを有効にする

パーソナルウェブサイト機能は、Synology NAS ユーザーが自分専用のウェブサイトをホストできる便利な機能です。各ローカルユーザー、ドメインユーザー、LDAP ユーザーには、それぞれのウェブサイトアドレスがあります。

MySQL を有効にする

MySQL を有効にすると、ウェブサイトの MySQL データベース機能を使用できます。MySQL を有効にした後、Synology の[ダウンロードセンター](#)から **phpMyAdmin** パッケージをインストールすると MySQL データベースを管理できます。

PHP 設定の管理

Web Station を有効にした後は、**[PHP 設定]** タブをクリックして PHP 関連の設定を行います。詳しい手順については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

その他の情報

主なアプリケーションのインストール

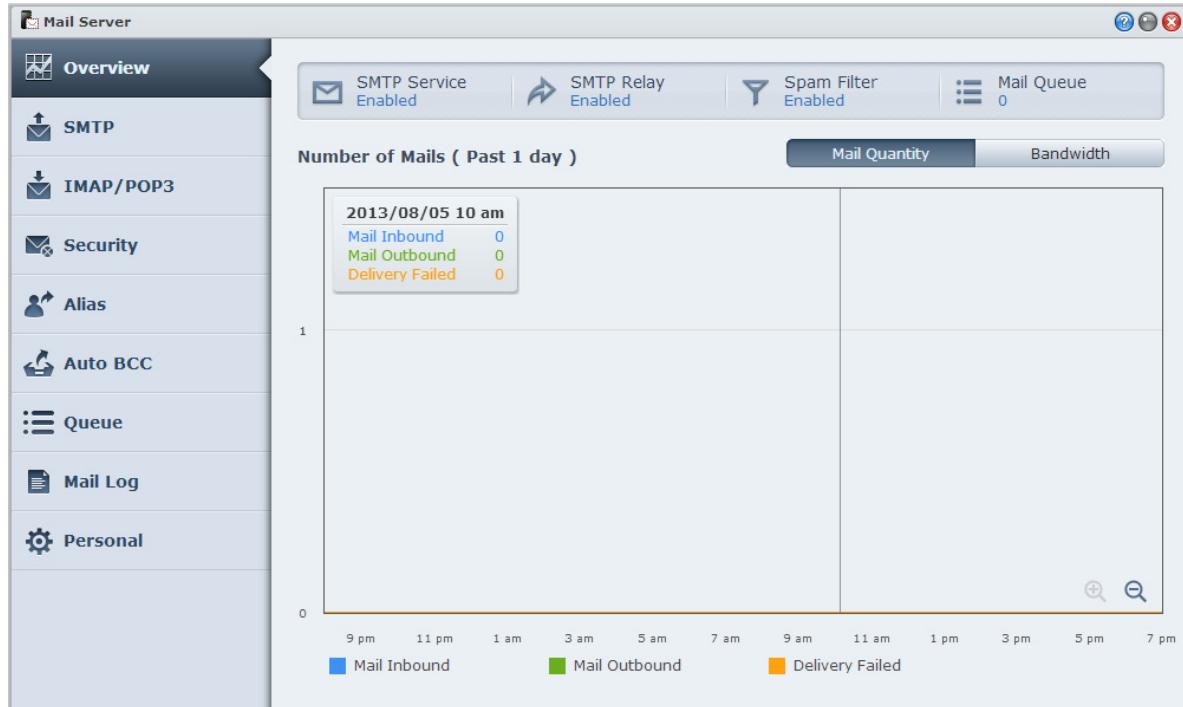
- ウェブ環境の設定が完了した後は、複数のオープンソースアプリケーションを使ってアプリケーションをインストールしてウェブサイトの機能を強化してください。
- Synology NAS と互換性が確認されたテスト済アプリケーションのリストは、http://www.synology.com/support/faq_show.php?q_id=404 から参照してください。それらのアプリケーションのダウンロードリンクやインストール手順については、各社の公式ウェブサイトをご覧ください。

HTTP サービスオプションの変更

[コントロール パネル] > [Web サービス] を選択し、**[HTTP サービス]** タブをクリックします。デフォルトポート番号 80 に加えて、Photo Station および Web Station 用の別ポートを追加できます。詳しい手順については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

Mail Server のホスト

Synology NAS を Mail Server にして、Synology NAS のユーザーがメールクライアントプログラムを使用してメールメッセージを送受信できるようにします。



はじめる前に

IP アドレスに対応するドメイン名を登録するか、または DDNS ホスト名を適用します。

注: Synology NAS 用 DDNS アカウントの登録については、「Synology NAS の DDNS を登録する」を参照してください。

- ドメイン名またはダイナミック ドメイン名を適用するときは、メールドメインの MX (Mail eXchanger) レコードに Mail Server (Synology NAS の FQDN) を入力してください。
例えば、Mail Server が **mail.synology.com** の場合は、MX レコードには、**mail.synology.com** と入力します。
- [メインメニュー] > [コントロール パネル] > [ユーザー] の順に選択し、[ユーザーホーム] サービスを有効にしてメールのメッセージをホームフォルダに保存できるようにします。この操作をしないと、ユーザーはメールの送受信ができません。

注: ユーザーホームについては、「ユーザーのホームフォルダを作成」を参照してください。

ポート転送設定を確認する :

NAT が必要な場合は、下表に従ってポート転送を設定してください。

プロトコル	SMTP	POP3	IMAP	IMAPS	POP3S
ポート	25	110	143	993	995
注	IMAPS : IMAP over SSL/TLS POP3S : SSL/TLS での POP3				

Mail Server の設定

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、Mail Server パッケージをインストールして実行します。
Mail Server については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

Mail Station をインストールしてウェブメールサービスを有効にする

Mail Station パッケージの稼働時に、Synology NAS ユーザーは DSM のウェブメールサービスを経由して送受信できます。

Mail Station をインストールして実行する :

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、Mail Station パッケージをインストールして実行します。

注: Synology DiskStation Manager のインストールについては、「第 12 章：パッケージ センターでさまざまなアプリケーションを検索」を参照してください。

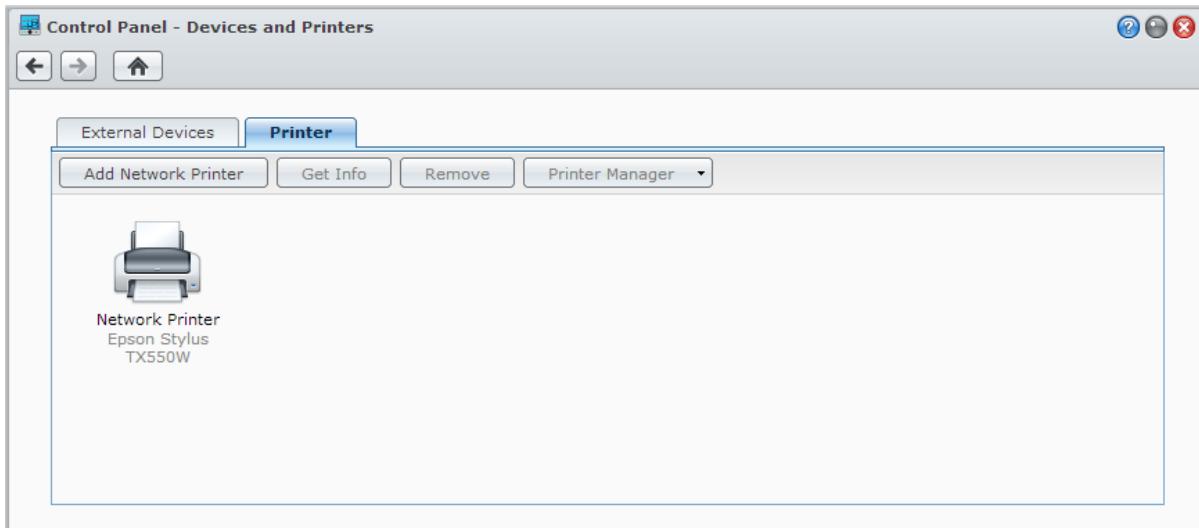
Mail Station に接続する :

以下のウェブアドレスをウェブブラウザのアドレスバーに入力して、キーボード Enter キーを押してください。
http://Synology_サーバー_IP_アドレス/mail/

注: ウェブメールサービスの使用方法については、[Mail Station 2 ユーザーガイド](#)を参照してください。Synology のダウンロードセンターから入手できます。<http://www.synology.com/support/download.php>

Synology NAS をプリントサーバーとして設定

クライアントコンピュータやモバイルデバイスが Synology NAS に接続されているプリンタにアクセスできるようになるには、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンタ] > [プリンタ] を選択し、LAN で Synology NAS プリンタ サーバーとして設定します。Synology NAS は USB プリンタまたはネットワークプリンタに接続できます。また、AirPrint にも対応していますので、iOS デバイスから印刷することができます。さらに、Google Cloud Print サポートにより、Google 製品や機能を使って印刷することも可能です。¹ 詳しい手順については、DSM ヘルプを参照してください。



注: 1 台の Synology NAS には USB プリンタを最大 2 台接続することができます。

プリントサーバーを利用するようにコンピュータを設定する

プリントサーバーを Synology NAS に設定すると、ローカルエリアネットワークの Windows、Mac、および Linux クライアントはプリントサーバーに接続して、印刷/ファックス/スキャンサービスを利用することができます。

iOS デバイスでプリントサーバーを使用する

DSM の AirPrint サポートを有効にした場合、iOS 4.2、またはそれ以降で実行している iOS デバイスは Synology NAS に接続されているプリンタに印刷することができます。¹

¹ ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

パッケージセンターでさまざまなアプリケーションを検索

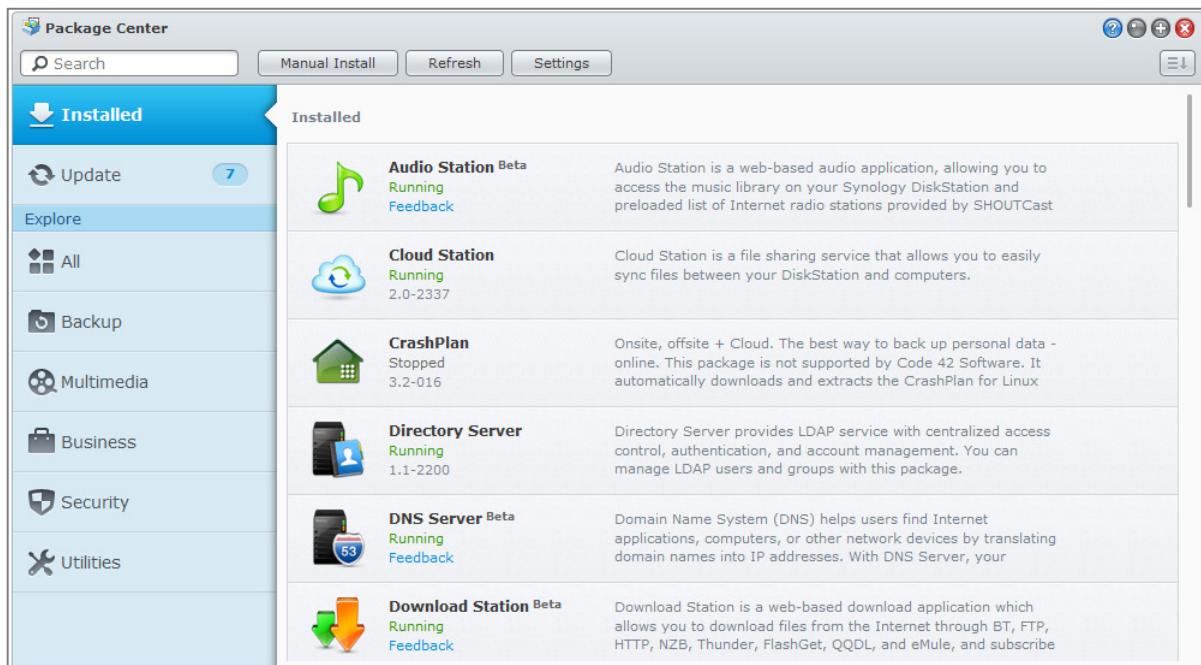
Synology は、サードパーティや Synology デザインのアプリケーションをパッケージに統合し、Synology NAS にインストールしてパッケージセンターで管理できるようにしました。

豊富な機能を持つアプリケーションが揃った Synology NAS は、マルチメディアコンテンツを楽しんだり、写真、ビデオ、ブログを共有したり、好きなときに好きな場所でファイルにアクセスしたり、カメラで現場の様子を生で見たり、デジタル TV 番組をライブストリームまたは録画したり、インターネットからファイルを検索およびダウンロードしたり、貴重なデータをバックアップしたり、自分のクラウドを構築したりと言った、さまざまな権限を提供します。

この章では、パッケージセンターからダウンロードできるパッケージと、インストールの仕方を説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

パッケージセンターが提供するもの

[\[メインメニュー\] > \[パッケージセンター\]](#) を選択し、パッケージセンターからどのようなものがダウンロードできるのか確認してください。



パッケージのインストールまたは購入

左側のパネルの [\[エクスプローラ\]](#) の下にパッケージ カテゴリーが表示されます。カテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに含まれるパッケージがすべて表示されます。[\[インストール\]](#)、[\[試行\]](#)、または[\[購入\]](#)をクリックして、画面の指示に従ってインストールを行ってください。[\[手動インストール\]](#)をクリックして、.spk ファイル (Synology ダウンロードセンター、またはサードパーティのウェブサイトから入手できます) をアップロードすることでパッケージをインストールします。

Photo Station で写真、ビデオ、およびブログを共有する

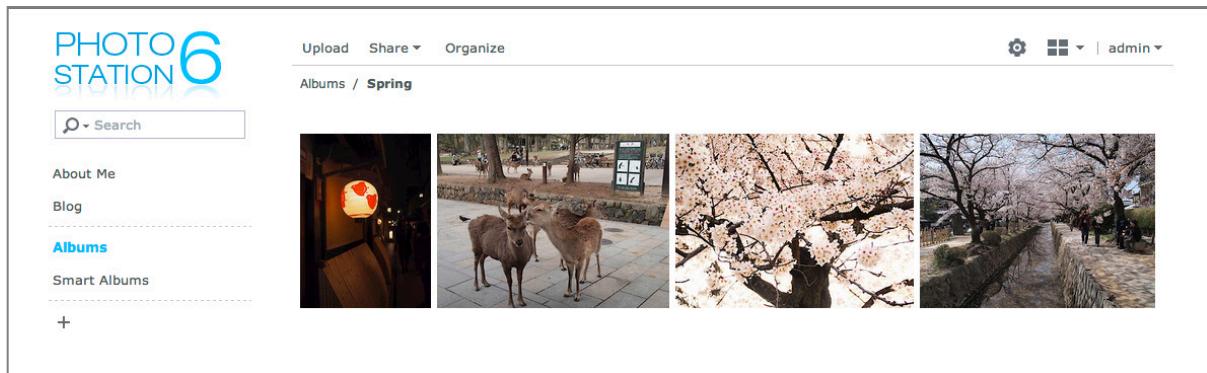
Photo Station はインターネットを介して写真、動画、ブログ投稿を簡単に共有できるようにする、ブログに統合されたオンラインフォトアルバムです。Photo Station を活用すると、写真をすばやく、簡単にアップロード、整理、編集、共有することができます。

さらに、Apple App Store、Android Market、Windows Marketplace から DS photo+ をダウンロードすると、iOS/Android デバイスや Windows Phone を使って、好きな時に好きな場所で Synology NAS に保存された写真を見たり、ビデオを鑑賞したりすることができます。DS photo+ の詳細は、「第 22 章：モバイルデバイスで通信」を参照してください。

ここでは Photo Station の機能について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。または Photo Station で [設定] ページを開き、[ヘルプ] タブをクリックしてください。

Photo Station のインストール

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、**administrators** グループに属する DSM ユーザーが所有する Photo Station をインストールします。Photo Station がインストールされたら、「photo」共有フォルダが自動的に作成され、Photo Station のデータが保存されます。



サポートと制限

- **対応画像のフォーマット** : BMP、JPEG、GIF、RAW (arw、srf、sr2、dcr、k25、kdc、cr2、crw、nef、mrw、ptx、pef、raf、raw、3fr、erf、mef、mos、orf、rw2、dng、x3f) 、TIFF、PNG
- **対応するビデオ フォーマット**:3G2、3GP、ASF、AVI、DAT、DivX、FLV、M4V、MOV、MP4、MPEG、MPG、MTS、M2TS、M2T QT、WMV、XviD、RM^①、RMVB⁽¹⁾、VOB⁽¹⁾
- **ブラウザの必要条件** : JavaScript を有効にする
- **Microsoft Internet Explorer の必要条件** : ActiveX コントロールとプラグイン、アクティブスクリプトを有効にする
- **アップロード限界** : 一度に最大 100 個のファイルか、または合計で 2GB までアップロードできます。ドラッグ・アンド・ドロップ操作でアップロードできるファイルのサイズは、それぞれ最大で 1GB です。

^① 指定したフォーマットのファイルをダウンロードすることはできますが、圧縮された Flash ビデオとして Photo Station で再生することはできません。

個人用 Photo Station を有効にする

Administrators グループに属するユーザー（Photo Station のアカウントシステムが DSM アカウントとして設定されている場合）は、個人用 Photo Station サービスを有効にして、すべての DSM ユーザーが個人用 Photo Station を持てるようになります。

個人用 Photo Station を有効にするには、次のサービスを有効にしてください。

- ユーザーホームサービスを有効にします（[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ユーザー] > [ユーザーホーム] の順に選択します）。詳しくは、「ユーザーのホームフォルダを作成」を参照してください。
- Photo Station で個人用 Photo Station サービスを有効にします（[設定] > [全般] > [個人用 Photo Station]）。
- DSM で個人用 Photo Station を有効にします（[オプション] > [Photo Station] を選択します）。詳しくは、「個人オプションの操作」を参照してください。

Photo Station の機能

適切にインストールして設定したら、Photo Station で次の機能を使用することができます。これらの機能についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)をご覧ください。または Photo Station の右上にあるドロップダウンメニューから[\[ヘルプ\]](#)をクリックしてください。

ユーザー アカウントとグループの管理

DSM **administrators** または DSM ユーザーが Photo Station か個人用 Photo Station を有効にした場合、彼らが Photo Station の管理者になります。管理者は DSM ユーザーかうんとを Photo Station に統合するかどうかを決定したり、個々のユーザー アカウントを管理したりします。Photo Station のアカウント システムを選択するには、[設定] > [全般] > [ユーザー アカウント] を選択します。

アカウント システムを選択した後は、Photo Station の administrator は [設定] > [ユーザー アカウント] を選択してユーザー アカウントを作成、編集、削除できます。また、ユーザーは [設定] > [グループ] でグループに分けておくと管理しやすくなります。

アルバムおよびスマート アルバムの作成

アルバム

Administrators グループに属するユーザーは、さまざまな方法でアルバムを作成して写真をアップロードしたり、多様な機能でアルバムを管理したり、高品質なサムネイルでアップロードしたファイルを表示することで、写真を見やすくすることができます。右上にあるドロップダウンメニューから[\[ヘルプ\]](#)をクリックすると、詳しい情報が表示されます。

スマート アルバム

スマート アルバムは、条件に合った写真やビデオを自動的にグループする特別なアルバムです。スマート アルバムを作成するには、[スマート アルバム] を選択して [作成] をクリックします。

写真のタグ管理

写真に人、場所、全般などのタグを付けると、タグ付けしたアイテムを簡単に探したり、表示したり、編集したりすることができます。写真や動画にタグを付けるには、そのアイテムをクリックします。

既存のタグを管理するには、[設定] > [写真] を選択して、[タグの管理] をクリックします。

アルバムをカテゴリー別に整理する

関連するアルバムをグループ化して分類することができます。例えば、「旅行」というカテゴリーを作成すると、旅行に関連した写真のアルバムを集めておくことができます。左側のパネルで をクリックして新しいカテゴリーを作成し、そのカテゴリーに属するアルバムを選択して固定します。

ソーシャル ネットワークで共有

アルバムを参照する際、Photo Station からリンクを共有したり、写真をソーシャル ネットワーク アカウントにアップロードしたりできます。ソーシャルネットワーク関連の設定を管理するには、[設定] > [全般] を選択します。

異なるモードで写真と動画を参照する

[アルバム] を選択し、表示コントロール アイコンをクリックして表示モードを切り換えて、アルバムを保存する方法を変更します。例えば、タイムライン モードのとき、直感的な操作ができるタイムラインをスクロールすると限られた時間枠で写真や動画を簡単に見つけ出すことができます。

顔識別を行う

顔識別機能を有効にすると、Photo Station に顔を検出させて自動的に識別できるだけでなく、自分自身で手動で顔を識別することもできます。このオプションを有効にしなければ、Photo Station で自動顔識別を設定することはできません。この機能を有効にするには、[設定] > [フォト] > [顔識別] の順に選択します。

ブログを使う

Photo Station の管理者は、サインインして、個人ブログの有効化、管理、バックアップを行うことができます。さらに、設定とレイアウトを調整して、ブログスペースをカスタマイズすることも可能です。

ブログに記事を書き込むには、[設定] > [ブログ] を選択してブログ機能を有効にしておく必要があります。ブログを管理するには、[ブログ] を選択してください。

Audio Station で音楽を再生

Audio Station は、ユーザーが自分の Synology NAS の音楽ライブラリにアクセスしたり、LAN 上のオーディオソースを選択したり、お気に入りの音楽をプレイリストに追加したりできるウェブベースのアプリケーションです。DLNA 認定のデジタル メディア サーバーで曲を検索、再生したり、インターネットラジオを聴いたりできます。

Audio Station は、Synology NAS に接続されている USB または Bluetooth スピーカーから、またはコンピュータ、DLNA 認定のデジタル メディア プレーヤー、iOS/Android 装置、Windows Phone、AirPlay 対応デバイス¹、または Synology Remote (別売り) のオーディオドックに接続されている外部スピーカーや家庭用ステレオ機器で歌詞を表示しながら音楽を再生できます。

DS audio は Apple の App Store または Android Market、Windows Marketplace でダウンロードして、Audio Station の音楽を iOS および Android デバイス、または Windows Phone を使用して再生することができます。DS audio の詳細は、「第 22 章：モバイルデバイスで通信」を参照してください。

ここでは Audio Station の機能について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

Audio Station をインストール

メインメニュー > **[パッケージセンター]** を選択し、Audio Station をインストールします。Audio Station をインストールしたら、自動的に「music」共有フォルダが作成され、Audio Station で共有したい音楽を保存することができます。



¹ AirPlay は特定のモデルのみに対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

Audio Station の管理

Audio Station を使って音楽を聴いたり、ユーザーが音楽を聴けるように許可するには、**administrators** グループに属するユーザーは次のことを行ってください。

- **個人の音楽ライブラリを有効にする**：個人のライブラリを有効にすると、Synology NAS ユーザーは自分の個人の音楽ライブラリを持つことができます。ユーザーの個人のライブラリが有効になると、自分の音楽、または共有した音楽と自分の音楽の両方を参照し、再生することができます。個人の音楽ライブラリを有効にするには、[設定] > [個人のライブラリ] をクリックします。
- **オプションの設定を有効にする**：関連設定を有効にすると、Synology NAS ユーザーは音楽をダウンロードしたり、高音質音楽を楽しんだり、診断ログを記録したり、**Media Server** にリストされる DLNA デバイスにアクセスできるユーザーを制限したりすることができます。
- **アクセス権限の設定**：ユーザーは、**administrators** グループに属するユーザーが権利を与えた場合に限り、次の機能にアクセスできます。特権を割り当てるには、[設定] > [特権] をクリックしてください。
 - **USB/DLNA レンダラー**：USB デバイスや DLNA レンダラーを介して音楽を聴くことができます。
 - **DLNA 参照**：メディアサーバーのコンテンツを再生できます。
 - **プレイリストの管理**：共有プレイリストを編集したり、追加したりすることができます。
 - **音楽編集タグ**：この権限を持つユーザーは、音楽情報を編集できます。
- **歌詞プラグインの管理**：**Administrators** グループに属するユーザーが Audio Station に追加した歌詞プラグインを有効にしたときは、インターネットから歌詞を検索することができます。歌詞プラグインを有効にするには、[設定] > [歌詞プラグイン] をクリックしてください。
- **トランスクーダーの管理¹**：Audio Station がストリーミングモードで他のオーディオフォーマットもサポートできるように、トランスクーダーの管理を行うことができます。トランスクーダーを管理するには、[設定] > [トランスクーダー] をクリックしてください。

Audio Station の機能

Audio Station を適切にインストールして設定すると、次の機能を使用できるようになります。これらの機能や他の機能については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

オーディオソースの選択

左側のパネルからオーディオ ソースを選択し、Audio Station やミニプレーヤーでそのコンテンツを再生することができます。

- **ライブラリ**：ライブラリには「music」共有フォルダ内の音楽、または Synology NAS のインデックス付きフォルダの音楽が含まれています。これらは Audio Station のメインエリアにカテゴリ別に表示されます。
- **プレイリスト**：音楽をプレイリストに入れてカテゴリ別に整理すると、お気に入りの曲に簡単にアクセスできるようになります。プレイリストのタイプには、次の 3 つがあります。パーソナル プレイリスト（プレイリストを作成した Synology NAS ユーザーがアクセスできます）、共有プレイリスト（Audio Station にアクセスできる Synology NAS ユーザー全員が使用できます）、スマート プレイリスト（特定のルールに基づいて特別に選択した曲が保管されています）。スマートプレイリストを編集するには、[メインメニュー] > [iTunes Server] を選択します。
- **インターネットラジオ**：Audio Station には、SHOUTCast (TM) および RadioIO が提供するインターネットラジオ局のリストが用意されています。自分のラジオ リストを作成したり、ラジオ局をすぐに選択できるようにお気に入りに追加したりしてください。[インターネットラジオ] > [作成] を選択して、新しいラジオ局を作成します。またはラジオ局を右クリックしてあらかじめ定義したリストに追加します。

¹ トランスクーダーオプションは、特定のモードでしか使用できません。

- **メディアサーバー** : Audio Station は、DLNA 認定デジタル メディア サーバーまたは LAN 上のその他の Synology NAS のメディアコンテンツを表示および再生できます。[メディア サーバー] をクリックすると、ローカル エリア ネットワークのメディア サーバーと Synology NAS がリストされます。

参照中の表示を変える

コントロールバーの右側にある 3 つのボタンを使って、音楽やメディア コンテンツを 3 つのビューでブラウズすることができます。リスト、アートワーク、再生キーです。

音楽情報の編集

音楽ファイルと歌詞の情報を見たり、編集したりすることができます。音楽情報または歌詞を見たり、編集したりするには、音楽ファイルを右クリックして [曲の情報] を選択します。

出力デバイスの選択

コントロールバーの [マイコンピュータ]/[USB スピーカー]/[メディア レンダラー名]（音楽のストリーミング先となったデバイス）ドロップダウン メニューから使用したいデバイスを選択します。次に、デバイスに音楽を追加すると別のデバイスで音楽を再生することができます。出力デバイスには、次のようなものがあります。

- **マイ コンピュータ** : コンピュータに音楽をストリームして、コンピュータのスピーカーを使って再生します。
- **USB スピーカー** : Synology NAS の USB ポートに接続されている USB スピーカーから、または Synology Remote (別売り) の audio dock に接続された外部スピーカーや家庭用ステレオ装置から音楽を再生します。
- **メディアレンダラー** : LAN 上のデジタル メディア プレーヤー (DMR) や AirPlay¹ 対応デバイス、Bluetooth スピーカーで音楽を再生します。デバイスが検出されると、その名前がドロップダウン メニューに表示されます (Apple TV、Sonos など)。Bluetooth デバイスを Synology NAS に接続するには、「Bluetooth デバイスの管理」を参照してください。

¹ AirPlay は特定のモデルのみに対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

Video Station を使用したビデオの整理と TV 番組の録画

Video Station は、ムービー、TV 番組、ホーム ビデオ、TV 録画などのコレクションを整理するためのオーガナイザーです。ビデオをコンピュータ、DLNA/UPnP 対応 DMA、AirPlay デバイス¹、iOS/Android デバイス、Windows Phone などで見ることができます。システムの既定のビデオ ライブラリとは別に、カスタム ライブラリを作成してその両方にアクセス権を与えることができます。また、Synology NAS に繋いだ DVB-T、DVB-S/DVB-S2 規格の USB DTV ハードウェア キー、または DVB-T 規格の **HDHomeRun**（別売り）を使って、デジタル TV 番組をライブストリームしたり、録画したりすることもできます。あるいは、インターネットから自動的に取得したメタデータを見たり、編集したり、自分でウォッチリストやお気に入りコレクションリストを作成したりすることも可能です。

DS video は Apple の App Store または Android Market、Windows Marketplace からダウンロードして、Video Station の動画を iOS デバイスや Android デバイス、または Windows Phone を使用して再生することができます。DS video の詳細は、「第 22 章：モバイルデバイスで通信」を参照してください。

ここでは Video Station の機能について説明します。詳しい手順については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

Video Station のインストール

[メイン メニュー] > [パッケージ センター] を選択し、Video Station をインストールします。



¹ AirPlay は特定のモデルのみに対応しています。詳細は、www.synology.com をご覧ください。

はじめる前に

Administrators グループに属するユーザーは、非管理者ユーザーが Video Station で動画を見たり、ライブ TV 番組をストリームしたりできるようにする前に、次のことを行ってください。

- Video Station でファイルを管理する前に、ビデオを保管しておくためのデフォルトのライブラリ（ムービー、TV 番組、ホーム ビデオを含む）、TV 録画、カスタム ライブラリ（任意）のビデオ フォルダを作成します。ビデオ フォルダを作成するには、[設定] > [ライブラリ]（ムービー/TV 番組/ホームビデオ用）または [DTV]（TV 録画用）をクリックしてください。
- USB DTV ハードウェアキー¹ を Synology NAS に繋ぐと、Video Station のストリーミング機能を使ってデジタル TV 番組を録画したり、デジタル TV 放送を生で見たりすることができます。
- [設定] > [権限] でユーザーが DTV および AirPlay/DLNA ストリーミング機能を使用できるように権限を与えます。

その他の情報

ビデオ ファイルに名前を付ける上でのヒント：

ビデオを相当するフォルダに保管する際は、タイプ別に保管することはもちろん、ビデオ ファイルの種類に応じて分かりやすい名前を付けるようお薦めします。このようにしておくと、ファイルに正しくインデックスを付けたり、メタデータをインターネットから正確に取得することが可能となり、ビデオ情報が更新しやすくなります。ムービーや TV のエピソードに名前を付ける際のガイドラインを紹介します。

- **ムービー** - 次のフォーマットに従ってください。**ムービー名 (公開年) .ext**。例えば、アバターは 2009 年に公開されましたので、フォーマットに従い、推奨される名前は「Avatar 2009.avi」となります。
- **TV 番組** - 次のフォーマットに従ってください。**TV 番組名 .SXX.EYY.ext**。例えば、ゴシップガールのシーズン 3 からエピソード 4 をコンパイルする場合、推奨される名前は「Gossip Girl.S03.E04.avi」となります。

Video Station の機能

適切にインストールして設定したら、Video Station で次の機能を使用することができます。これらの機能や他の機能については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

ビデオを分類する

Administrators グループに属するユーザーは、ビデオ コレクションをムービー、TV 番組、ホーム ビデオ、TV 録画などに分類して Video Station の左側パネルに表示することができます。すべてのカテゴリーについて、Video Station はムービー、TV 番組、ホーム ビデオ用にデフォルトのライブラリを提供します。ビデオは、カスタム ライブラリにアクセスできる DSM の administrator がカスタマイズしたライブラリにも保管できます。各カテゴリーのビデオを分類別に参照したり、ビデオをお気に入りやウォッチリスト、カスタム コレクションに追加すると、簡単にアクセスすることができます。

ビデオ メタデータの管理

対応するビデオ フォルダにビデオ ファイルを保存するまでは、インターネットからビデオのメタデータやポスター画像が自動的に収集されます。ただし、ユーザー自身で最初から編集しなければならないメタデータを持つホーム ビデオについては、これは適用されません。**Administrators** グループに属するユーザーは、ビデオ情報を編集、修正することができます。管理者以外のユーザーは、ビデオやメディア情報を見ることしかできません。

¹ サポートされる DTV ハードウェア キーのリストは、[Synology ウェブサイト](#)をご覧ください。

TV 番組の録画

Administrators グループに属するユーザーは、録画予約を設定してデジタル TV 番組を録画することができます。管理者以外のユーザーは、録画した番組を観ることしかできません。

TV 番組のライブストリーム

DTV 機能を操作できるユーザーは、ライブでストリームするデジタル TV 番組を選択できます。管理者以外のユーザーは、Video Station が提供するストリーミング機能でストリームされた番組を観ることしかできません。チャンネルをスキャンしたら、Video Station に内蔵されたビデオ プレーヤーで番組をストリームすることができます。

ビデオの再生

Video Station には、Synology NAS へのインストールが完了すると、ビデオを再生できるプレーヤーが内蔵されています。ローカル コンピュータはもちろん、マルチメディア コンテンツを DLNA/UPnP 対応 DMA や AirPlay 対応デバイスにストリームすることもできます。

画質を向上し、コード変換速度を高めるために、[VLC media player \(Windows, Linux\)](#) をローカル コンピュータにインストールすることをお勧めします。

Download Station でファイルをダウンロード

Download Station は、BT、FTP、HTTP、NZB、Thunder、FlashGet、QQDL、eMule、Xunlei-Lixian でインターネットからファイルをダウンロードしたり、RSS フィードを購読して話題の最新 BT を知ることができるダウンロード アプリケーションです。ファイルをダウンロードすると、圧縮ファイルを Synology NAS に自動解凍する機能を使用できます。

Download Station を活用すると、ファイルをホストしている複数のサイトからファイルをダウンロードしたり、BT 検索機能を使ってその検索エンジンや自分で追加したエンジンで torrent ファイルを検索したりすることができます。

iOS/Android デバイスを使って Apple の App Store や Android Market から DS download をダウンロードして、Download Station でダウンロード ファイルを管理することができます。DS download の詳細は、「第 22 章：モバイルデバイスで通信」を参照してください。

ここでは Download Station の機能について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

Download Station のインストール

[メイン メニュー] > [パッケージ センター] を選択し、Download Station をインストールします。

The screenshot shows the Synology DSM Control Panel with the 'Download Station' application selected. The main window displays a list of download tasks. The columns include File name, File size, Progress, Status, and User name. Tasks shown include various奥运相关文件如London 2012 Olympics XBOX360 和 Spain - USA 24.07.12.mkv. On the left sidebar, there are filters for Downloading, Completed, Active, Inactive, and Stopped tasks. Below the sidebar are sections for BT Search (Search Results) and RSS (RSS Feeds). At the bottom, there are tabs for General, Tracker, Peers, and File, along with a Status bar showing download/upload speeds and file counts.

重要: Download Station を使用する場合には、適用される法律および規定のすべてに従わなければなりません。著作権保護されたファイルやソフトウェアは、**絶対に**ダウンロードしたり、共有したりしないでください。

Download Station の機能

Download Station を適切にインストールして設定できたら、次の機能を使用することができます。これらの機能や他の機能については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

自動展開機能の管理

自動解凍機能は、ダウンロードしたアーカイブを自動的に指定した場所に解凍することにより、ダウンロードタスクを最適化します。必要であれば、圧縮したファイルを自動解凍するためにパスワードを設定することができます。

検索欄の **[設定]** (ツールアイコン) をクリックした後、左側にある **[自動解凍]** タブをクリックして自動解凍の設定を管理してください。

BT/HTTP/FTP/NZB のセットアップ

Download Station を使ってファイルをダウンロードすることにより、ダウンロードリンクが使用しているプロトコルが自動的に検出され、ダウンロードが開始されます。

Download Station で **[BT/HTTP/FTP/NZB]** タブをクリックして、BT/HTTP/FTP/NZB プロトコルを使ってファイルをダウンロードします。次に検索欄の横にある **[設定]** (ツールアイコン) をクリックして次の BT/HTTP/FTP/NZB 設定を管理してください。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

- **全般** : ダウンロード予定、優先順位、通知などを設定します。
- **位置** : ダウンロード先のフォルダや torrent/NZB 鑑賞済みフォルダを指定します。
- **ファイルホスティング** : ユーザーがファイルやマルチメディアコンテンツをアップロードして、他のユーザーと共有できる、オンラインファイルホスティングサイトやメディア共有サイトを管理してください。
- **BT** : BT ファイルをダウンロードするための設定を編集します。
- **BT 検索** : BT 検索機能を使って、デフォルトの BT 検索エンジンリストで torrent ファイルを検索します。
- **FTP/HTTP** : 1 台の FTP サーバーへの同時接続数を設定したり、各 FTP タスクの最大ダウンロード速度を制限することができます。
- **NZB** : 新規サーバーを設定して NZB ファイルをダウンロードします。
- **RSS** : RSS ダウンロードタスクの更新間隔を 24 時間から好きな時間へ短縮します。

用語説明

BitTorrent って何?

BitTorrent (BT) とは、インターネット上でデータを配布するために使用するピア・トゥ・ピアのファイル共有プロトコルです。これは膨大なファイルを転送するのに最も広く使われているプロトコルの 1 つです。1 個または複数のファイルを共有するには、メタデータが含まれた小さいファイルと元のファイル（「torrent」と呼びます）のトラッカーが作成されます。ユーザーは「torrent」ファイルをダウンロードして特定のソフトウェアで開き、他のユーザーに繋いでファイルのダウンロードを開始することができます。

NZB って何?

NZB とは、Usenet サーバーからファイルをダウンロードするための XML ベースのファイル形式のことです。このファイルには、ニュースリーダーがダウンロードを開始するために使用する情報が含まれています。Usenet のファイルをダウンロードするには、ニュースグループに加入しておく必要があります。

BT/HTTP/FTP/NZB ダウンロードタスクの作成

次の方法で BT/HTTP/FTP/NZB ダウンロードタスクを作成できます。

- **ファイルをアップロードして作成**：次のようなファイルをローカルコンピュータから Download Station にアップロードすることができます。
 - Torrent ファイル (.torrent) には、BT ネットワークを介して共有されているダウンロード ファイルの情報が含まれています。
 - NZB ファイル (.nzb) には、ニュースサーバーから取得する投稿情報が含まれます。
 - URL ファイル (.txt) には、リンクファイルをダウンロードするための HTTP/FTP URL のリストが含まれます。
- **URL 入力による作成**：URL を入力してダウンロードタスクを作成できます。[追加] をクリックします。開いた画面に、ダウンロードするファイルの URL を入力してください。
- **BT 検索から作成する**：BT 検索エンジンで torrent ファイルを検索すると、お気に入りのダウンロードをより簡単に見つけることができます。BT 検索でダウンロードタスクを作成するには、BT/HTTP/FTP/NZB の上隅にある検索欄にキーワードを入力します。

RSS フィードのダウンロードタスクを作成する

Download Station を使って、Web ページの代わりに、お気に入りのオーディオ放送などファイルにリンクされた RSS フィードをダウンロードすることができます。

その他の情報

RSS とは？

RSS (Really Simple Syndication、RSS フィードとも呼ばれる) は、Web ブラウジングの代替方法です。Web パブリッシャは、ブログのエントリ、ニュースヘッドライン、ポッドキャスト、フォトアルバム、オーディオ/ビデオクリップなど、頻繁に更新する作品の発行に、しばしば RSS フィードを使用します。

Download Station はどのような RSS フィードでもダウンロードできますか？

BT 検索エンジンのウェブサイト上の RSS ファイルや iTunes ポッドキャストは、一般的に Download Station でサポートされています。

RSS ファイルのダウンロードリンクには、実際のファイルではなく、ウェブページのリンクが含まれる場合があります。このような RSS ファイルには対応していません。これらの RSS フィードを表示および更新するには、RSS リーダー (Google リーダーなど) を代わりに使用できます。

BT/HTTP/FTP/NZB ダウンロードタスクの管理

左側のパネルで次のボタンをクリックして作成したばかりのダウンロードタスクを確認し、ダウンロードキーの上にあるボタンや、キーの下のタブを使ってタスクを管理することができます。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

- **すべてダウンロード** はすべてのダウンロードタスクをリストします。
- **ダウンロード中** は現在ダウンロード中のダウンロードタスクをリストします。
- **完了** はダウンロードが完了したダウンロードタスクをリストします。
- **アクティブなダウンロード数** は現在ダウンロード中またはシード中のダウンロードタスクをリストします。
- **非アクティブなダウンロード数** はエラー、待機、または一時停止されたダウンロードタスクをリストします。
- **停止しました** は一時停止されたダウンロードタスクをリストします。

eMule の設定

eMule のダウンロードはデフォルトでは有効になっていません。設定を行うには、eMule を有効にする必要があります。eMule を有効にするには、Download Station の検索欄の横の [設定] (ツールアイコン) をクリックして、左側のパネルで [Download Station] > [全般] を選択します。

Download Station の左下隅にある [eMule] タブをクリックし、Download Station の上にある検索フィールドの隣のツール アイコンをクリックして、以下の eMule の設定を管理します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

- **全般** : ED2K サーバーの設定、通知、プロトコルの難読化を管理します。
- **位置** : eMule のデフォルトの出力先フォルダを設定し、ED2K ネットワークでファイルを共有します。
- **接続** : eMule ダウンロードの接続を設定します。
- **帯域** : ダウンロードとアップロード帯域を制限するために、アップロードおよびダウンロード率とダウンロード予定を設定します。

用語説明

eMule とは?

eMule は、eD2k ネットワークと Kad ネットワークに接続するピアツーピアのファイル共有アプリケーションです。通常転送速度は遅いものの、eMule は非常にユーザー ベースが大きく、ファイル共有ベースについてはさらに大きいため、珍しいコンテンツを探すのに非常に優れています。

eMule ダウンロードタスクを作成する

次の方法で eMule ダウンロードタスクを作成できます。

- **ファイルをアップロードして作成** : ED2K リンクが含まれるテキストファイル (.txt) をローカルコンピュータから Download Station にアップロードします。ファイルをアップロードしてダウンロードタスクを作成するには、左側のパネルで [ダウンロードキュー] をクリックします。[作成] ボタンをクリックした後、[ファイルを開く] をクリックすると、アップロードするテキストファイルを参照できます。
- **URL 入力による作成** : URL を入力してダウンロードタスクを作成するには、[作成] をクリックします。表示されるウィンドウで [URL を入力] を選んで、ダウンロードするファイルの URL を入力します。
- **eMule 検索による作成** : 左パネルの [検索] をクリックして探しているファイルを検索してダウンロードします。ダウンロードタスクを作成するには、以下のような方法があります。
 - **一般検索** : eMule の左上隅にある検索フィールドにキーワードを入力し、ファイルの種類と検索方法を選択します。
 - **詳細検索** : [検索開始]/[検索停止] ボタンの右にある下矢印をクリックします。

eMule ダウンロードタスクの管理

左側のパネルで [ダウンロードキュー] をクリックして作成したばかりのダウンロードタスクを管理したり、[アップロード中] をクリックして他の eMule クライアントにアップロードしている共有ファイルを管理したりすることができます。

Xunlei-Lixian の設定

Xunlei-Lixian のダウンロードはデフォルトでは有効になっていません。Xunlei-Lixian をご使用になる前に、[パッケージセンター](#)から Python パッケージをインストールしてください。Xunlei-Lixian を有効にするには、Download Station の検索欄の横の [設定] (ツールアイコン) をクリックして、左側のパネルで [Download Station] > [全般] を選択します。

Download Station の一番下にある [Xunlei-Lixian] タブをクリックすると、Xunlei-Lixian のダウンロード タスクを管理することができます。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

用語説明

Xunlei-Lixian とは？

Xunlei-Lixian は Xunlei 社により提供されるネットワーク ダウンロード機能であり、そのサービスを使って登録ユーザーはネットワーク リソースをダウンロードできます。Xunlei のリモート サービスからローカルストレージにファイルをダウンロードすることができます。サービスを使用するには、Xunlei-Lixian アカウントを取得する必要があります。

Xunlei-Lixian のダウンロードタスクを作成する

次の方法で Xunlei-Lixian のダウンロードタスクを作成できます。

- **ファイルをアップロードして作成** : http、ftp、ed2k、thunder、magnet リンクが含まれるテキストファイル (.txt) をローカルコンピュータから Download Station にアップロードします。ファイルをアップロードしてダウンロードタスクを作成するには、**[作成]** ボタンをクリックし、**[ファイルを開く]** を選択します。次に、ボタンをクリックしてアップロードするテキスト ファイルを参照します。
- **URL 入力による作成** : URL を入力してダウンロードタスクを作成するには、**[作成]** をクリックします。表示されるウィンドウで **[URL を入力]** を選んで、ダウンロードするファイルの URL を入力します。

Xunlei-Lixian のダウンロードタスクを管理する

左側のパネルで次のボタンをクリックして作成したばかりのダウンロードタスクを確認し、ダウンロードキューの上にあるボタンや、キューの下のタブを使ってタスクを管理することができます。詳しい手順については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

- **すべてダウンロード** はすべてのダウンロードタスクをリストします。
- **ダウンロード中** は現在ダウンロード中のダウンロードタスクをリストします。
- **完了** はダウンロードが完了したダウンロードタスクをリストします。
- **期限切れ** はダウンロード期限が切れたダウンロードタスクをリストします。
- **削除済み** は削除されたダウンロードタスクをリストします。

Surveillance Station で環境を守る

Surveillance Station は DiskStation Manager (DSM) にバンドルされた、プロフェッショナルな NVR (Network Video Recording) ソフトウェアです。Synology NAS とペア化された IP カメラからビデオ フッテージを遠隔地から録画したり、監視したり、ライブ ビュー ビデオを見たり、録画予約を設定したり、ウェブブラウザまたはモバイル デバイスで遠隔地から録画ファイルを再生したりすることができますので、自宅やオフィスの環境を安全に監視することができます。

この章では、Surveillance Station のインストール、IP カメラの管理、ライブビュービデオの表示と記録、予約録画の設定、録画ファイルの再生、さらに Surveillance Station が提供するその他の高度な機能の使い方について説明します。詳しくは、Surveillance Station [ヘルプ](#) を参照してください。

Apple の App Store または Android Market から DS cam をダウンロードして、iOS/Android デバイスを使って IP カメラをライブビューしたり、Surveillance Station から録画イベントを再生したりすることができます。DS cam の詳細は、「第 22 章：モバイルデバイスで通信」を参照してください。

Surveillance Station のインストール

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、Surveillance Station をインストールします。さらに、**surveillance** 共有フォルダが自動的に作成され、Surveillance Station のデータが保存されます。この共有フォルダは読み取り専用で、**administrators** グループに属しているユーザーしかアクセスできません。

Preview	Name	IP address	Status	Occupied
	Warehouse1	192.168.31.39	Normal	50 (GB)
	Warehouse2	192.168.31.38	Normal	50 (GB)
	1F_Pantry	192.168.31.40	Normal	10 (GB)
	Fisheye	192.168.20.50	Normal	10 (GB)

Surveillance Station の設定の管理

[管理] タブをクリックして次の Surveillance Station 設定を構成してください。

中央管理システムを使う

集中管理システム (CMS) によって、ホストサーバーでカメラのライブビューや、ペア化した記録サーバーの記録を見たりすることができます。中央管理システムを設定すると、1台のサーバーから大型の Surveillance ネットワークを効率よく管理できるようになります。中央管理システムを有効にして Synology NAS をホストサーバーまたは記録サーバーとして設定するには、[サービス] ページを開いてください。

CMS ホストを設定すると、[サーバー] ページを開いて記録サーバーを追加したり、CMS サービスで管理したりすることができます。

カメラの追加と編集

[管理] で [IP カメラ] > [リスト] に進み、カメラの追加と編集、予約録画の設定、詳細設定を行います。

カメラ グループの作成

複数のカメラを簡単に展開できるように、カメラ グループに整理するには、[IP カメラ] > [グループ] を選択します。

カメラのマイグレート

中央管理システムを設定すると、[IP カメラ] > [マイグレーション] を選択して、カメラを別のサーバーから 1 つのサーバーに移動させるマイグレーションを開始することができます。

注: Administrators グループに属するユーザー以外には、特権設定により制限されたアクセスしか与えられない場合があります。この点についての詳細は「ユーザーに権利を割り当てる」をご覧になるか、管理者にお尋ねください。

録画の再生と管理

[管理] で、[録画] > [リスト] を選択すると、すべての録画を参照したり、録画プレーヤーで再生したり、ビデオファイルを削除、ロック、フィルタ化、ダウンロードしたりすることができます。

注: アラーム録画を使用するには、アラーム録画をサポートする IP カメラが必要です。アラーム録画は、IP カメラのデジタル入出力ピンまたは DIDO と連動します。ピン構成の詳細はデータシートを参照してください。アラーム録画は、IP カメラが入力ピンの起動を検知すると開始します。

録画をエクスポート

[管理] から [録画] > [エクスポート] の順に選択し、USB や eSATA インターフェイスを介して記録を共有フォルダや外部ストレージにエクスポートします。

録画をマウントする

[管理] から [録画] > [マウント] の順に選択し、エクスポートした録画をマウントします。エクスポートしたアーカイブを Surveillance Station にマウントしてください。マウントしたアーカイブの録画は、[録画] ページと [タイムライン] ページで再生できます。

E-Map の使用

E-map はカメラの場所を示すマップを作成する方法の 1 つです。e-map を追加、編集、削除するには、[管理] で [E-Map] を選択します。e-map を作成した後は、[ライブビュー] で [構成] をクリックし、ライブビューレイアウトに e-map を割り当てることができます。

通知設定の管理

[管理] の [通知] ページを開くと、重要なイベントが発生したときに、Surveillance Station に電子メール、SMS、モバイルデバイス、またはインスタントメッセージングプログラムを介して通知メッセージを送信させることができます。どのようなイベントで通知を受けるかは、[設定] タブの [サービス] で通知サービス設定を行うことで決定できます。

VisualStation と Synology NAS のペアリング

VisualStation は、Synology NAS とペア化してライブビューや再生を行うための Synology 製品です。常時コンピュータを起動していない場合でも、VisualStation に接続したディスプレイとペア化した Synology NAS で Surveillance Station にアクセスすることができます。[VisualStation] ページで VisualStations と Synology NAS をペア化してください。

VisualStation についての詳細は、*Synology VisualStation ユーザーガイド* を参照してください（www.synology.com からダウンロードできます）。

ユーザーに権利を割り当てる

[管理] から [ユーザー] を選択し、DSM ローカルユーザーを作成して権利プロファイルを適用します。

カメラライセンスのインストール

[管理] から [ライセンス] ページを開き、カメラライセンスを管理します。デフォルトのライセンスがある場合、Synology NAS は LAN 内のカメラを 1 台管理することができます。Synology カメラライセンスパックをご購入いただきますと、ここにライセンスキーを追加して別のカメラも管理できるようになります。

ログを見る

[管理] から [ログ] を選択し、カメラが取り外された、またはカメラの設定が変更されたなど、重要なイベントのログ記録を見たり、管理したりすることができます。

ライブビューを見る

ライブビューページでは、PTZ（パン/チルト/ズーム）、e-map、手動録画、ビデオ分析、分析履歴を使って最大 49 本のチャンネルのライブフィードを見たり、写真を撮影したり、カメラの角度を調整したりすることができます。チャンネルのレイアウトは、目的と用途に応じて自由にカスタマイズできます。

ライブビューアンalysisは、ライブ映像を見ながら、あるいは録画しながら、ターゲットを追跡できます。いくつかの分析タイプの中から IP カメラ用にタイプを選択しておくと、疑わしいイベントが発生したときに賢く追跡し、即座にスマート録画を開始します。録画したセッションはすべて、分析できるように整理された状態でアーカイブされます。シミュレーションモードでは各カメラが最高の結果を出せるように、感度、検出ゾーン、オブジェクトサイズを調整して正確な調整を行なうことができます。

詳しくは、Surveillance Station ヘルプを参照してください。

レイアウトの設定

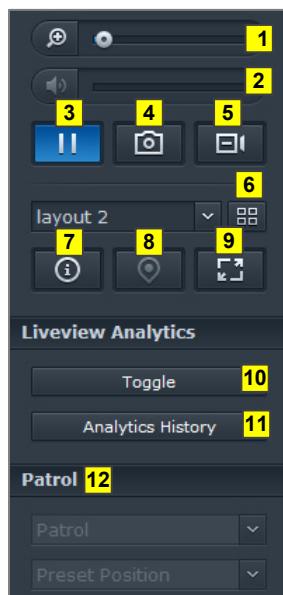
Administrators グループに属する DSM ユーザーと、マネージャ権限を持つユーザーは、レイアウト設定を変更できます。カメラのライブビューのレイアウトをカスタマイズして、e-map を特定のレイアウトに適用するには、[構成] ボタンをクリックします。

PTZ コントロールの使用

カメラに PTZ（パン/チルト/ズーム）機能が付いている場合は、カメラを選択してから**コントローラー**パネルを使用してカメラの向きを調整します。ホームボタンをクリックすると、カメラが元の位置に戻ります。部分的に PTZ に対応しているカメラを選択した場合は、サポートされていない機能は**コントローラー**パネルで灰色に表示されます。

その他の機能の使用

ライブビューページでは、以下の機能を実行できます。



- 1 デジタル処理で表示を拡縮するには、ズームバーをドラッグするか、または選択したカメラのライブビューの上にマウスを置いてマウスをスクロールします。マウスのスクロールボタンを使ってデジタルズーム（拡大/縮小）を行い、写真をドラッグして移動します。
- 2 音量を調整するには、音量バーをドラッグします。
- 3 再生を一時停止、または再開するには、このボタンをクリックします。
- 4 表示している画像を保存するには、[スナップショット] をクリックします。
- 5 手動録画を開始するには、[手動録画] をクリックします。
- 6 レイアウト設定を行うには、[設定] をクリックします。
- 7 [情報を表示する] をクリックすると、各カメラのステータスをそれぞれのライブビューウィンドウの隅に表示します。
- 8 対応する E-Map を表示するには、[E-Map] をクリックします。
- 9 フルスクリーンモードでライブビューを見るには、[フルスクリーン] をクリックします。
- 10 [トグル] をクリックして、ライブビューしたいカメラでライブビュー分析を有効にします。

注 : [管理] タブから [カメラリスト] > [詳細設定] > [ライブビュー分析] で構成されたライブビュー分析設定を持つカメラのみ、ここで有効にすることができます。ライブビュー分析設定についての詳しい手順は、右上隅にある絵アイコンをクリックして [ヘルプ] をクリックします。

- 11 ライブビュー分析イベントを再生したり、頻度を見たりするには、[分析履歴] をクリックします。
- 12 対応するプリセットまたはパトロールを表示するには、[プリセット位置] または [パトロール] リストをクリックします。

注 : Internet Explorer 以外のブラウザは機能に制限があります。

タイムラインで作業をする

Surveillance Station ではタイムラインおよびカレンダーで実際の録画フッテージを探すことができます。カレンダーで日にちを選択すると、その日の録画が表示されます。またタイムラインでは色でラベル付けすることで、録画された動画を簡単に見分けることが可能です。

録画を再生するときには、スマート検索を活用すると疑わしいターゲットを絞り込むことができます。スマート検索は過去の録画を効果的に分析し、誤報を防止するためのインテリジェントな機能です。詳しくは、Surveillance Station [ヘルプ](#)を参照してください。

タイムラインを使って録画を再生する

[**タイムライン**] タブをクリックすると、1日に録画した、または別のカメラで同時に録画した記録を同時に再生可能な複数録画の再生機能を持つタイムラインページを表示します。すべての記録ビデオはタイムライン上に並べられます。その日の特定の時間または時間帯をクリックすると、目的の録画を容易に検索でき、このページの録画プレーヤーで再生できます。

スマート検索を使用して特定の出来事を検索する

タイムライン ページの左下隅にある検索アイコンをクリックすると、[スマート検索](#)モードに入ります。スマート検索を使用すると、全体的な動き、紛失物や異物などの特定状況の録画を検索することができます。監視を妨害しようとする人によってカメラレンズが塞がれたり、焦点が合わなくなったりした場合、スマート検索を使用すればそのような状況を見つけることもできます。

Synology High Availability によるノンストップサービス

High Availability とは、サーバーの故障によるサービスの中断を回避するために設計されたサーバー レイアウトソリューションです。2 台のサーバーで「high-availability」クラスタを構成する Synology High Availability では、1 台をアクティブサーバー、もう 1 台をスタンバイサーバーとして活用します。片方のサーバーが故障したときには、スタンバイサーバーがすべてのサービスを引き継ぎますのでサーバーのダウンタイムを最短に抑えることができます。

ここでは Synology High Availability の機能について説明します。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

Synology High Availability について

Synology High Availability を導入するには、2 台の Synology NAS で high-availability クラスタを構築する必要があります。1 台が「アクティブサーバー」、もう 1 台が「受動サーバー」となります。High-availability クラスタが作成されると、データはアクティブサーバーから受動サーバーへ継続的に複製されていきます。アクティブサーバー上のすべてファイルが、受動サーバーに複製されます。



アクティブサーバー

アクティブサーバーがすべてのサービスを管理します。アクティブサーバーでエラーが発生すると、自動または手動で受動サーバーにバトンタッチすることができます。このとき、アクティブサーバーが受動サーバーとなった時点で、すべてのサービスが受動サーバーに引き渡されます。

受動サーバー

正常な状態においては、受動サーバーがスタンバイ モードとなっています。アクティブ サーバー上のデータは受動サーバーに複製され続けます。アクティブ サーバーがサービスを提供できなくなると、自動または手動で受動サーバーにバトンタッチすることができます。

Synology High Availability のインストール

Synology High Availability をインストールするには、[メインメニュー] > [Package Center] の順に選択してください。

システム要件

Synology High Availability の導入には、アクティブ サーバーと受動サーバーとして作動する、2台の全く同じ Synology NAS が必要です¹。2台のサーバーを high-availability クラスタとして構成する前に、Synology High Availability ウィザードは次のハードウェアとソフトウェアの制限を確認して high-availability クラスタが構成可能かどうかを確認します。

システム要件

- Synology NAS**：アクティブ サーバーと受動サーバーはどちらも同じモデルであり、Synology High Availability に対応していなければなりません。
- DSM バージョン**：アクティブ サーバーと受動サーバーには同じバージョンの DSM をインストールする必要があります。
- パッケージバージョン**：2台の Synology NAS には同じバージョンの Synology High Availability をインストールする必要があります。

ボリュームとハードディスク

ディスクグループ、ボリューム、ハードディスクの管理については、次の説明をお読みください。

- ストレージボリューム**：データを複製するためには、受動サーバーのストレージ容量がアクティブ サーバーのそれと同じであるか、またはそれ以上でなければなりません。統一性を保つために、両方のサーバーのストレージ容量が完全に同等となるようにしてください。
- ディスクの数**：アクティブ サーバーと受動サーバーには、同じ数のハードディスクを装着してください。また、ハードディスクの番号付けと位置も、両方のサーバーでそれぞれ対応するようにしてください。
- SHR フォーマット未対応**：SHR フォーマットのボリュームはサポートされていません。アクティブ サーバーとなる Synology NAS に、SHR ボリュームがないことを確認してください。

ネットワーク環境

ネットワークの設定については、次の説明をお読みください。

- ネットワーク設定**：High-availability クラスタの両サーバーには、固定 IP アドレスが割り当てられていないかもしれません。Synology NAS が共に DHCP IP アドレスではなく、固定 IP アドレスで構成されていることを確認してください。さらに、両サーバーの IP アドレスにアクセス可能であり、同じサブネットに属していることを確認してください。そうでない場合は、受動サーバーに切替えたときにエラーが発生する場合があります。
- LAN ポートの数**：両方のサーバーは同じ数の LAN ポートを備えていなければなりません。Synology NAS に別のネットワーク カードインターフェイスがある場合は、これらのネットワーク カードも追加の LAN ポートとしてカウントされます。

¹ Synology High Availability は特定モデルにしかインストールできません。

- **PPPoE 未対応** : Synology High Availability は PPPoE をサポートしていません。High-availability クラスタを構築する前に、PPPoE がオフになっていることを確認してください。
- **Wi-Fi 未対応** : Synology High Availability は Wi-Fi をサポートしていません。High-availability クラスタを構築する前に、Wi-Fi がオフになっていることを確認してください。

ストレージマネージャの制限

High-availability クラスタが構成されると、ストレージマネージャーの一部のオプションが使用できなくなります。

オプション : 次のオプションは、high-availability クラスタが構築されても引き続き使用できます。

- ストレージスペースの拡張（例：ボリューム、ブロックレベルの iSCSI LUN、ディスク グループ、RAID グループなど）。
- ボリュームおよび iSCSI LUN の作成、削除、修復。
- iSCSI LUN（ファイル レベル）のサイズと位置の変更。
- iSCSI LUN ターゲットの変更。

使用できないオプション : high-availability クラスタがある場合は、次のオプションは使用できません。

- RAID タイプの変更。

Link Aggregation と VLAN

Link Aggregation

Heartbeat またはデータ接続で Link Aggregation を設定するには、high availability 構築ウィザードを起動する前に、[コントロール パネル] > [ネットワーク] > [ネットワーク インターフェイス] を選択して、2つの LAN ポートで Link Aggregation を設定してください。両方のサーバーで Link Aggregation の設定が同じになるようにしてください（例：Link Aggregation がアクティブサーバーのポート 1 と 2 で設定されている場合は、Link Aggregation は受動サーバーでもポート 1 と 2 で設定する必要があります）。

Link Aggregation のフェールオーバー機能は、Heartbeat 接続とデータ接続の両方で作動します。ただし、読み込みバランス機能はデータ接続でしか機能しません。

VLAN

データ接続に VLAN ID を割り当てるには、high-availability 構築ウィザードを実行する前に、[コントロール パネル] > [ネットワーク] > [ネットワーク インターフェイス] を選択します。両方のサーバーで VLAN 設定が同じになるようにしてください（例：アクティブサーバーの VLAN ID 1 で LAN 1 が設定されている場合は、受動サーバーの LAN 1 も VLAN 1 で設定しなければなりません）。

High-Availability クラスタの作成

上記の動作条件を確認し、Synology High Availability のインストールを確認したら、2台のサーバーを組み合わせて high-availability クラスタを構築することができます。[概要] > [HA クラスタの作成] を選択してください。すると、セットアップウィザードが high-availability クラスタの作成手順をガイドしてくれます。

その他の情報

Synology High Availability についての詳細は、[DSM ヘルプ](#)をご覧になるか、[Synology HA 白書](#)をご参照ください。

DNS Server でドメインネームサーバーを構築する

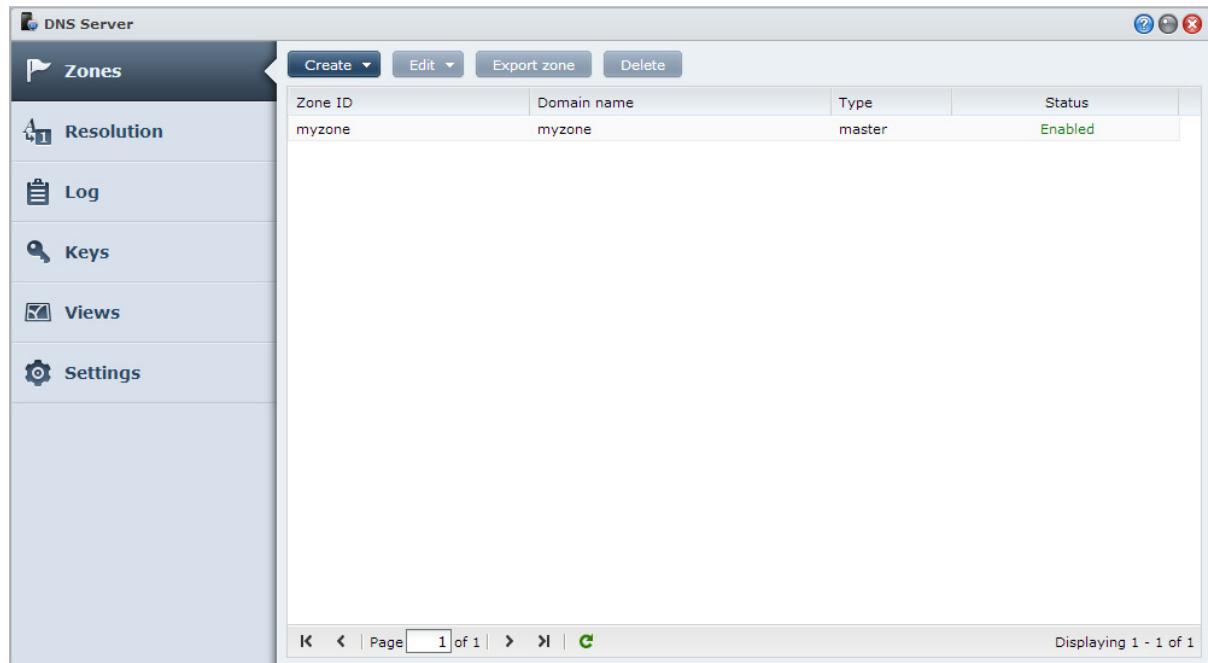
DNS (Domain Name System) は、インターネットやその他のネットワークを通じて、コンピュータ間でデータのやり取りをしやすくするための名前解決メカニズムです。その主な機能は、分かりやすいドメイン名（例：www.synology.com）を相当する固定のパブリック IP アドレス（例：120.89.71.100）に変換することです。この機能により、ユーザーはインターネットやローカルネットワークを介して、ウェブページやコンピュータ、その他のデバイスを簡単に見つけ出すことができます。

Synology DNS Server は Synology NAS をドメインネーム サーバーにすることで、複数のゾーンをホストしたり、名前や IP アドレス解決サービスを提供することができます。

ここでは、DNS Server の機能について説明します。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

DNS Server のインストール

DNS Server をインストールするには、[メインメニュー] > [パッケージセンター] の順に選択してください。



はじめる前に

DNS Server をご使用になる前に、次の注意をお読みください。

- **固定のパブリック IP アドレスを取得してください** : DNS Server を起動するためには、Synology NAS に固定 IP アドレスが必要です。
- **ドメイン名を登録してください** : 権威サーバー機能を設定するには、ドメインネーム プロバイダーにドメイン名を登録する必要があります。例えば、「example.com」というドメインを使用したい場合、ドメイン名を.com のドメイン プロバイダーに登録します。
- **ファイアウォールとポート転送設定を確認してください** : DNS サービスを利用するには、TCP と UDP ポート 53 を使用する必要があります。Synology NAS がファイアウォールを使用する場合、このポートが開かれていなければなりません。Synology NAS がルーターを介してインターネットに接続している場合、ポート転送ルールを設定し、TCP と UDP ポート 53 を開いてください。
- **デバイスを登録してください** : DNS Server を設定したら、Synology NAS の IP アドレスとその他の必要な情報をドメイン名プロバイダーに登録してください。そうしなければ、クライアントはインターネットを介して Synology NAS にクエリーすることができません。詳しくは、ドメイン名プロバイダーにお尋ねください。

DNS Server の機能

DNS Server を適切にインストールして設定できたら、次の機能を使用できるようになります。これらの機能や他の機能については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

ゾーン

このページでは、ゾーンを作成して編集することで、ドメイン名を管理するオプションを設定できます。ゾーンとはドメイン名領域の一部のこと、ドメインネーム サーバーが権威を持ち、完全な情報を維持している領域です。DNS Server で Synology NAS にゾーン ファイルを作成し、保存、管理してください。

ゾーンは 3 つのタイプに分けられます。Master ゾーン、Slave ゾーン、転送ゾーンです。Master ゾーンには、ゾーン ファイルの情報があります。Slave ゾーンは、master ゾーンからゾーン ファイルをコピーします（この処理を「ゾーン転送」と呼びます）。転送ゾーンは DNS クエリーを特定のフォワーダーに転送します。

解決

解決機能を有効にして、Synology NAS に再帰クエリーを解決させることができます。再帰クエリーは、要求されたドメインに対して Synology NAS が権威を持たない場合に発生します。この場合、Synology NAS は情報が見つかるまで、あるいはクエリーが失敗するまで、他のドメインネーム サーバーにクエリーし続けます。

例えば、クライアントが Synology NAS に「synology.com」というアドレスをクエリーしたが、Synology NAS がこのドメインに対して権威を持たない（synology.com を所有していないなど）場合、他のドメインネーム サーバーにクエリーしたり、指定したフォワーダー サーバーにリクエストを転送したりして、結果をクエリー送信者に返します。

キー

TSIG (Transfer Signature) キーは、マスター サーバーからゾーン ファイルを同期できるホストを制限します。このページには、現在 DNS Server が使用しているキーが表示されます。

ビュー

ドメインネーム サーバーは、ビューを導入することで、クライアント毎に異なる情報を表示することができます。この機能は、スプリット ホライズン DNS とも呼ばれ、DNS ゾーンの記録のセキュリティとプライバシー保護を向上させます。例えば、ドメイン名を 1 つ持っているが、内部ソースと外部のソースからのクエリーに対して異なる反応をさせたいとします。このような場合、リソース記録を分けて、異なるビューを作成することができます。

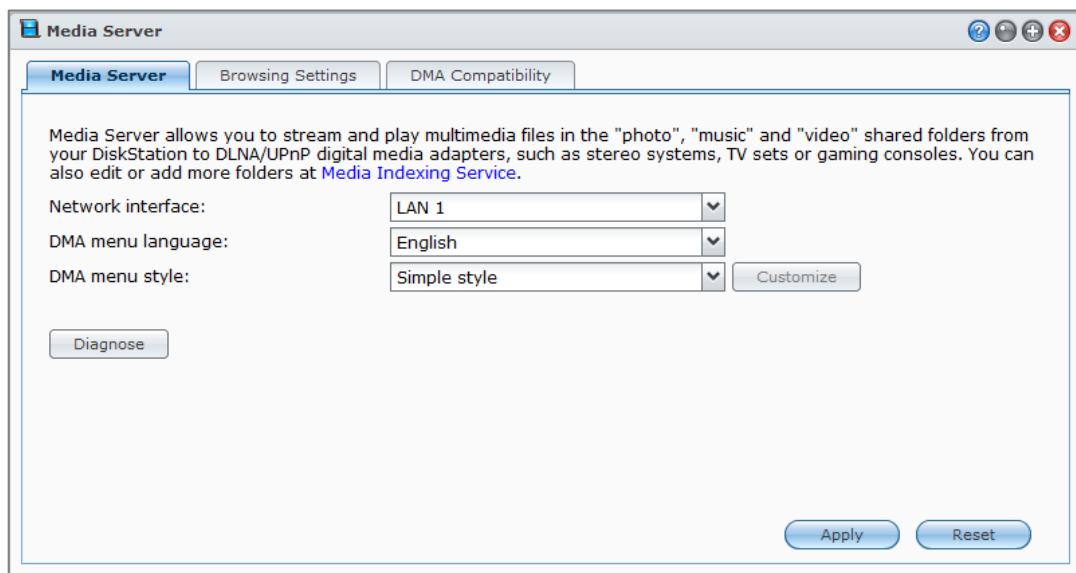
メディアサーバーと iTunes サービスの管理

Synology NAS を LAN 上でマルチメディアサーバーにして、コンピュータ（Windows Media Player または iTunes を使う）や DLNA/UPnP ホームデバイス（ステレオシステムや TV セット）でマルチメディアのコンテンツを再生することができます。

この章では、Synology NAS からマルチメディアコンテンツをコンピュータや他の DLNA/UPnP ホームデバイスにストリームする方法について説明します。詳しい手順については、**DSM ヘルプ**を参照してください。

DLNA メディアサーバーのインストール

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択し、メディアサーバーをインストールします。



DLNA メディアサーバーの管理

[メインメニュー] > [メディアサーバー] を選択し、DLNA/UPnP ホーム デバイス（**デジタル メディア アダプタ (DMA)** とも呼びます）を介して、Synology NAS 上でマルチメディア コンテンツを参照して再生します。メディアサーバーを利用することで、TV セットやステレオ システムなどの装置に簡単に接続し、Synology NAS に保管されているマルチメディア ファイルを装置にストリームして音楽やフォト、動画を楽しむことができます。メディア インデックス サービスで別のインデックス付きフォルダも共有できるように追加することができます。詳しくは、「インデックス フォルダの管理」を参照してください。

注 : DLNA/UPnP の DMA を有効にした Synology NAS で以下のマルチメディアファイルが再生できます¹。

- **オーディオ :** AAC、FLAC、M4A、MP3、Ogg Vorbis、PCM、WAV、WMA、WMA VBR、WMA PRO、WMA ロスレス
- **画像 :** BMP、JPG (jpe、jpeg) 、GIF、ICO、PNG、PSD、TIF (tiff)、UFO、RAW (arw、srf、sr2、dcr、k25、kdc、cr2、crw、nef、mrw、ptx、pef、raf、3fr、erf、mef、mos、orf、rw2、dng、x3f)
- **ビデオ :** 3GP、3G2、ASF、AVI、DAT、DivX、DVR-MS、ISO、M2T、M2TS、M4V、MKV、MP4、MPEG1、MPEG2、MPEG4、MTS、MOV、QT、SWF、TP、TRP、TS、VOB、WMV、XviD、RV30、RV40、AC3、AMR、WMA3、RMVB
- **プレイリスト :** M3U、WPL

インデックス フォルダの管理

デフォルトでは、photo、video、および music などの共有フォルダ内のメディア ファイルにはメディア インデックス機能によりインデックスが付けられています。DMA デバイス、および DSM のフォト、ビデオ、ミュージック アプリケーションを Synology NAS 上のファイルにアクセスさせるには、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [メディアインデックスサービス] > [インデックス付きフォルダ] を選択して、他のインデックス付きフォルダを追加してください。

DMA デバイスでマルチメディアコンテンツを再生

Synology NAS は、Sony PS3、Xbox 360、およびその他の DMA デバイスと完璧にペアリングできます。ペアリングしたデバイスを使って、Synology NAS からステレオシステムや TV セットにマルチメディアコンテンツを表示およびストリーミングできます。²

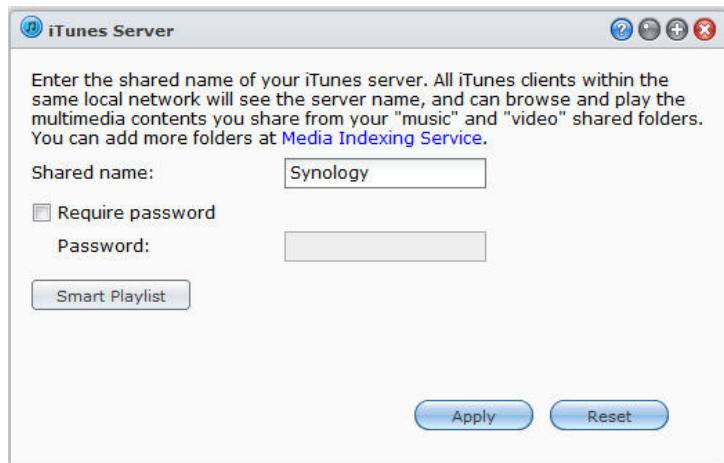
注 : DMA デバイスでメディアサーバーのコンテンツを表示する方法については、ご使用の装置付属の説明書を参照してください。

¹ 実際の再生機能は、DLNA/UPnP クライアントにより異なります。

² ハードドライブ、USB プリンタ、DMA、UPS などの推奨される周辺機器モデルについては、www.synology.com を参照してください。

iTunes Server のインストール

[メインメニュー] > [パッケージセンター] を選択して、iTunes Server をインストールします。



iTunes Server の管理

[メインメニュー] > [iTunes Server] を選択して、iTunes サービスを使用します。これを有効にした後は、同じ LAN 上にあるすべての iTunes クライアントが、サーバー上の music や video 等の共有フォルダにある曲やビデオを参照、再生することができます。サーバーが有効化されると、そのサーバーは iTunes ウィンドウの [共有] の下にリストされます。

注: プライバシー保護のため、iTunes クライアントは、photo 共有フォルダのビデオは見ることができません。

iTunes Server の起動

共有名を入力します。iTunes ユーザーが共有フォルダにアクセスする前にパスワードを要求する場合は、[パスワードが必要です] を選択してから、パスワードを入力します。

スマートプレイリストの使用

[スマートプレイリスト] をクリックしてスマートプレイリストウィンドウを開き、Synology NAS のスマートプレイリストを作成および編集します。

スマートプレイリストは、指定した規則と一致する曲のタイプで自動生成することができます。iTunes のクライアントは、他人が作成したスマートプレイリストを再生することができます。

注: Audio Station でスマートプレイリストを作成および編集することができます。詳しくは、「オーディオソースの選択」を参照してください。

メディアファイルを再インデックス化

iTunes で Synology NAS をブラウズしているときにファイルが失われているようであれば、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [メディアインデックスサービス] を選択した後、[再インデックス] をクリックすると、オーディオファイルのインデックス構造を再構成することができます。この処理は背景で実行されます。

メディアインデックスサービスが提供するインデックス機能についての詳細を見るには、[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [メディアインデックスサービス] で右上隅にある [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックするか、「アプリケーション用にマルチメディアファイルにインデックスを付ける」を参照してください。

高度な管理タスクの実施

Synology DiskStation Manager にはシステム情報のチェック、システムリソースのモニタリング、通知サービスの管理、DSM の復元またはアップグレード、独立したログインでアプリケーションにアクセス、アプリケーション用のマルチメディア ファイルのインデックス化などを含む、さまざまな管理機能が用意されています。

この章では、Synology NAS でベストパフォーマンスを実現するために高度な管理機能を使用する方法について説明します。詳しくは、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

システム情報のチェック

システム情報には、Synology NAS やその他接続されているデバイスの状態が表示されます。[\[メイン メニュー\] > \[システム情報\]](#) の順に選択し、次のシステム情報を確認してください。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#) を参照してください。

The screenshot shows the 'System Information' window with the 'General' tab selected. It displays the following information:

- Basic information:**
 - Serial number: A1GAN00408
 - Model name: DS1010+
 - Total Physical Memory: 1024 MB
 - DSM version: DSM 4.2-3170
 - System time: 2013-01-24 18:56:24
 - Operating time: 10 day(s) 9 hour(s) 35 minute(s) 21 second(s)
 - Thermal Status: (green)
- Time:**
 - Network time server: tock.stdtime.gov.tw
 - Time zone: (GMT+08:00) Taipei
- External Devices:**
 - USB device: Wireless 11n USB Adapter - Gemtek

A 'Refresh' button is located at the bottom right of the window.

全般

[全般] タブでは、シリアル番号、モデル番号、物理メモリの量、DSM バージョン、時間情報、温度情報、外付けデバイスなど、Synology NAS についての基本情報を見ることができます。

Synology NAS の熱状態は緑またはオレンジのライトで表されます。¹

- 緑：熱状態は正常です。
- オレンジ：Synology NAS の温度が高くなっています。Synology NAS を冷やす必要があります。そのままにしておくと加熱のためシステムが停止します。

システムの一般情報には以下のような情報が含まれます。

- **基本情報**：ここでは、Synology NAS に関する詳細情報（シリアル番号、モデル名、メモリサイズ、DSM のバージョン、システム時刻、稼働時間、温度の状態など）を確認できます。
- **時間**：ここでは、Synology NAS の時間設定（時間サーバーやタイムゾーンなど）を確認できます。タイムサーバーの設定については、「時刻設定」を参照してください。
- **外部デバイス**：ここには、外部 eSATA または USB デバイスのモデル名が表示されます。

ネットワーク

[ネットワーク] タブに、ネットワーク設定とインターフェイスの状態が表示されます。

ネットワークステータス：

- **基本情報**：Synology NAS のネットワーク設定の基本情報が表示されます。
- **[インターフェイス名]**：Synology NAS に現在設定されているネットワークインターフェイスの詳細情報を表示します。

ストレージ

[ストレージ] タブでは、Synology NAS ボリュームの使用量、または空き領域をチェックしたり、ハードディスクの状態をチェックしたりすることができます。

ボリューム使用状況をチェックする：

Synology NAS ボリュームの使用または未使用スペースを円グラフで表示します。

内部ハードディスクの状態は、以下のように表示されます。

- **正常**：システムのパーティションとボリュームがハードドライブに作成されています。
- **初期化済み**：システムパーティションが作成されていますがボリュームは作成されていません。
- **非初期化**：システムのパーティションとボリュームがハードドライブに作成されていません。
- **ディスクが取付けられていません**：関連するハードドライブのスロットにディスクがインストールされていません。
- **システムパーティションの失敗**：ハードドライブのシステムパーティションが使用できません。ハードドライブを交換することをお勧めします。
- **クラッシュ**：ハードドライブのボリュームにアクセスできません。ハードドライブを交換することをお勧めします。

注：システムを正常に機能させるには、1つ以上のディスクが**正常**または**初期化済み**になっていなければなりません。

¹ この情報は特定のモデルでのみ入手可能です。

サービス

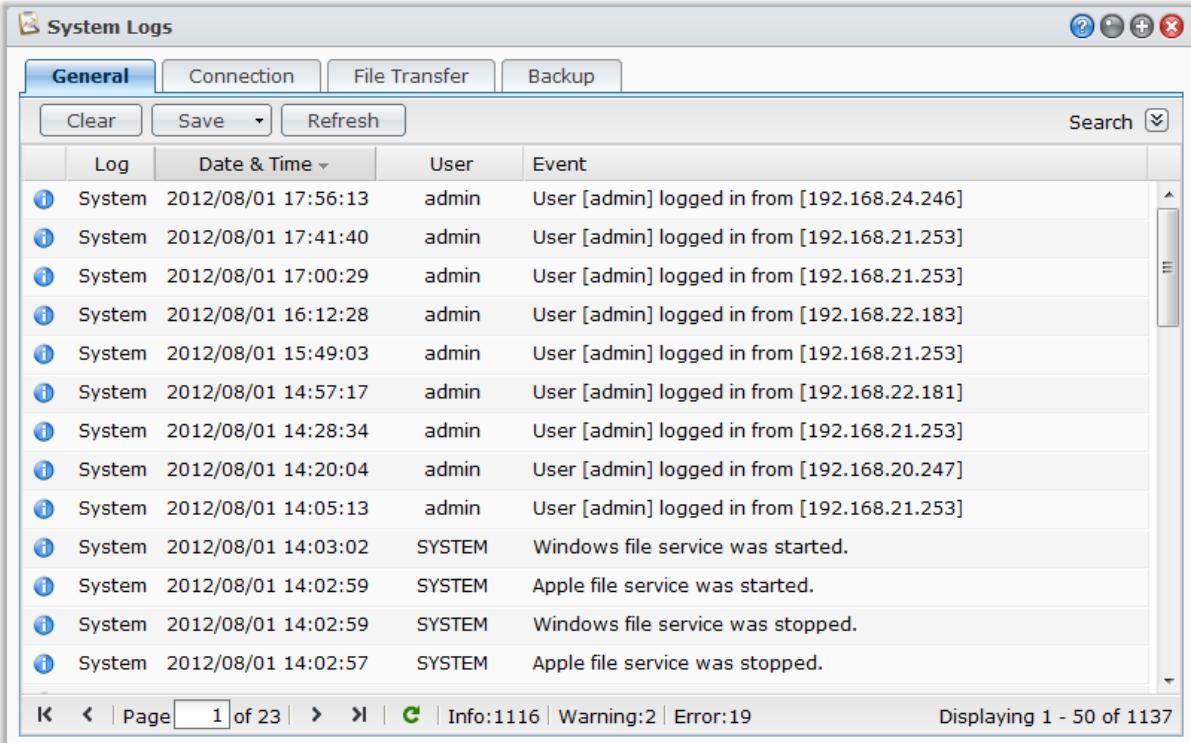
[サービス] タブでは、[操作] 欄で [有効] または [無効] をクリックして有効化または無効化することができる、DSM のリストを見ることができます。[状態] 欄のチェックマークは、サービスが有効になっているかどうかを示すものです。

レポート¹

[レポート] タブでは、ディスク使用の傾向についての情報を収集し、レポートを作成することができます。レポートのタイプを選択したり、定期的にストレージ レポートを受け取れるように設定したり、その場でレポートを作成したりすることができます。詳しい手順については、DSM ヘルプを参照してください。

システム ログを見る

Synology NAS サービスのログ記録を見るには、[メインメニュー] > [システムログ] を選択します。全般的なシステム、接続、ファイル転送（Windows ファイルサービス、FTP、WebDAV、File Station）、バックアップ（バックアップ、ネットワーク バックアップ、USBCopy/SDCopy）ロゴが表示されます。ロゴを削除したり、保存したりするオプションもあります。詳しくは、DSM ヘルプを参照してください。



The screenshot shows the 'System Logs' window with the 'General' tab selected. The table displays log entries with columns for Log, Date & Time, User, and Event. The logs show multiple entries from 'admin' logging in from various IP addresses, and several entries from the 'SYSTEM' user indicating service starts and stops.

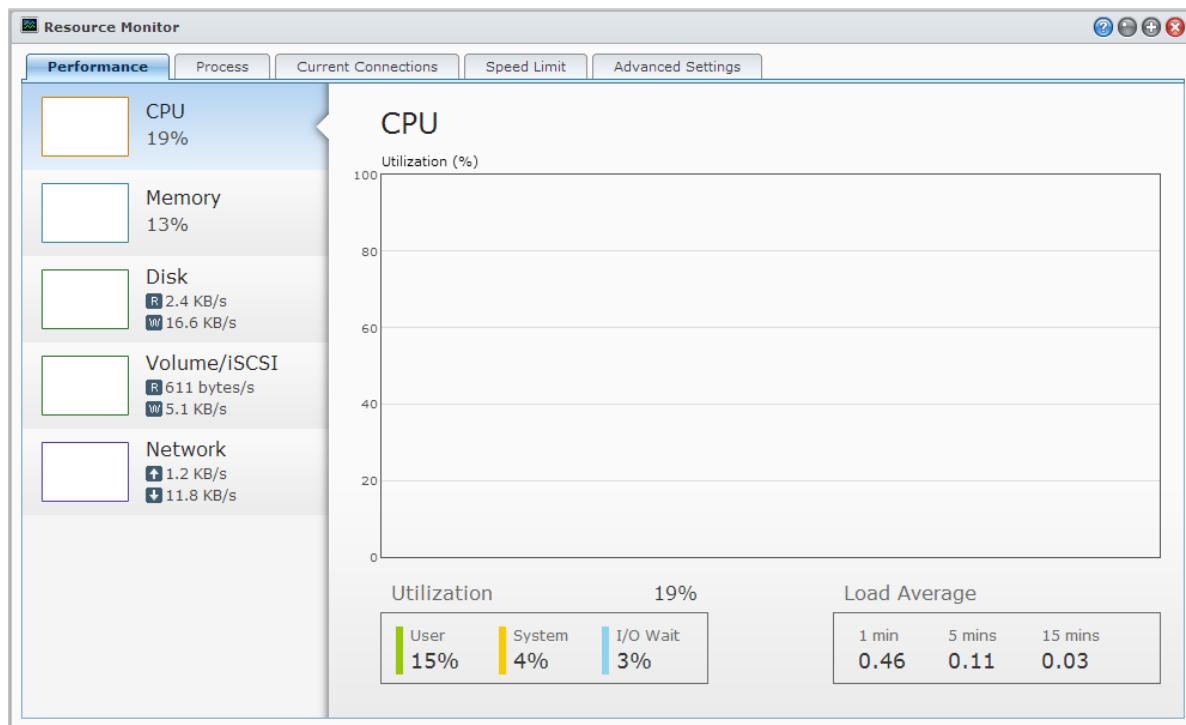
Log	Date & Time	User	Event
System	2012/08/01 17:56:13	admin	User [admin] logged in from [192.168.24.246]
System	2012/08/01 17:41:40	admin	User [admin] logged in from [192.168.21.253]
System	2012/08/01 17:00:29	admin	User [admin] logged in from [192.168.21.253]
System	2012/08/01 16:12:28	admin	User [admin] logged in from [192.168.22.183]
System	2012/08/01 15:49:03	admin	User [admin] logged in from [192.168.21.253]
System	2012/08/01 14:57:17	admin	User [admin] logged in from [192.168.22.181]
System	2012/08/01 14:28:34	admin	User [admin] logged in from [192.168.21.253]
System	2012/08/01 14:20:04	admin	User [admin] logged in from [192.168.20.247]
System	2012/08/01 14:05:13	admin	User [admin] logged in from [192.168.21.253]
System	2012/08/01 14:03:02	SYSTEM	Windows file service was started.
System	2012/08/01 14:02:59	SYSTEM	Apple file service was started.
System	2012/08/01 14:02:59	SYSTEM	Windows file service was stopped.
System	2012/08/01 14:02:57	SYSTEM	Apple file service was stopped.

Page: 1 of 23 | Info:1116 | Warning:2 | Error:19 | Displaying 1 - 50 of 1137

¹ 特定モデルでのみ使用できます。

システムリソースの監視

[メインメニュー] > [リソース モニタ] を選択すると、CPU 使用量、メモリ使用量、ディスクの使用状況、ネットワーク フローなどのシステムリソースを監視することができます。次のタブをリアルタイムで監視したり、以前のデータを見たりすることもできます。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。



性能

CPU、メモリ、ディスク、ネットワークなど、リソースの使用状況を見るには、[性能] タブをクリックします。削除日時、チャートの情報は、マウスオーバーで表示されます。

プロセス

[プロセス] タブをクリックすると、各処理の CPU とメモリ使用量を見るすることができます。プロセスの状態には、起動中、スリープ中、停止済みなどがあります。Linux でもプロセス状態は `running`、`stopped/tracing`、`sleeping` と同じ内容になります。

現在の接続

[現在の接続] タブでは、現在 Synology NAS のリソースにアクセスしているユーザーのリストを見ることができます。現在のリストをエクスポートしたり、特定ユーザーの接続を遮断したり、ユーザーを無効にしたりすることができます。

速度制限

[速度制限] タブでは、速度制限が適用されているファイル転送処理のリストを見たり、管理したりすることができます。リストを更新したり、特定のファイル転送接続を遮断したりすることができます。

詳細設定

リアルタイム表示のデュレーションや使用量の設定など、追加オプションを設定するには、[詳細設定] タブをクリックしてください。

Bluetooth デバイスの管理

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > **Bluetooth** の順に選択し、Bluetooth アダプタを管理したり、Bluetooth デバイスを Synology NAS に接続したりすることができます。接続が完了すると、スピーカーやヘッドフォンなど、一部の Bluetooth デバイスを Audio Station のオーディオ出力として使用することができます。このようにすると、Synology NAS に保存された音楽を手軽に楽しむことができます。詳しい手順については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

自動タスク

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [タスクスケジューラー] の順に選択すると、指定した時間にサービスやスクリプトを実行するように設定することができます。指定したスクリプトを自動的に実行するようにしたり、共有フォルダのごみ箱を空にしたり、特定サービスを開始、停止したりするためにタスクを作成、管理してください。詳しい手順については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

DSM の更新

定期的に、Synology は DSM の無償アップデートをリリースします。これらの更新には、新しい機能、機能向上、パフォーマンス強化が含まれます。**メイン メニュー > コントロール パネル > DSM の更新** の順に進み、Synology NAS を最新の状態に維持します。

重要: Synology NAS に保存されたデータは更新処理中に消去されません。但し、安全のために、サーバーのデータは必ずバックアップしてください。

アップデートを確認する

DSM の更新 にアクセスする度に、新しい DSM がダウンロードできるかどうかをシステムは Synology に確認し、その結果を緑や赤のテキストで表示します。さらに、Synology ダウンロードセンターからダウンロードしたアップデートを手動でインストールしたり、システムに自動的にアップデートをチェックせたりすることもできます。

同じバージョンの DSM を保持しながら重要なアップデートやセキュリティ アップデートをインストールするには、[更新設定] ボタンをクリックして [重要なアップデートのみ] オプションを選択します。詳しい手順については、**DSM ヘルプ** を参照してください。

トラブルシューティング

DSM が更新できない場合は、以下のアドバイスに従い問題解消に役立ててください。

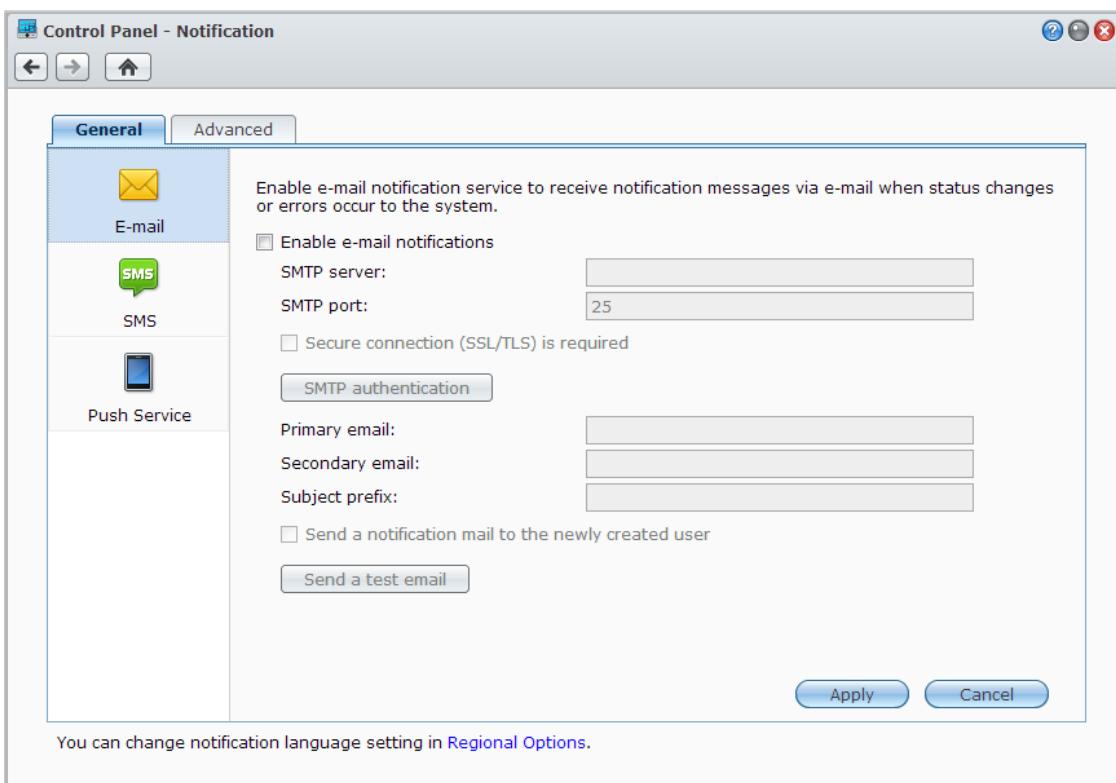
- 更新プロセスがユーザー、または停電などの予期せぬ出来事によって中断されていないか確認します。
- DSM のバージョンを確認します。新しいバージョンの DSM のみシステムを更新することができます。
- 更新ファイルが破損した恐れがあるため、再び DSM 更新をダウンロードします。

問題が解消されない場合は、Synology の**テクニカルサポート**にお問い合わせください。

イベント通知の受信

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [通知] を選択して、次のように状態が変わったり、システムにエラーが発生したりしたときに、Synology NAS が電子メール、SMS、モバイルデバイス、Windows Live Messenger、Skype を介して知らせるように設定することができます。接続の解除、ファン動作の変化、停電、ストレージボリューム不足、バックアップ/復元失敗など。

通知イベントの種類を選択したり、通知メッセージを編集したりするための情報を読むには、右上隅にある [**ヘルプ**] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックし、その後で [コントロールパネル] > [システム] > [通知] > [詳細設定] を選択します。



電子メール通知サービスの管理

[電子メール] セクションをクリックして、電子メール通知を設定します。接続の切断、ファン動作の変化、停電、ストレージボリューム不足、バックアップ/復元失敗など、システムの状態が変わったり、エラーが発生したりしたときに通知メッセージを受信できるように、SMTPサーバー情報と電子メールアドレスを入力することができます。

その他の情報

SMTPサーバーのドメイン名について :

SMTPサーバーはIPアドレスまたはドメイン名で指定できます。ドメイン名を使用する場合は、有効なDNSサーバーIPが[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ネットワーク] ページに入力されていることを確認し、サーバーがインターネット上にあることを確認してください。

SMS 通知サービスの管理

[SMS] セクションをクリックして、SMS 通知を設定します。接続の切断、ファン動作の変化、停電、ストレージボリューム不足、バックアップ/復元失敗など、システムの状態が変わったり、エラーが発生したりしたときに、SMS 通知を有効にして Synology NAS に通知メッセージを送信させることができます。

その他の情報

SMS URL : 大文字と小文字を区別します。1~500 文字 (Unicode) で指定します。パラメータの数は、4~10 です。この SMS URL は設定専用です。設定が完了しても SMS メッセージは送信されません。この URL の形式は、SMS サービスプロバイダが提供します。URL には次のパラメータが含まれます。ユーザー名、パスワード、相手先電話番号、メッセージ本文。

Clickatell を使用した場合の URL は次のようにになります（参考用）：

`https://api.clickatell.com/http/sendmsg?user=TestUser&password=TestPassword&api_id=3148203&to=886123456789&text>Hello+world`

「メッセージ本文」パラメータで、「Hello」と「world」の間のスペースは、サービスプロバイダ定義の特殊文字に置き換わります。

モバイル デバイスとインスタント メッセージング通知の管理

[プッシュ サービス] セクションをクリックして、モバイル デバイスとインスタント メッセージング通知の設定を行います。システムの状態が変わったり、エラーが発生したりしたときに、Synology のプッシュ サービスを介してモバイル機器やインスタント メッセージング プログラム (Windows Live Messenger および Skype) に通知メッセージを送信するプッシュ サービスを有効にすることができます。

独立したログインでアプリケーションにアクセス

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [アプリケーション ポータル] を選択して、アプリケーションの接続設定を行います。このようにすると、DSM にログインしなくとも、独立したブラウザ ウィンドウでアプリケーションを起動することができます。これらの接続設定にはポータル エイリアス、HTTP、HTTPS ポートのカスタマイズが含まれます。

注：アプリケーション ポータルを介して接続を構成できるアプリケーションは次の通りです。Audio Station、Download Station、Surveillance Station、Video Station、File Station です。

カスタマイズしたエイリアス

ポータル エイリアスを設定すると、アプリケーションは [http(s)//DSM サーバー アドレス:DSM サーバー ポート番号 [HTTP(S)]/エイリアス名/] の独立したブラウザ ウィンドウに開きます。

カスタマイズした HTTP(S) ポート

HTTP(S) ポートを設定すると、アプリケーションは [http(s)//DSM サーバー アドレス : カスタマイズしたポート番号] の独立したブラウザ ウィンドウに開きます。

アプリケーション用にマルチメディア ファイルにインデックスを付ける

[メイン メニュー] > [コントロール パネル] > [メディア インデックス サービス] を選択し、メディア インデックス サービスに自動的に、Synology NAS に保存されているフォト、ミュージック、ビデオなどのマルチメディア ファイルをスキャンさせます。そしてそれらをメディア ライブラリにコンパイルして、次のマルチメディア アプリケーションでインデックス化します。メディア サーバー、Audio Station、Photo Station、iTunes Server。詳しい手順については、[DSM ヘルプ](#)を参照してください。

メディアファイルを再インデックス化

インストールされているアプリケーション内のマルチメディア データは、アプリケーション用にスキャンされ、再インデックス化されます。インデックス付けされたフォルダ（デフォルトのフォルダとユーザー自身で作成したフォルダの両方）内のすべてのメディア ファイルのインデックスの構造を再構成するには、[再インデックス] をクリックします。この処理は背景で実行されます。

Admin パスワードをリセットする

Admin のパスワードを忘れたために DSM にログインできない場合は、パスワードを空白にしてから新しいパスワードを設定することができます。

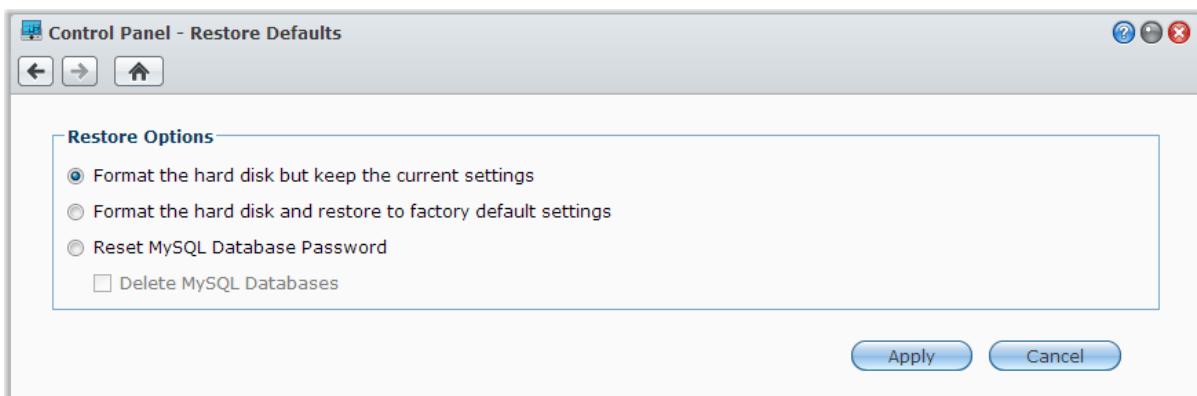
管理者のパスワードをリセットする：

Synology NAS のバックパネルにある [RESET] ボタンを音が鳴るまで 4 秒間押し続けます。

注：管理者パスワードをリセットするほかにも、[RESET] ボタンを使うと、Synology NAS の IP と DNS もデフォルト値に復旧されます。

Synology NAS を出荷時設定に復元

Synology NAS を出荷時設定に復元する場合は、[メイン メニュー] > [コントロールパネル] > [デフォルトを復元] の順に選択します。



復元には 3 つのオプションがあります。

- **ハードディスクをフォーマットするが、現在の設定を保存する**：ハードドライブ内のすべてのユーザーデータは消去されますが、システム設定は維持されます。
- **ハードディスクをフォーマットし、出荷時初期値を復元する**：ハードドライブ内のすべてのユーザーデータは消去され、システム全体がデフォルトに設定されます。
- **MySQL データベースパスワードをリセット**：MySQL データベースのパスワードをリセットします。
MySQL データベースを削除する場合は、[MySQL データベースを削除] のチェックボックスを選択し、[適用] をクリックします。

Synology NAS の再インストール

データを消失することなく Synology NAS を再インストールするには、背面パネルの [RESET] ボタンを使用します。

Synology NAS を再インストールする：

- 1 Synology NAS が音を鳴らすまで約 4 秒間 [RESET] ボタンを押し続けます。
- 2 次の 10 秒間に、Synology NAS が音を鳴らすまで約 4 秒間 [RESET] ボタンを押し続けます。
- 3 Synology ダウンロードセンター から入手した クイック インストール ガイドの説明に従って、Synology NAS の設定を行ってください。

重要 : Synology NAS に保存されたデータは再インストール中に消去されません。但し、安全のために、サーバーのデータは必ずバックアップしてください。

SNMP サービスを有効にする

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [SNMP] の順に選択し、SNMP サービスを有効にして、ネットワーク管理ソフトウェアを使ってユーザーが Synology NAS ネットワークのフローを監視できるようにします。

現在、SNMPv1、SNMPv2c、SNMPv3 プロトコルに対応しています。

ターミナルサービスを有効にする

[メインメニュー] > [コントロールパネル] > [ターミナル] の順に選択し、ターミナルサービスを有効にして、Telnet または SSH を使って Synology NAS にログインし、設定を変更できるようにします。

重要 : ターミナルサービスは慎重に使用してください。Synology NAS を不適切に操作または変更すると、システムの不具合やデータ損失につながります。

モバイルデバイスで通信

モバイルデバイスでも頻繁にインターネットアクセスが行われるようになり、iOS/Android、Windows Phone、またはその他モバイルデバイスを使用して Synology NAS と通信するいくつかの優れたサービスを提供しています。

DSM mobile で DSM 設定を管理する

DSM mobile は **administrators** グループに属する DSM ユーザーに DSM 設定を管理させ、iOS (iPhone、iPad、iPod touch) または Android デバイス、Windows Phone の Web ブラウザで DSM 情報を確認できるようにします。

DSM mobile にログインする :

- 1 iOS または Android デバイス、または Windows Phone の Web ブラウザを使用して、
http://Synology_Server_IP:5000 に接続します。
- 2 DSM ユーザー資格情報を入力して [ログイン] をタップします。

注 : DSM mobile についての詳細を見るには、ホームページの [ヘルプ] をタップします。

iOS と Android 、 Windows アプリの使用

Wi-Fi アクセスが使える場所で Synology NAS と通信を可能にする Synology がデザインした Synology モバイルアプリは、Apple の App Store または Android の Market、Windows Marketplace でご購入いただけます。外出先からでも、NAS ファイル、音楽、写真、ビデオ、監視ビデオを管理したり、モバイルデバイスと NAS 間でフォルダを同期したり、ファイルをダウンロードしたり、ビデオを観たりすることができます。

DS audio

DS audio を使うと、iOS や Android 携帯、Windows Phone で Audio Station にアクセスして、お気に入りの音楽をいつでも聞くことができます。さらに、Synology Remote (別売) の audio dock に接続された USB スピーカーや外部スピーカー、家庭用ステレオ装置などのオーディオ出力装置が Synology NAS の USB ポートに接続されていれば、リモートコントローラ機能により、Audio Station の音楽再生を'コントロールできます。

DS cam

DS cam を使うと、iOS/Android デバイスを使用してユーザーは IP カメラでライブビューを見たり、スナップショットを撮影したり、ネットワーク接続がある場合は、Surveillance Station に保存されている録画を見たりすることができます。

DS cloud

Synology Cloud Station に対応するモバイル側のアプリで DS cloud を活用すると、iOS/Android デバイスと Synology NAS の間でフォルダを手軽に同期できます。

DS download

DS download では、iOS/Android デバイスで直接 Download Station にアクセスし、ファイルをダウンロードすることができます。ダウンロード タスクを作成するには、URL を追加したり、内蔵ミニ ブラウザを使用したり、統合された Safari ブラウザを使用することができます。転送速度の制限、詳細スケジュールのアクティベーションなど基本設定を管理することも可能です。

DS file

DS file は iOS または Android デバイス、Windows Phone で Synology NAS ファイルにアクセスしたり、管理したりすることができます。

DS finder

DS finder は iOS または Android デバイス、Windows Phone で Synology NAS を監視したり、その状態を電子メールで知らせたり、LAN (WOL) で復帰させるようリクエストしたり、再起動、シャットダウン、あるいはビーという音を鳴らしたり（その場所をすばやく見つけ出すのに役に立ちます）することができます。

DS photo+

DS photo+ を使うと、どこでも iOS または Android デバイス、Windows Phone で Photo Station にアクセスして写真を共有することができます。Photo Station から携帯装置に写真をダウンロード/保存しておけば、いつでも好きな時に思い出を楽しむことができます。DS photo+ を使えば、カメラ電話からスナップショットやビデオを直接 Photo Station にアップロードできます。さらに、他の人が写真にコメントを残したり、追加したりして楽しく写真の共有ができます。

DS video

DS video では、iOS/Android デバイスや Windows Phone を使って Video Station にアクセスして、自宅と外出先の両方でビデオを見るすることができます。ビデオ コレクションを参照、整理したり、デジタル TV 番組を録画したり、Synology NAS に接続された USB DTV ハードウェアキー（別売り）を使って現在地を探したり、録画タスクや予約を管理したりすることができます。

注: これらのモバイルアプリの詳細については、アプリに付属のヘルプ ファイルを参照してください。

他のモバイル デバイスを使う

使用する携帯電話が Windows Mobile 6.0 (Internet Explorer Mobile または Opera 9.0 以上)、Symbian OS 9.1 (S60 3rd Edition 以上)、または iPhone OS 2.3.1 以上を実行している場合は、その装置で Synology NAS にログインしてモバイル Photo Station で写真を表示したり、モバイル File Station で対応するファイルを読み込むことが世界中のインターネットが使える場所で行えます。

トラブルシューティング

DSM の管理に関するご質問は、[メインメニュー] > [DSM ヘルプ] の順に選択するか、または各ウィンドウの右上隅にある [ヘルプ] ボタン（クエスチョンマークが付いています）をクリックしてヘルプを参照してください。それ以外のご質問は、Synology Inc. のウェブサイト www.synology.com を参照してください。

SYNOLOGY, INC. エンドユーザー用の使用許諾契約

必ずお読みください：このエンドユーザー用の使用許諾契約書（EULA）は、あなた（1人の個人または1つの団体のいずれか）と SYNOLOGY, INC. および SYNOLOGY AMERICAN CORP および SYNOLOGY UK LTD. を含むその関係会社（総称して「SYNOLOGY」という）の間で、WWW.SYNOLOGY.COM からダウンロード可能な、あるいは SYNOLOGY 製品（以下、「製品」という）に付属またはインストールされた SYNOLOGY ソフトウェアおよびその他の関連するファームウェア、媒体、説明書、および「オンライン」または電子ドキュメント（総称して「ソフトウェア」という）について交わされる法的な契約書です。

あなたは、ソフトウェアを含むパッケージを開ける、SYNOLOGY によりプリインストールされていないソフトウェアをインストールする、またはプリインストールされたソフトウェアに含まれた製品を使用することにより、本書の利用規約に従うこととに同意したと見なされます。本書の利用規約に同意しない場合は、製品の梱包を開けない、ソフトウェアをインストールしない、ソフトウェアを含む製品を使用してはいけません。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返却し、販売店の返却条件に従って返金を求めてください。

第1条。条件付きソフトウェアライセンス。 本書の利用規約に従い、Synology は、ユーザーに、製品の許可された使用に関して、製品ソフトウェアをインストール、実行、使用するための限定付き、非独占的、譲渡不可の個人用ライセンスを許可します。

第2条。文書。 ソフトウェアに付属のいかなる文書も適度な枚数の複製を作成し使用することができます。その複製は、社内使用に限り、第三機関に対して再発行または再配布（ハードコピーまたは電子コピーのいずれの形式においても）してはけません。

第3条。バックアップ。 ユーザーは、バックアップおよび保管目的において適切な枚数のソフトウェアの複製を作成することができます。

第4条。更新。 元のソフトウェアを更新するまたは補足するために Synology が提供するまたは Synology のウェブサイト（www.synology.com）（以降、「ウェブサイト」という）で利用可能なソフトウェアは、その更新または補足に対して別のライセンス契約が提供される場合を除き、本書に準拠します。別のライセンス契約が提供される場合は、それに準拠します。

第5条。ライセンス制限。 第1条で制定されるライセンスは、ユーザーが注文および購入した製品の定める範囲で適用され、そのソフトウェアに対するユーザーのすべての権利を提示します。Synology は、本書において明確にユーザーに与えられていないすべての権限を保有します。前述の制限を無視して、ユーザーは第三者に対して以下の権限を与えるまたは許可してはいけません。
(a) 製品に関する目的以外で本ソフトウェアを使用すること、
(b) 本ソフトウェアの使用許可、配布、リース、レンタル、転写、譲渡、その他の処理、または商業目的でホストされる、またはサービスを提供する環境において本ソフトウェアを使用すること、
(c) 本ソフトウェアのリバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブル、または本ソフトウェアのソースコードまたは機密情報を得るために試みを行うこと、ただし、この制限に関わらず準拠法によりそのような行動が明確に許可されている場合は除く、
(d) ソフトウェアの派生物を探用、修正、改造、翻訳、または作成すること、
(e) 製品の著作権表示または他の所有権表示を取り除く、修正する、隠すこと、
(f) 製品またはソフトウェアのコンポーネント、特徴、機能へのアクセスを Synology が管理するために使用するあらゆる方法を回避、または回避しようすること。

第6条 オープンソース。 本ソフトウェアには GNU General Public License ("GPL Components") (<http://www.gnu.org/licenses/gpl.html> 参照) の下で Synology にライセンス許可が与えられているコンポーネントが含まれる場合があります。GPL の条件は、本書の内容が GPL コンポーネントの使用に関して GPL の要件と衝突する場合に GPL コンポーネントに対してのみ適用され、そのよ

うな場合、ユーザーは該当コンポーネントの使用について GPL に準拠することに同意するものとします。

第7条。監査。 Synology は、本書の利用規約に関するユーザーのコンプライアンスを監査する権利を有します。ユーザーは、Synology に、施設、設備、帳簿と記録、文書へのアクセスを許可し、Synology の監査を促進させるために適切な協力をを行うことに同意します。

第8条。所有権。 本ソフトウェアは、Synology およびライセンス契約者の価値のある資産であり、著作権法およびその他の知的財産法および条約で保護されています。Synology またはそのライセンス契約者は、本ソフトウェアが持つ、および対するすべての権利および権限を保有し、本ソフトウェアのすべての著作権およびその他の知的所有権を保有します。

第9条。制限付き保証。 Synology は、プレインストールされているソフトウェアを除く製品のソフトウェアをインストール、またはプレインストールされているソフトウェアを使用してから 90 日間に限り、規定（「保証期間」）に従って保証しています。本ソフトウェアは、ソフトウェアに対して Synology が公開、またはウェブサイトで制定する仕様に準拠します。Synology は、商取引上の合理的な方法で、Synology 独自の決断により、ソフトウェアの不具合を修正する、または前述の保証に準拠しないソフトウェアを交換する、のいずれかを行います。ただし、この場合、保証期間内にユーザーが Synology に対して不具合を書面にて通知する必要があるとします。前述の保証は、以下を起因とする不具合には適用されません。
(w) 本書に従って使用、複製、配布、公開しない場合、
(x) Synology 以外の者によるソフトウェアのカスタマイズ、修正、その他の改造が行われた場合、
(y) Synology 以外の者により提供された製品、サービス、またはその他の事柄とソフトウェアを併用した場合、または
(z) 本書の規定に従わない場合。

第10条。サポート。 保証期間中、Synology は、ユーザーにサポートサービスを提供します。保証期間後のソフトウェアに対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

第11条。保証の放棄。 明確に前述されている場合を除き、SYNOLOGY およびそのサプライヤはソフトウェアを「現状のまま」、一切を購入者の責任で提供します。SYNOLOGY およびそのサプライヤは、本書において、明示的または暗示的に関わらず、法的、法律またはその他の方法により生じる、市販性、特定目的または使用との適合性、本ソフトウェアに関する権利を侵害していないことを含みそれに限定されないその他のすべての保証を放棄します。上述の制限を除いて、SYNOLOGY は、本ソフトウェアにバグ、エラー、ウイルス、その他の不具合が生じないことを保証しません。

第12条。特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのライセンサーは、ソフトウェアの使用または使用し

ないこと、または本書に規定される、または本書に関連して発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

第 13 条。責任の制限。 本ソフトウェアの使用、または使用できないことから生じる、または関連する、または本書または本ソフトウェアに記載される、または関連する SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に限ります。製品の購買に実際に費やした額面に限ります。前述の保証の放棄、特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本書に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上述の除外および制限がユーザーに適用されない場合があります。

第 14 条。輸出規制。 本ソフトウェアは、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本ソフトウェアに適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

第 15 条。米国政府の許認可権。 米国政府に提供されるすべてのソフトウェアには、本書に記述される商用使用権および制限事項が付与されています。本ソフトウェアをインストール、コピー、または使用することにより、米国政府は、FAR Part 12 の意義の範囲内で、本ソフトウェアが「商用コンピュータソフトウェア」または「商用コンピュータソフトウェアの説明書」であることに合意します。

第 16 条。契約の終了。 その他の権利を侵害することなく、ユーザーが本書の利用規約に従わない場合は、Synology が本書の契約を終了する場合があります。その場合、ユーザーは本ソフトウェアの使用を止め、本ソフトウェアのすべてのコピーおよびそのすべてのコンポーネントを破棄する必要があります。

第 17 条。譲渡。 ユーザーは、本書に記載されるユーザーの権利を第三者に移譲または譲渡してはいけません。前述の制約に違反するそのような移譲または譲渡は、無効です。

第 18 条。準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本書は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

第 19 条。紛争の解決。 本ソフトウェアに関して、またはユーザーと Synology との関係について Synology が提供する

本保証、本ソフトウェアまたはサービスから生じるまたは関係するいかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は單一の調停者の前で実施され、ユーザーと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取ることになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁定が行われる可能性があります。この条項がない場合、あなたは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをあなたは理解していますが、あなたは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、この第 19 条に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。ユーザーが米国に住居しない場合、本書に記述される紛争の訴訟は、最終的に、R.O.C. 仲裁法および関連する執行機関の規則の手順に従って 3 人の仲裁者により仲裁解決されるものとします。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で行われるものとします。仲裁裁定者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関する本書の条項への不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

第 20 条。弁護士費用。 本書におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を使用する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

第 21 条。契約の分離。 本書に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本書の残りの部分は有効に存続します。

第 22 条。完全合意。 本書は、本ソフトウェアおよび本書の対象物について Synology とユーザー間の完全合意を制定し、書面または口頭に関わらず、すべての事前および同時期の了解事項および合意に優先します。本書の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力がありません。

SYNOLOGY, INC. 制限付き製品保証

本限定保証（「保証」）は、SYNOLOGY AMERICA CORP AND SYNOLOGY UK LTD. を含む SYNOLOGY, INC. およびその関連会社（総称して「SYNOLOGY」という）の製品（以下に記載）に適用されます。ユーザーは、製品パッケージの開封あるいは製品の使用により、本保証の条件に拘束されることを承諾し、同意します。本保証の条件に同意しない場合は、製品を使用しないでください。その場合は、製品を購入した販売店に製品を返品し、販売店の返品規定に従って返金を求めてください。

第1条。定義。 (a) 新製品：(1) 「カテゴリー I 製品」とは、Synology の製品モデル RS810+、RS810RP+、RX410 を示す。(2) 「カテゴリー II 製品」とは、Synology RS2414+、RS2414RP+、RS814、RS214、RS10613xs+、RS3413xs+、RS3412xs、RS3412RPxs、RS3411xs、RS3411RPxs、RS2212+、RS2212RP+、RS2211+、RS2211RP+、RS812+、RS812RP+、RS812、RS411、RS409RP+、RS409+、RS409、RS408-RP、RS408、RS407、RS212、DS3612xs、DS3611xs、DS2413+、DS2411+、DS1813+、DS1812+、DS1513+、DS1512+、DS1511+、DS1010+、DS713+、DS712+、DS710+、DS509+、DS508、RX1213sas、RX1211、RX1211RP、RX4、DX1211、DX513、DX510、DX5、VS240HD、RAM モジュール (1GB/2GB/4GB/8GB) です。(3) 「カテゴリー III 製品」とは、2008 年 3 月 1 日以降にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(4) 「カテゴリー IV 製品」とは、2008 年 2 月 29 日以前にお客さまが購入したその他のすべての Synology 製品モデルを示す。(b) 「モデルチェンジされた製品」とは、一新されたモデルでオンラインショップを通じて Synology が直接販売する Synology 製品を意味し、Synology ディストリビューターや正規販売店は含まれません。(c) 「お客さま」とは、Synology または Synology の正規代理店および販売店から製品を購入した最初の個人または団体を示す。(d) 「オンラインショップ」とは、Synology または Synology の子会社が運営するオンライン ショップを意味します。(e) 「製品」とは、新製品またはモデルチェンジされた製品、および Synology によって製品に搭載されたハードウェアおよび付属のドキュメンテーションを意味します。(f) 「ソフトウェア」とは、カスタマが購入した製品に付属する、カスタマがウェブサイトからダウンロードする、または Synology の製品にプリインストールされている Synology の保有するソフトウェアで、ファームウェア、関連する媒体、画像、アニメーション、動画、オーディオ、テキスト、ソフトウェアまたは製品に組み込まれるアプレット、および該当ソフトウェアのアップデートまたはアップグレードが含まれる。(g) 「保証期間」とはお客さまが製品を購入した日から始まり、(1) カテゴリー I 製品は 5 年間、(2) カテゴリー II 製品は 3 年間、(3) カテゴリー III 製品は 2 年間、(4) カテゴリー IV 製品は 1 年間とする。(5) 「現状のまま」販売される製品、またはオンラインショップで「保証なし」で販売される製品を除く、モデルチェンジ製品の日付から 90 日間です。(h) 「ウェブサイト」とは、www.synology.com に配置されるの Synology ウェブサイトを示す。

第2条。制限付き保証と救済手段

2.1 制限付き保証。 第 2.7 条に従って、Synology は、保障期間中、各製品について (a) 製造上の材料不良がないこと、(b) 正常な使用において Synology の公開仕様に従って正しく機能することをカスタマに保証します。Synology は、製品付属のエンドユーザー用の使用許諾契約書（存在する場合）の条項に従ってソフトウェアを保証します。Synology は、「現状のまま」販売されるモデルチェンジされた製品、またはオンラインショップから「保証なし」で購入された製品については、保証を行いません。

2.2 製品の制限。 カスタマは、Synology に製品を登録して、ウェブサイトからカテゴリー I 製品、カテゴリー II 製品およびカテゴリー III 製品の製造日付を取得できます。ウェブサイトで製品を登録しなくとも、第 2.1 条で制定する保証の権利は

軽減されません。Synology は、カスタマが製品の製造日付を識別できないことに一切責任を負いません。

2.3 唯一の法的救済手段。 カスタマが以下に説明する方法で適切な保証期間内に第 2.1 条で制定する保証の不具合を通知した場合、Synology が該当する不具合を検証した後、Synology が独自の判断で以下を行います。第 2.4 条に従って製品の完全な返却が行われた後に、(a) 商業的に適切な方法で製品を修理する、または、(b) 不具合のない製品または部品と交換します。前述は、第 2.1 条の保証不履行または製品に対するその他の不具合または欠陥に対する Synology の完全な責任であり、カスタマの唯一かつ非排他的な救済手段です。カスタマは、製品の不具合に対する Synology の診断と検証を適切に支援しなければなりません。第 2.1 条に制定する保証に以下は含まれません。(1) ソフトウェアに関係する保証、(2) カスタマの現場における製品の物理的な設置を取り外し、(3) カスタマの現場への訪問、(4) Synology および契約サービスプロバイダの通常営業時間（週末およびサービスプロバイダの休日を除く）以外に不具合部品の修理または交換に必要な労働時間、(5) 第三機関の設備またはソフトウェアで行う作業、(6) カスタマまたは第三機関が設置したハードディスクの保証、(7) ハードディスクの互換性保証。

2.4 返却。 第 2.3 条に従ってカスタマが返却する製品は、返却前に Synology から商品返却確認番号 (RMA) を取得し、Synology の現行の RMA 手順に従って返却しなければなりません。カスタマは、Synology 正規代理店または販売店に連絡して RMA の取得を依頼し、依頼時に購入の証明および製品のシリアル番号を提示する必要があります。保証請求の場合、本保証の対象とするため、カスタマは、第 2.4 条に従って製品を完全な状態で Synology に返却する必要があります。RMA 番号を取得せずに返却された製品、または分解された製品 (Synology の指示による場合は例外) は、受け取りを拒否され、カスタマの費用でカスタマに返送されます。RMA 番号を取得した製品は、必ず Synology から納品された状態に可能な限り近い状態で、Synology の指定する住所に、製品を十分保護できるよう梱包し、箱の外側の見える場所に RMA 番号を明記して、運賃前払いにて返却してください。返却する品物が Synology に適切に配達されるまで、品物に対する保険および損失はカスタマの責任です。RMA 番号を取得した製品は、その RMA 番号を発行してから 15 日以内に必ず返送してください。

2.5 Synology による交換。 第 2.1 条に従って本保証で Synology が製品交換を選んだ場合は、Synology は、第 2.4 条に従って返品された不具合製品を受領後、その製品の保証に適合するか確認した上、自社負担で Synology の選択した配送方法により交換製品を発送します。交換製品は、新品または使用できる状態、元の製品の機能および性能と同程度の状態にあり、元の保証期間の残り期間またはカスタマに配送された日から 30 日間のいずれか長い方の期間保証されます。Synology が不具合と判断しなかった製品は、カスタマに返送されます。

2.6 サポート。 保証期間中、Synology は、カスタマにサポートサービスを提供します。保証期間後の製品に対するサービスは、書面による要望がある場合において Synology により提供される場合があります。

2.7 例外。 前述の保証および保証義務は、(a) 製品仕様に指定または説明されていない方法によりインストールまた

は使用された製品、(b) Synology またはその代理店または任命者以外により修理、修正、改正が行われた製品、(c) 何らかの方法で誤用、悪用、損傷した製品、(d) 製品が意図するデザインのハードウェアまたはソフトウェア以外で Synology が提供していない品物を使用した製品、(e) その他の方法で製品の仕様に準拠していない製品、および Synology の管理下でない原因に起因する不具合には適用されません。また、前述の保証は、(1) Synology が許可した場合以外にカスタマが製品を分解した場合、(2) Synology がカスタマに対して提供する修正、改正、強化、改善、その他の更新をカスタマが実施しない場合、(3) カスタマが第三者が提供する修正、改正、強化、改善、またはその他の更新を実施、インストールまたは使用した場合には無効になります。第 2.1 条に制定する保証は、カスタマが第三者に販売または譲渡すると終了します。

2.8 保証の放棄。 本書に制定する SYNOLOGY の保証、義務、責任、およびカスタマの救済手段は、非排他的かつ適用であり、明示または暗示に関わらず、法律またはその他の原因により生じる、以下を含みそれに限定されない本保証の下で提供される製品、ソフトウェア付属の文書、およびその他の品物またはサービスに関する SYNOLOGY のその他のすべての保証、義務、責任およびカスタマの SYNOLOGY に対するその他の権利、主張、救済手段を放棄、譲渡、拒否します。(A) 市販性または特定目的または使用との適合性に対する暗示保証、(B) 履行の過程、取引の過程、または商慣習により生じる暗示保証、(C) 侵害または不正利用に対する請求、または(D) 不正行為（過失、厳格責任、製品責任またはその他の理論に基づくかどうかに関わらず）に対する請求。SYNOLOGY は、SYNOLOGY の製品に保管されたデータまたは情報が安全であり、データ消失の危険がないことを保証したり具体的に放棄したりしません。SYNOLOGY は、カスタマに製品に保管するデータをバックアップするなど、適切な対策を実施するよう勧めています。州/司法管轄区によっては、暗示保証の制限を許可しないため、上述の制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 3 条。責任の制限。

3.1 不可抗力。 適切に制御できない原因または条件（カスタマの作為または不作為を含みこれに限定しない）により本保証が定める義務の不履行または遅延が発生した場合、Synology は、本保証に対して一切責任を負わない、または本保証の違反または不履行と見なされません。

3.2 特定損害の放棄。 いかなる場合も SYNOLOGY およびそのサプライヤは、製品、付属の文書またはソフトウェア、および本書に基づいて提供されるその他の品物またはサービスの使用または使用しないことにより発生する偶発的、間接的、特別、懲罰的、結果的、または同等の損害（データ、情報、収益、利益またはビジネスの喪失を含みそれに限定されない）を補うための費用について、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、SYNOLOGY がその損害の可能性について知らされている場合においても一切の責任を負いません。

3.3 責任の制限。 本製品、付属の文書またはソフトウェア、および本保証に基づいて提供される品物またはサービスの使用、または使用できないことから生じる、SYNOLOGY およびそのサプライヤの責任は、契約、不法行為（過失を含む）、厳格責任、またはその他の論理が基であるかどうかに関わらず、負う損害の額面に関わらず、製品の購買に実際に費やした額面に限定します。前述の特定損害の放棄、および責任の制限は、準拠法の許す範囲で最大限に適用されます。州および／または管轄の法律によっては、暗示保証の除外または特定損害の除外または制限を許可していない場合があります。本製品に適用されるそれらの法律の許す範囲で、上

述の除外および制限がカスタマに適用されない場合があります。

第 4 条。その他。

4.1 所有権。 本製品および製品付属のソフトウェアおよび説明書には、Synology および第三者サプライヤおよびライセンサーの所有権および知的所有権が含まれています。Synology は、製品のすべての権利、権限、知的所有権を保有および保留します。製品、付属のソフトウェアまたは説明書、および本保証に基づいて提供されるその他の物品に含まれる、または対する権利、所有権または知的所有権は、本保証の下でカスタマに移譲されません。カスタマは、(a) Synology または Synology の正規代理店または販売店が提供するソフトウェアに付属する Synology エンドユーザー用の使用許諾契約書の利用規約に準拠し、(b) 製品またはそのコンポーネント、付属のソフトウェアをリバースエンジニアを試みる、またはその他の方法で Synology の知的所有権に不適切に回避、または違反してはいけません。

4.2 譲渡。 カスタマは、本書に基づく自身の権利を、直接、法律の運用または他の方法により、Synology から事前に書面による承諾を得ずに譲渡してはいけません。

4.3 追加条件なし。 本保証で明確に許可した場合を除き、他の当事者が発注書、領収書、承認書、確認書、通信、その他の方法で作成した本保証のあらゆる条項、条件、条項と衝突するその他の規定に対して、両当事者が制約される、当事者の片側が特別に対象となることはありません。ただし、各当事者が書面においてそのような条項に特別に同意している場合は除きます。また、本保証が製品に関する当事者と締結した別の契約書の利用規約と衝突する場合、他の契約書が本保証の条項に優先されることを特別に言及している場合を除き、本保証が優先されます。

4.4 準拠法。 地域法で明確に禁止する場合を除き、本保証は、接触法の原則に反するかどうかに関係なく、米国ワシントン州の法律に準拠します。1980 年に採択された国際物品売買契約に関する国際条約またはその後続は適用しません。

4.5 紛争の解決。 本製品またはカスタマ間の関係に対して Synology が提供する本保証、製品またはサービスから生じる、または関連する、いかなる紛争、論争、または主張も、ユーザーが米国に住居する場合は、米国仲裁協会（American Arbitration Association）の現行の商事規則に従って単独かつ最終的に仲裁解決されるものとします。ユーザーが米国以外に住居する場合は、以下を参照ください。仲裁は単一の調停者の前で実施され、カスタマと Synology の間の紛争のみに限定されます。仲裁または仲裁の一部は、その他の仲裁に合併されず、集団または集団代表ベースでは実施されません。仲裁は、書類の提出、電話、オンラインまたは当事者の要請により、調停者の決定した個人により、米国ワシントン州キング郡で実施されるものとします。米国または非米国の仲裁またはその他の訴訟では、勝訴した当事者は、その当事者が支払う仲裁費用を含むすべての費用や妥当な弁護士料金を受け取ることになります。そのような仲裁の手続きで行われた決定は最終的で、当事者を拘束するものであり、その結果に従って適格な司法管轄権の裁判所において裁判が行われる可能性があります。この条項がない場合、カスタマは裁判所を通じて紛争の訴訟を起こす権利を有しており、これには、集団または集団代表ベースでの請求を要求する訴訟の権利が含まれていることをカスタマは理解していますが、カスタマは明示的および意図的にこれらの権利を放棄し、条項 4.5 に従って、拘束力のある仲裁を通じて紛争を解決することに同意したことになります。米国以外のお客様の場合、紛争は R.O.C. 仲裁法および関連施行規則の手順に従って 3 人の中立調停者により実施される仲裁により、最終的な解決が行われます。仲裁は台湾 R.O.C. の台北で行われ、仲裁の手続きは英語で行われ、両当事者が同意する場合は、北京語で

行われるものとします。仲裁裁判者は最終的で、当事者を拘束するものであり、司法管轄権を持つ裁判所において強制力を持ちます。本条のいかなる部分も、Synology が差し止めによる救済またはその他の権利および Synology の知的財産権に関連する本保証の不履行またはその脅威に対する法律または衡平法における救済手段の要求を禁止または制限しないこととします。

4.6 弁護士費用。 本保証におけるいかなる仲裁、調停、その他の法的行為、または権限または救済手段を行使する際、勝訴した当事者は、他の救済措置に加えて、その費用および適切な弁護士料金を回収する権利があります。

4.7 輸出規制。 本製品は、米国の輸出規制の対象です。ユーザーは、米国輸出管理規則を含みこれに限定されない、本製品に適用されるすべての準拠法および規定を準拠することに同意したと見なされます。

4.8 契約の分離。 本保証に、管轄裁判所で無効、不法、または法的強制力がないと判断された条項がある場合においても、本保証の残りの部分は有効に存続します。

4.9 完全合意。 本保証は、本件に関する Synology とお客様との間のすべての同意を制定し、あらゆるおよびすべての事前同意に優先します。本保証の条項に対する訂正、修正、または権利放棄は、実施する当事者が署名する法的文書で制定されていない限り、拘力がありません。

注意：英語版とその他の言語の説明に矛盾または不一致がある場合は、英語版を優先します。